

北海道大学概要

2020–2021



HOKKAIDO
UNIVERSITY



北海道大学の基本理念と長期目標

北海道大学は、大学院に重点を置く基幹総合大学であり、その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡る。爾来、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、本学は、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げ、培ってきた。

社会の要請に応えて国立大学法人としての歩みを始めるにあたって、北海道大学は、これらの基本理念を再確認するとともに、社会に対する説明責任を認識しつつ、新たに獲得した自由の中で、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展するための長期的な目標を、以下のように定めるものである。

フロンティア精神

フロンティア精神とは、学生及び教職員がそれぞれの時代の課題を引き受け、敢然として新しい道を切り拓いていくべきとする理想主義を意味する。札幌農学校の開校式にあたってクラーク博士が唱えた“lofty ambition”（高邁なる大志）という言辞を端緒として、世紀を超えて北海道大学を搖るぎなく支えてきた基本理念である。

21世紀に至り、学問におけるパラダイム転換や新たに提起される人類的課題に応え得る研究を不斷に展開することが、現代におけるフロンティア精神の発現である。北海道大学は、学問の自由を基礎に、純理と応用の別を問わない創造性豊かな研究を推進するとともに、大学院組織等の柔軟な展開を通じて研究教育機能を飛躍的に発展させることにより、人類史的課題に応え得る世界水準の研究の推進を目指す。

国際性の涵養

歐米の文化と科学技術を導入し、外国人教師の英語による授業を行った札幌農学校は、設立当初から多様な世界にその精神を開いていた。それ以来、多くの本学の卒業生が海外において活躍し、国際性の涵養という理念が、さまざまな形で受け継がれている。

教養教育の充実によって自文化の自覚に裏づけられた異文化理解能力を養い、外国語コミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育成することの必要性はいうまでもない。北海道大学は、学生及び教職員の国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与するため、海外留学・研修の機会を拡大するとともに、外国人研究者・留学生の受け入れを積極的に推進し、アジア・北方圏をはじめとする世界の人々との文化的・社会的交流の促進を目指す。

全人教育

札幌農学校は、農業専門家の養成に止まらず、豊かな人間性と高い知性を兼ね備え、広い教養を身につけた人間の育成を図った。このことは、内村鑑三、志賀重昂、新渡戸稻造、有島武郎など思想・文学をはじめ、人文社会分野における優れた人材を次々に輩出したことにも示されている。北海道大学における全人教育の理念は、今日に至るまで、専門的知識を活用するための総合的判断力と高い識見を備えた人材育成の基盤としての教養教育を重視する伝統として継承されている。

この理念をさらに発展させるために、北海道大学は、豊かな人間性と高い知性を涵養する幅広い人間教育を進め、自由・自主独立の精神の涵養と自律的個の確立を図るとともに、人権を尊重し、社会的要請に的確に対応しうる基盤的能力の育成を目指す。

実学の重視

実学の重視という理念は、札幌農学校が設立後の様々な苦難を乗り越えて総合大学へと発展する過程において二つの意味を含みつつ定着した。即ち現実世界と一体となった普遍的学問の創造としての研究と、基礎研究のみならず応用や実用化を重んじ研究成果の社会還元を重視するという意味である。北海道の広大な自然の中で行なわれた宮部金吾の植物の研究や中谷宇吉郎による雪の研究等は、身近な現象を芽として普遍的真理を創造した研究の精華であったし、北海道大学における研究の中には、北海道の産業とともに発展したものが少なくない。

北海道大学は、実学重視の理念の普遍的かつ今日的意義を追求し、現実世界と一体となつた普遍的真理や、北海道の特性を生かした学問の創造を推進するとともに、産学官の連携協働の拡大を通じて、研究成果を北海道、さらに日本、世界に還元する。あわせて大学院における高度な専門家及び職業人の養成並びに社会人教育を充実することを目指す。

Contents

● 基本理念と長期目標	1
● 沿革	2・3
● 組織・財政	
教育研究組織図	4
運営組織図・事務組織図	5
役員等・経営協議会委員	
教育研究評議会評議員	6
部局長等	6・7
栄誉	8
教職員数	9
大学院・学部	10~18
附置研究所	19・20
研究センター	20
学内共同施設	21
総合博物館	22
大学文書館	22
附属図書館	23
北海道大学病院	24
国際連携研究教育局	25
技術支援本部	26
情報環境推進本部	26
人材育成本部	26
創成研究機構	27
高等教育推進機構	27
安全衛生本部	28
大学力強化推進本部	28
産学・地域協働推進機構	28
総合IR室	29
国際連携機構	29
サステナブルキャンパスマネジメント本部	29
2020年度 収入・支出予算	30
外部資金受入／科学研究費助成事業	30
● 学生	
学生数	31・32
入学状況	33・34
卒業・修了者数（学位授与数）	35
進路状況	36
新渡戸カレッジ	37
入学支援	37
就職支援	37
● 國際交流	
外国人留学生数	38・39
国際交流協定締結状況	40~44
現代日本学プログラム課程	45
Integrated Science Program	45
Hokkaido サマー・インスティテュート	46
海外ラーニング・サテライト	46
海外拠点	47
● 寄附講座・公開講座等の実施状況	
寄附講座・産業創出講座等	48
公開講座等	48
● 全學的な教育・研究体制	
産学官連携・研究支援	49・50
教育・研究プログラム	51・52
● キャンパス	
土地・建物・船舶	53
札幌キャンパス・函館キャンパス	54
札幌キャンパス施設配置図	55
施設所在地一覧	56・57

沿革

「札幌農学校時代」 1876年~

明治 9年(1876) 7月	● マサチューセッツ農科大学長W. S. クラークが札幌農学校教頭として、教師ホーラーと教師ベンハロー及び学生11人とともに札幌に到着
8月	● 14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日) ● 調所広丈(開拓少判官)が校長兼務
12月	● 書籍庫(後の図書館)新築
11年(1878) 10月	● 演武場(現在の時計台)竣工
14年(1881) 2月	● 森 源三(開拓権少書記官)が校長兼務
19年(1886) 7月	● 植物園竣工
12月	● 佐藤秀顕(北海道府理事官)が校長事務取扱兼務
20年(1887) 3月	● 佐藤昌介が幹事(校長職務代理)兼務
21年(1888) 12月	● 橋口文蔵が校長に就任
24年(1891) 8月	● 佐藤昌介が校長心得に就任
27年(1894) 4月	● 佐藤昌介が校長に就任

「東北帝国大学農科大学時代」 1907年~

明治40年(1907) 9月	● 東北帝国大学が設置され、札幌農学校が東北帝国大学農科大学となり、大学予科などを付設(9月11日、開學式挙行) ● 書籍庫を図書館と改称 ● 佐藤昌介が東北帝国大学農科大学長に就任
42年(1909) 2月	● 練習船おしょろ丸新設

「北海道帝国大学時代」 1918年~

大正 7年(1918) 4月	● 北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学となった ● 佐藤昌介が北海道帝国大学総長に就任(北海道帝国大学農科大学長兼務)
8年(1919) 2月	● 農學部設置(農科大学を改称) ● 医學部設置
10年(1921) 4月	● 医學部附属医院設置(同年11月診療開始)
11年(1922) 5月	● 図書館を附属図書館と改称
13年(1924) 9月	● 工學部設置
昭和 5年(1930) 4月	● 理學部設置
12月	● 南 鷹次郎が総長に就任
8年(1933) 12月	● 高岡熊雄が総長に就任
12年(1937) 12月	● 今 裕が総長に就任
16年(1941) 11月	● 低温科学研究所設置
18年(1943) 2月	● 触媒研究所設置 ● 超短波研究所設置
20年(1945) 7月	● 事務局、學生部設置
11月	● 伊藤誠哉が総長に就任
21年(1946) 3月	● 超短波研究所を応用電気研究所と改称
22年(1947) 4月	● 法文學部設置

「北海道大学時代」 1947年~

昭和22年(1947) 10月	● 北海道帝国大学が北海道大学となった
24年(1949) 5月	● 国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(文・教育・理・医・工・農・水産(函館市)の各学部)設置 ● 医學部附属医院を医学部附属病院と改称 ● 伊藤誠哉が北海道大学長に就任
6月	● 練習船北星丸新設
25年(1950) 3月	● 教養学科(昭26.4 ~一般教養部)設置
4月	● 大學予科廃止 ● 結核研究所設置
10月	● 島 善鄰が学長に就任
27年(1952) 4月	● 獣医学部設置
28年(1953) 4月	● 新制大学院(文・教育・法・経済・理・工・農・獣医・水産の各研究科)設置
8月	● 法経学部が法學部と経済学部に分離

29年(1954) 10月	● 杉野目晴貞が学長に就任
30年(1955) 4月	● 大學院に医学研究科を設置
32年(1957) 7月	● 一般教養部を教養部と改称
33年(1958) 4月	● 大學院に薬学研究科を設置
36年(1961) 5月	● 工業教員養成所設置(昭44.3廃止)
40年(1965) 4月	● 薬学部設置
41年(1966) 10月	● 古市二郎が学長に就任
42年(1967) 2月	● 古市二郎学長逝去に伴い阿部 輿が学長事務取扱に就任 ● 堀内壽郎が学長に就任
5月	● 歯學部設置
6月	● 歯學部附属病院開院
8月	● 歯學部附属圖書館に教養分館を設置
44年(1969) 4月	● 大型計算機センター(全国共同利用施設)設置
45年(1970) 4月	● 研究調査船うしお丸新設
46年(1971) 3月	● 丹羽貴知藏が学長に就任
5月	● 保健管理センター設置
47年(1972) 5月	● 体育指導センター設置
49年(1974) 4月	● 大學院に歯學研究科を設置
6月	● 結核研究所が免疫科学研究所に改組
50年(1975) 5月	● 今村成和が学長に就任
52年(1977) 4月	● 大學院に環境科学研究科を設置
53年(1978) 4月	● スラブ研究センター設置 ● アイソトープ総合センター設置
54年(1979) 4月	● 情報処理教育センター設置
55年(1980) 10月	● 機器分析センター設置
56年(1981) 4月	● 医療技術短期大学部設置
5月	● 言語文化部設置
60年(1985) 4月	● 実験生物センター設置
62年(1987) 5月	● 有江幹男が学長に就任
平成元年(1989) 5月	● 遺伝子実験施設設置
2年(1990) 6月	● 伴 義雄が学長に就任
3年(1991) 4月	● 触媒化学研究センター(全国共同利用施設)設置(触媒研究所廃止)
5月	● スラブ研究センターが全国共同利用施設に改組
4年(1992) 4月	● 留学生センター設置
5年(1993) 4月	● 量子界面エレクトロニクス研究センター設置
6年(1994) 6月	● 廣重 力が学長に就任
7年(1995) 4月	● 応用電気研究所が電子科学研究所に改組
5月	● 地球環境科学研究科を設置(大學院環境科学研究科廃止)
8年(1996) 5月	● リンケル科学技術共同研究センター設置
8月	● エネルギー先端工学研究センター設置
9年(1997) 4月	● 大學院の理学研究科、獣医学研究科が大学院講座制に移行(いわゆる大学院重点化)
10年(1998) 4月	● 環境保全センター設置
11年(1999) 4月	● 附屬圖書館の教養分館を北分館と改称
5月	● 丹保憲仁が総長に就任
12年(2000) 4月	● 先端科学技術共同研究センター設置
13年(2001) 4月	● ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーセンター設置
14年(2002) 4月	● 大學院の工学研究科が大学院講座制に移行
15年(2003) 4月	● 大學院の薬学研究科が大学院講座制に移行
16年(2004) 4月	● 大學院の農学研究科が大学院講座制に移行
17年(2005) 4月	● 情報メディア教育研究総合センター設置(情報処理教育センター廃止)
18年(2006) 4月	● 総合博物館設置
19年(2007) 4月	● 大学院の文学研究科、教育学研究科、法學研究科、経済学研究科、医学研究科、歯學研究科、水產科學研究科が大学院講座制に移行
20年(2008) 4月	● 大学院に国際広報メディア研究科を設置
21年(2009) 4月	● 遺伝子病制御研究所設置(免疫科学研究所改組、医学部附属癌研究施設廃止)
22年(2010) 4月	● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター設置
23年(2011) 4月	● 北方生物圏フィールド科学センターの設置に伴い、理学部附属臨海実験所・海藻研究施設、農學部附属植物園・農場・演習林・牧場、水產學部附属洞爺湖臨海実験所・臼尻水產実験所・七飯養魚実験施設廃止

● 設置改廃関係

● 歴代総長関係

5月 14年(2002) 2月 3月 4月 15年(2003) 4月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 先端科学技術共同研究センターの整備に伴い、理学部附属動物染色体研究施設、実験生物センター、遺伝子実験施設廃止 量子集積エレクトロニクス研究センター設置（量子界面エレクトロニクス研究センター廃止） 中村睦男が総長に就任 創成科学研究機構設置 練習船北星丸廃止 研究調査船うしお丸を練習船うしお丸と改称 情報基盤センター設置（大型計算機センター、情報メディア教育研究総合センター廃止） 脳科学研究教育センター設置 北海道大学病院設置（医学部附属病院と歯学部附属病院を統合） 知的財産本部設置 	7月 10月 11月 23年(2011) 3月 4月 24年(2012) 7月 25年(2013) 4月 26年(2014) 2月 4月 9月 27年(2015) 3月 4月 7月 10月 28年(2016) 3月 4月 10月 29年(2017) 4月 7月 30年(2018) 4月 8月 31年(2019) 4月 令和元年(2019) 7月 2年(2020) 4月 6月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 国際本部（運営組織）設置（留学生センターを同本部内に移行） 高等教育推進機構（運営組織）設置（高等教育機能開発総合センターを廃止し、同機構内に移行） サステナブルキャンパス推進本部（運営組織）設置 安全衛生本部（運営組織）設置 探索医療教育研究センター設置 ベンチャービジネス・ラボラトリーや知識メディア・ラボラトリに改称 環境保全センターを廃止し、サステナブルキャンパス推進本部（運営組織）内に移行 練習船おしょろ丸が教育関係共同利用拠点に認定 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション、北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション（厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所）が教育関係共同利用拠点に認定 山口佳三が総長に就任 大学力強化推進本部（運営組織）設置 フード＆メディカルイノベーション推進本部（運営組織）設置 国際連携研究教育局設置 スラブ研究センターをスラブ・ユーラシア研究センターに改称 環境ナノ・バイオ工学研究センターを次世代都市代謝教育研究センターに改称 探索医療教育研究センター廃止 知識メディア・ラボラトリ廃止 情報法政策学研究センター廃止 次世代都市代謝教育研究センター廃止 数学連携研究センター廃止 トポロジー理工学教育研究センター廃止 北極域研究センター設置 埋蔵文化財調査センター設置 産学・地域協働推進機構（運営組織）設置（産学連携本部、フード＆メディカルイノベーション推進本部を廃止し、同機構内に移行） 総合IR室（運営組織）設置 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション（臼尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所）、高等教育推進機構（高等教育研修センター）が教育関係共同利用拠点に認定 触媒科学研究所設置（触媒化学研究センター廃止） サステナビリティ学教育研究センター廃止 練習船おしょろ丸が教育関係共同利用拠点に再認定 低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒科学研究所、スラブ・ユーラシア研究センター、情報基盤センター、人獣共通感染症リサーチセンターが共同利用・共同研究拠点に継続認定 北極域研究センターが共同利用・共同研究拠点に新規認定 国際連携機構（運営組織）設置（国際本部廃止） 名和豊春が総長に就任 大学院に理工学院を設置 大学院に国際感染症学院を設置 大学院に国際食資源学院を設置 大学院に経済学研究院、医学研究院、歯学研究院、獣医学研究院、経済学院、医学院、歯学院、獣医学学院を設置（大学院経済学研究科、医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科廃止） 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション、北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション（厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所）が教育関係共同利用拠点に再認定 数理・データサイエンス教育研究センター設置 サステナブルキャンパスマネジメント本部（運営組織）設置（サステナブルキャンパス推進本部廃止） 学生相談総合センター設置 大学院に文学研究院、情報科学研究院、文学院、情報科学院を設置（大学院文学研究科、情報科学研究院廃止） 広域複合災害研究センター設置 人間知・脳・AI研究教育センター設置 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション（臼尻水産実験所、七飯淡水実験所、忍路臨海実験所）、高等教育推進機構（高等教育研修センター）が教育関係共同利用拠点に再認定 名和豊春総長解任に伴い笠原正典が総長代行に就任 資金清博が総長に就任
「国立大学法人北海道大学時代」 2004年～			
平成16年(2004) 4月 17年(2005) 3月 4月 18年(2006) 4月 19年(2007) 3月 4月 5月 10月 20年(2008) 4月 21年(2009) 4月 8月 22年(2010) 4月	<ul style="list-style-type: none"> 北海道大学が国立大学法人北海道大学となった 大学院に情報科学研究科を設置 エネルギー変換マテリアル研究センター設置（エネルギー先端工学研究センター廃止） 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター廃止 大学院に水産科学研究院、地球環境科学研究院、水産科学院、環境科学院を設置（大学院水産科学研究科、地球環境科学研究科廃止） 大学院に公共政策学連携研究部、公共政策学教育部を設置 創成科学共同研究機構設置（先端科学技術共同研究センターと創成科学研究機構を統合） 体育指導センターが高等教育機能開発総合センターに統合 人獣共通感染症リサーチセンター設置 アドミッションセンター設置 大学文書館設置 大学院に理学研究院、薬学研究院、農学研究院、先端生命科学研究院、理学院、農学院、生命科学院を設置（大学院理学研究科、薬学研究科、農学研究科廃止） 観光学高等研究センター設置 教育研究支援本部（運営組織）設置 医療技術短期大学部廃止 情報環境推進本部（運営組織）設置 大学院に教育学研究院、メディア・コミュニケーション研究院、教育学院、国際広報メディア・観光学院を設置（大学院教育学研究科、国際広報メディア研究科、言語文化部廃止） 外国语教育センター設置 アイヌ・先住民研究センター設置 社会科学実験研究センター設置 佐伯 浩が総長に就任 知的財産本部を廃止し知財・産学連携本部（運営組織）へ移行 大学院に保健科学研究院、保健科学院を設置 情報法政策学研究センター設置 環境ナノ・バイオ工学研究センター設置 数学連携研究センター設置 サステナビリティ学教育研究センター設置 アドミッションセンターが学内共同教育研究施設から運営組織に移行 知財・産学連携本部（運営組織）を産学連携本部（運営組織）に改組 人材育成本部（運営組織）設置 トポロジー理工学教育研究センター設置 創成研究機構（運営組織）設置（創成科学共同研究機構と機器分析センターを廃止） 附属図書館の北分館を北図書館と改称 大学院に工学研究院、工学院を設置（大学院工学研究科廃止） 大学院に総合化学院を設置 環境健康科学研究教育センター設置 保健センター設置（保健管理センター廃止） エネルギー変換マテリアル研究センターを廃止し、大学院工学研究院附属施設（エネルギー・マテリアル融合領域研究センター）へ移行 低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒科学研究センター、スラブ研究センター、情報基盤センター、人獣共通感染症リサーチセンターが共同利用・共同研究拠点に認定 		

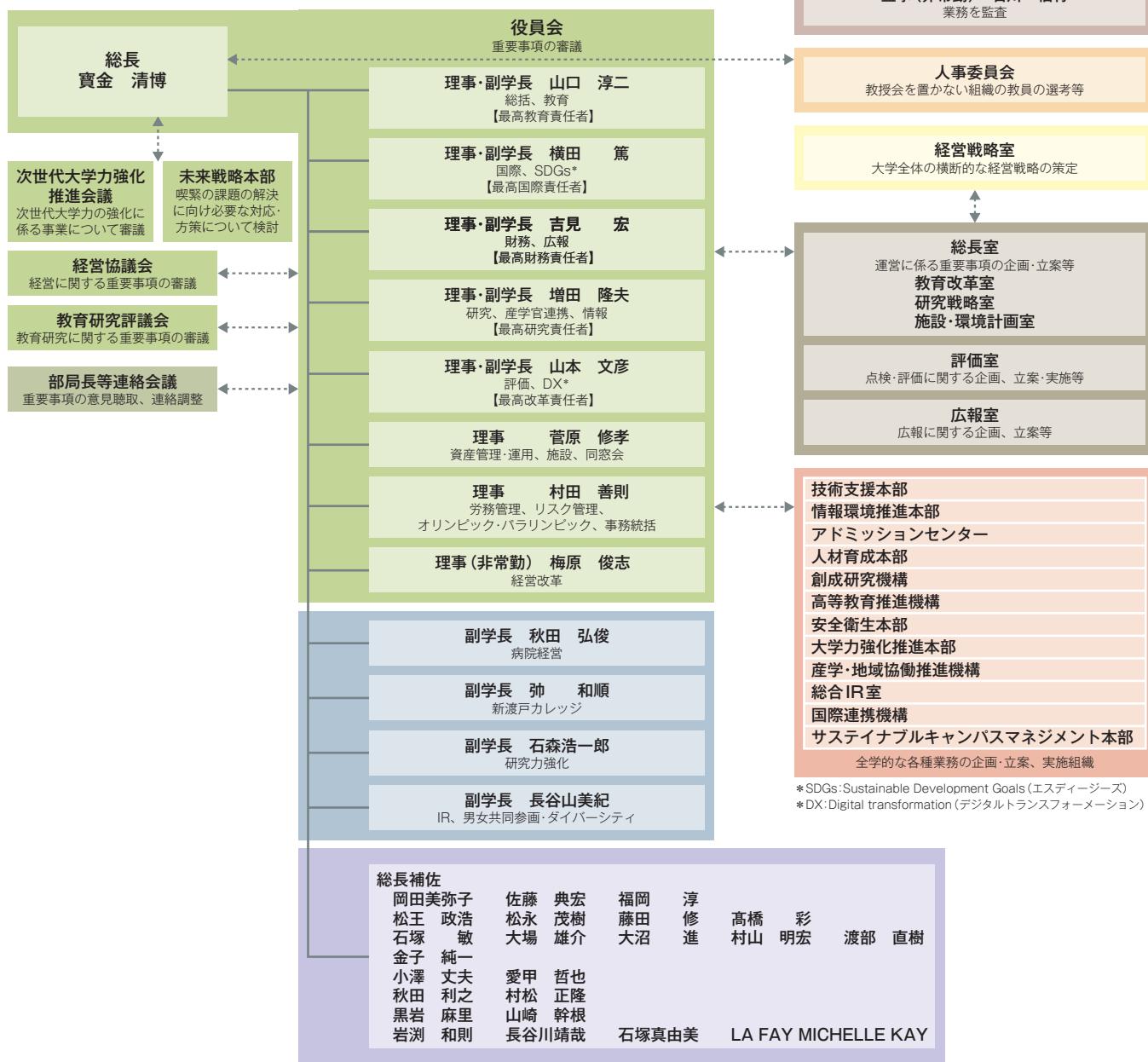
教育研究組織図

2020年4月1日現在



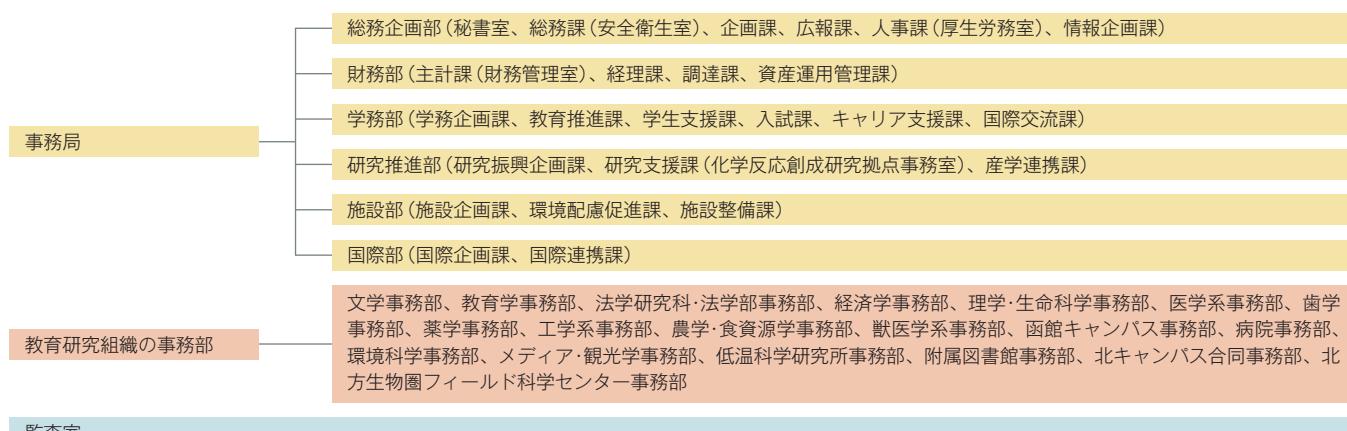
運営組織図

2020年11月24日現在



事務組織図

2020年10月16日現在



沿革

組織・財政

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の実施状況

金学的教育研究体制

キャンパス

役員等・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

2020年10月1日現在

北海道大学役員

総長	寶 金 清 博
理事(副学長)	山 口 淳 二
理事(副学長)	横 田 篤
理事(副学長)	吉 見 宏
理事(副学長)	増 田 隆 夫
理事(副学長)	山 本 文 彦
理事	菅 原 修 孝
理事	村 田 善 則
理事(非常勤)	梅 原 俊 志
監事	高 橋 朋 江
監事(非常勤)	石 川 信 行

副学長(理事以外の者)

北海道大学病院長	秋 田 弘 俊
文学研究院教授	弥 和 順
理学研究院教授	石 森 浩一郎
情報科学研究院長	長 谷 山 美 紀

総長補佐

経済学研究院教授	岡 田 美 弥 子
北海道大学病院教授	佐 藤 典 宏
触媒科学研究所教授	福 岡 淳
理学研究院教授	松 王 政 浩
薬学研究院教授	松 永 茂 樹
工学研究院教授	藤 田 修 彩
高等教育推進機構教授	高 橋 敏 彩
農学研究院教授	石 塚 敏 介
医学研究院教授	大 場 雄 進
文学研究院教授	大 沼 明 宏
情報科学研究院教授	村 山 渡 部
低温科学研究所教授	渡 部 直 樹
工学研究院准教授	金 子 純 一
工学研究院教授	小 澤 丈 夫
農学研究院准教授	愛 甲 哲 也
理学研究院教授	愛 甲 利 之
文学研究院准教授	村 松 正 隆
理学研究院教授	黒 岩 麻 里
公共政策連携研究部教授	山 崎 幹 根
農学研究院教授	岩 渕 和 則
工学研究院教授	長 谷 山 靖 戦
獣医学研究院教授	石 塚 真 由 美
文学研究院准教授	LA FAY MICHELLE KAY

※総長補佐は2020年10月12日現在

経営協議会委員

学内委員	寶 金 清 博
総長	山 口 淳 二
理事(副学長)	横 田 篤
理事(副学長)	吉 見 宏
理事(副学長)	増 田 隆 夫
理事(副学長)	山 本 文 彦
理事	菅 原 修 孝
理事	村 田 善 則
理事(非常勤)	梅 原 俊 志
法学研究科長	池 田 清 治
工学研究院長	瀬戸口 剛
病院長	秋 田 弘 俊
電子科学研究所長	中 垣 俊 之
学外委員	浅 香 正 博
北海道医療大学学長	安 藤 保 彦
北海道経済産業局長	五十嵐 智嘉子
一般社団法人北海道総合研究調査会理事長	石 山 喬
日本軽金属ホールディングス株会長	河 合 江理子
京都大学大学院総合生存学館教授	杉 江 和 男
北海道大学校友会エルム会長	土 屋 俊 亮
北海道副知事	長 澤 秀 行
国立大学法人帯広畜産大学顧問(元 帯広畜産大学長)	
公益財団法人とかち財団理事長	

大塚ホールディングス株代表取締役社長兼CEO

札幌市副市长	樋 口 達 夫
(株)明治屋 代表取締役社長	町 田 隆 敏
一般財団法人日本公衆衛生協会理事長	松 沢 幸 一
国立保健医療科学院名誉院長	松 谷 有 希 雄
北海道経済連合会会長	真 弓 明 彦
北海道電力会長	三 浦 俊 章
朝日新聞編集委員	横 山 清
(株)アーカス代表取締役社長	
(株)ラルス代表取締役会長	

教育研究評議会評議員

総長	寶 金 清 博
理事(副学長)	山 口 淳 二
理事(副学長)	横 田 篤
理事(副学長)	吉 見 宏
理事(副学長)	増 田 隆 夫
理事(副学長)	山 本 文 彦
理事	菅 原 修 孝
理事	村 田 善 則
理事(非常勤)	梅 原 俊 志
法学研究科長	池 田 清 治
工学研究院長	瀬 戸 口 剛
病院長	秋 田 弘 俊
電子科学研究所長	中 垣 俊 之
学外委員	浅 香 正 博
北海道医療大学学長	安 藤 保 彦
北海道経済産業局長	五十嵐 智嘉子
一般社団法人北海道総合研究調査会理事長	石 山 喬
日本軽金属ホールディングス株会長	河 合 江理子
京都大学大学院総合生存学館教授	杉 江 和 男
北海道大学校友会エルム会長	土 屋 俊 亮
北海道副知事	長 澤 秀 行
国立大学法人帯広畜産大学顧問(元 帯広畜産大学長)	
公益財団法人とかち財団理事長	

部局長等

2020年11月1日現在

運営組織

技術支援本部長	山 本 文 彦
情報環境推進本部長	寶 金 清 博
アドミッションセンター長	山 口 淳 二
人材育成本部長	山 口 淳 二
創成研究機構長	増 田 隆 夫
高等教育推進機構長	山 口 淳 二

サステナブルキャンパスマネジメント本部長

安全衛生本部長	横 田 篤
大学力強化推進本部長	菅 原 修 孝
産学・地域協働推進機構長	寶 金 清 博
総合IR室長	増 田 隆 夫
国際連携機構長	長 谷 山 美 紀

大学院・学部	
法学研究科長・法学部長	池田 清治
水産科学院長・水産科学研究院長・水産学部長	木村 賢夫
環境科学院長・地球環境科学研究院長	大原 雅
理学院長	網塚 浩
理学研究院長・理学部長	堀口 健雄
薬学研究院長・薬学部長	佐藤 美洋
農学院長・農学研究院長・農学部長	西邑 隆徳
生命科学院長	山下 正兼
先端生命科学研究院長	門出 健次
教育学院長・教育学研究院長・教育学部長	宮崎 隆志
国際広報メディア・観光学院長・メディア・コミュニケーション研究院長	西川 克之
保健科学院長・保健科学研究院長	伊達 広行
工学院長・工学研究院長・工学部長	瀬戸口 剛
総合化学院長	大利 徹
経済学院長・経済学研究院長・経済学部長	平本 健太
医学院长・医学研究院長・医学部長	吉岡 充弘
歯学院長・歯学研究院長・歯学部長	八若 保孝
獣医学院長	昆 泰寛
獣医学研究院長・獣医学部長	堀内 基廣
医理工学院長	白土 博樹
国際感染症学院長	大橋 和彦
国際食資源学院長	井上 京
文学院长・文学研究院長・文学部長	藤田 健
情報科学院長・情報科学研究院長	長谷山 美紀
公共政策学教育部長・公共政策学連携研究部長	遠藤 乾
北海道大学病院	
北海道大学病院長	秋田 弘俊
附置研究所	
低温科学研究所長	福井 学
電子科学研究所長	中垣 俊之
遺伝子病制御研究所長	田中 一馬
触媒科学研究所長	長谷川 淳也
附属図書館	
館長	山本文彦
副館長・北図書館長	稻葉 隆
研究センター	
スラブ・ユーラシア研究センター長	岩下 明裕
情報基盤センター長	棟朝 雅晴
人獣共通感染症リサーチセンター長	鈴木 定彦
学内共同研究施設	
アイソトープ総合センター長	畠山 鎮次
量子集積エレクトロニクス研究センター長	本久 順一
北方生物圏フィールド科学センター長	佐藤 冬樹
観光学高等研究センター長	山村 高淑
アイヌ・先住民研究センター長	加藤 博文
社会科学実験研究センター長	大沼 進
環境健康科学研究教育センター長	小笠原 克彦
北極域研究センター長	深町 康
広域複合災害研究センター長	山田 孝
人間知・脳・AI研究教育センター長	田口 茂
学内共同教育施設	
脳科学研究教育センター長	渡辺 雅彦
外国語教育センター長	河合 靖
数理・データサイエンス教育研究センター長	長谷山 美紀
特定業務施設	
総合博物館長	小澤 丈夫
大学文書館長	山本文彦
学生相談総合センター長	安達 潤
保健センター長	橋野 聰
埋蔵文化財調査センター長	小杉 康
附属教育研究施設	
法学研究科・高等法政教育研究センター長	辻 康夫
理学院院長	
地震火山研究観測センター長	橋本 武志
ゲノムダイナミクス研究センター長	小川 宏人
原子核反応データベース研究開発センター長	木村 真明
先端生命科学研究院 次世代物質生命科学研究センター長	門出 健次
教育学研究院 子ども発達臨床研究センター長	松本 伊智朗
工学院院長 エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長	渡辺 精一
医学研究院 動物実験施設長	渡辺 雅彦
獣医学研究院 動物病院長	滝口 満喜
公共政策学連携研究部 公共政策学研究センター長	城戸 亮
薬学部 薬用植物園長	前仲 勝実
水産学部	
練習船おしょろ丸船長	高木 省吾
練習船うしお丸船長	亀井 佳彦
低温科学研究所 環才ホーツク観測研究センター長	三寺 史夫
電子科学研究所	
グリーンナノテクノロジー研究センター長	松尾 保孝
社会創造数学研究センター長	長山 雅晴

遺伝子病制御研究所	高岡 晃	岡村 正	岡村 環
動物実験施設長	河野 孝	河野 優紀子	河野 紀
感染癌研究センター長	吉田 茂	吉田 亨	吉田 紀
触媒科学研究所 触媒連携研究センター長	平松 亨	平松 洋	平松 美
国際連携研究教育局			
国際連携研究教育局長	寶金 清博		
事務組織			
事務局長	関崎 徳彦	河野 孝紀	河野 紀
総務企画部長	乾優紀子	吉田 茂	吉田 亨
総務企画部次長	河野 孝	平松 亨	平松 洋
秘書室長	吉田 茂	吉田 亨	吉田 紀
総務課長(兼務)	吉田 茂	吉田 亨	吉田 紀
安全衛生室長	平松 亨	吉田 亨	吉田 紀
企画課長	吉田 亨	吉田 亨	吉田 紀
広報課長	吉田 亨	吉田 亨	吉田 紀
人事課長	吉田 亨	吉田 亨	吉田 紀
厚生労務室長	吉田 亨	吉田 亨	吉田 紀
情報企画課長	吉田 亨	吉田 亨	吉田 紀
財務部長	大淵 博	佐々木 则好	佐々木 美
財務部次長	佐々木 则好	佐々木 则好	佐々木 美
主計課長	佐々木 则好	佐々木 则好	佐々木 美
財務管理室長	佐々木 则好	佐々木 则好	佐々木 美
経理課長	菅原 育哉	菅原 育哉	菅原 育哉
調達課長	菅原 育哉	菅原 育哉	菅原 育哉
資産運用管理課長	菅原 育哉	菅原 育哉	菅原 育哉
学務部長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
学務企画課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
教育推進課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
学生支援課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
入試課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
キャリア支援課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
国際交流課長	吉田 勇人	吉田 勇人	吉田 勇人
研究推進部長	長谷川 康弘	長谷川 康弘	長谷川 康弘
研究振興企画課長	長谷川 康弘	長谷川 康弘	長谷川 康弘
研究支援課長	長谷川 康弘	長谷川 康弘	長谷川 康弘
化学反応創成研究拠点事務室長	原田 直樹	原田 直樹	原田 直樹
产学連携課長	吉田 年克	吉田 年克	吉田 年克
施設部長	新保 昌人	新保 昌人	新保 昌人
施設企画課長	佐々木 洋	佐々木 洋	佐々木 洋
環境配慮促進課長	佐々木 匡史	佐々木 匡史	佐々木 匡史
施設整備課長	津山 謙一	津山 謙一	津山 謙一
国際部長	太田 裕美	太田 裕美	太田 裕美
国際企画課長	羽澤 明文	羽澤 明文	羽澤 明文
国際連携課長	金子 郁代	金子 郁代	金子 郁代
監査室長	佐々木 尊徳	佐々木 尊徳	佐々木 尊徳
文学事務部事務長	池田 康透	池田 康透	池田 康透
教育学事務部事務長	山本 雅	山本 雅	山本 雅
法学研究科・法医学部事務長	徳山 雅一	徳山 雅一	徳山 雅一
経済学事務部事務長	大沼 俊行	大沼 俊行	大沼 俊行
理学・生命科学事務部事務長(事務課長 兼務)	金川 真行	金川 真行	金川 真行
医学系事務部事務長	佐藤 浩司	佐藤 浩司	佐藤 浩司
総務課長	伊藤 美香	伊藤 美香	伊藤 美香
会計課長	岩松 正一	岩松 正一	岩松 正一
保健科学研究院事務課長	佐藤 陽一	佐藤 陽一	佐藤 陽一
歯学事務部事務長	鶴志田 敏則	鶴志田 敏則	鶴志田 敏則
薬学事務部事務長	八巻 雅彦	八巻 雅彦	八巻 雅彦
工学系事務部長	大道 元樹	大道 元樹	大道 元樹
総務課長	桃山 光賢	桃山 光賢	桃山 光賢
経理課長	辻光一	辻光一	辻光一
教務課長	土本 光一	土本 光一	土本 光一
情報科学研究院事務課長	紙丸 実	紙丸 実	紙丸 実
農学・食資源学事務部事務長	入澤 秀次	入澤 秀次	入澤 秀次
獣医学系事務部事務長	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹
函館キャンパス事務部事務長	佐藤 哲生	佐藤 哲生	佐藤 哲生
病院事務部長	深澤 博昭	深澤 博昭	深澤 博昭
総務課長	井川 恭輔	井川 恭輔	井川 恭輔
人事労務管理室長	及川 晃男	及川 晃男	及川 晃男
経営企画課長	三浦 順一	三浦 順一	三浦 順一
管理課長	石井 進一	石井 進一	石井 進一
医事課長	花畠 純	花畠 純	花畠 純
医療支援課長	成田 昭夫	成田 昭夫	成田 昭夫
環境科学事務部事務長	長野 勝浩	長野 勝浩	長野 勝浩
メディア・観光学事務部事務長	馬場 勝浩	馬場 勝浩	馬場 勝浩
低温科学研究所事務長	中田 雄二	中田 雄二	中田 雄二
附属図書館事務部長	相原 雪乃	相原 雪乃	相原 雪乃
管理課長	佐藤 初代	佐藤 初代	佐藤 初代
利用支援課長	米谷 昌代	米谷 昌代	米谷 昌代
研究支援課長	結城 恵司	結城 恵司	結城 恵司
北キャンパス合同事務部事務長	笛原 英司	笛原 英司	笛原 英司
北方生物圏フィールド科学センター事務長	成澤 順久	成澤 順久	成澤 順久

ノーベル賞

鈴木 章 (名誉教授、ユニバーシティプロフェッサー)

2010年 ノーベル化学賞受賞

有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究



The Nobel Prize® and the Nobel Prize® medal design mark are registered trademarks of the Nobel Foundation.

文化勲章

受章者	受章年	受章時の職名	主な業績
宮部 金吾	1946年	名誉教授	植物学全般に関する研究
鈴木 章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究

文化功労者

受賞者	受賞年	受賞時の職名	主な業績
松村 松年	1954年	名誉教授	昆虫学全般に関する研究
伊藤 誠哉	1959年	名誉教授	作物病害と菌類に関する植物病理学研究
坂村 徹	1976年	名誉教授	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
高橋 萬右衛門	1995年	名誉教授	イネの遺伝に関する研究
鈴木 章	2010年	名誉教授	有機ホウ素化合物のクロスカップリング反応に関する研究
山岸 俊男	2013年	名誉教授	社会的ジレンマや信頼の研究
喜田 宏	2017年	名誉教授	新型インフルエンザ出現メカニズムの解明
宇井 理生	2018年	名誉教授	GTP結合タンパク質の発見と機能解明

日本学士院賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
今 裕	1934年	※帝国学士院賞	医学部 教授 細胞の銀反応の研究
功力 金二郎	1939年	※帝国学士院賞	理学部 教授 抽象空間の研究
堀内 壽郎	1940年	※帝国学士院恩賜賞	理学部 教授 化学反応速度論の理論及実験的研究
中谷 宇吉郎	1941年	※帝国学士院賞	理学部 教授 雪に関する研究
茅 誠司	1942年	※帝国学士院賞	理学部 教授 強磁性結晶体の磁気的研究
鈴木 酒	1949年		理学部 教授 超塩基性岩類並びにこれに附隨する鉱床に関する研究
牧野 佐二郎	1958年		理学部 教授 動物染色体の研究
福士 貞吉	1958年		農学部 教授 植物ウィルス病の虫媒伝染に関する研究
長尾 正人	1965年		農学部 教授 イネにおける十二連鎖群の研究
高橋 萬右衛門	1965年		農学部 助教授 イネにおける十二連鎖群の研究
藤田 宏達	1971年		文学部 教授 原始淨土思想の研究
石塚 喜明	1975年		名誉教授 水稻の栄養生理学的研究とその応用(共同研究)
田中 明	1975年		農学部 教授 水稻の栄養生理学的研究とその応用(共同研究)
横山 泉	1981年		理学部 教授 重力異常の分布からみた火山の構造
伴 義雄	1984年		薬学部 教授 インドールアルカロイドの合成研究
四方 英四郎	1986年		農学部 教授 植物ウイルス及びウイロイドの研究
木下 俊郎	1993年		農学部 教授 高等植物における細胞質と核の相互作用の解析および作物育種への応用
大塚 榮子	1996年		薬学部 教授 核酸の合成と機能に関する研究—合成ras遺伝子関連の研究を中心として(共同研究)
松野 太郎	1997年	地球環境科学研究科 教授	中間圈・成層圈大気力学の解明
鈴木 章	2004年	名誉教授	バラジウム触媒を活用する新有機合成反応の研究(共同研究)
喜田 宏	2005年	獣医学研究科 教授	インフルエンザ制圧のための基礎的研究—家禽、家畜およびヒトの新型インフルエンザウイルスの出現機構の解明と抗体によるウイルス感染性中和の分子的基盤の確立—

教職員数

2020年10月16日現在

沿
革

組織・財政

学
生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全學的な教育研究体制

キャンパス

職種	組織	総長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	URA職	専門職	事務職員	技術職員	合計
		1人	8人	2人	11人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	11人
運営組織	役員															0
	技術支援本部															0
	情報環境推進本部															2
	アドミッションセンター															0
	人材育成本部															0
	創成研究機構															12
	創成研究機構化学反応創成研究拠点					2	0(10)	1	10	3	1	8	12	0		0
	高等教育推進機構					0(1)	7	10	1	10	28	1	4	33		
	サステナブルキャンパスマネジメント本部															0
	安全衛生本部					2					2	1				3
教育研究組織	大学力強化推進本部											10				10
	産学・地域協働推進機構					1					1	7				8
	総合IR室											2				2
	国際連携機構					1					1	1	3			5
	法学研究科・法学部	37	11			9	2	59				3				62
	水産科学院・水産科学研究院・水産学部	25	32			23		80				36	116			
	環境科学院・地球環境科学研究院	19	22			9	1	51					51			
	理学院・理学研究院・理学部	75	61	9	35	1	181				1	18	200			
	薬学研究院・薬学部	15	7	11	22			55				3	58			
	農学院・農学研究院・農学部	44	33	27	16			120				11	131			
教育研究組織	生命科学院・先端生命科学研究院	12	5	3	5			25					25			
	教育学院・教育学研究院・教育学部	14	19	4			1	38					38			
	国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院	27	27	1	3			58					58			
	保健科学院・保健科学研究院	21	12	11	22			66					66			
	工学院・工学研究院・工学部	87	99	3	82			271			3	51	325			
	総合化学院															0
	経済学院・経済学研究院・経済学部	22	17			2		41			2		43			
	医学院・医学研究院・医学部	35	29	20	64	2	150					13	163			
	歯学院・歯学研究院・歯学部	19	19	1	36			75				4	79			
	獣医学院・獣医学研究院・獣医学部	17	15		13			45				3	48			
教育研究組織	文学学院・文学研究院・文学部	50	33		8			91	3				94			
	情報科学院・情報科学研究院	38	33		17			88					88			
	理工学院												0			
	国際感染症学院												0			
	国際食資源学院												0			
	公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	10	6	2				18					18			
	北海道大学病院	4	14	51	82			151					653	804		
	低温科学研究所	13	9	1	21			44					8	52		
	電子科学研究所	16	13		13			42					10	52		
	遺伝子病制御研究所	9	6	3	9			27					7	34		
事務組織	触媒科学研究所	7	6		7			20					6	26		
	スラブ・ユーラシア研究センター	7	3		2	1	13						13			
	情報基盤センター	7	5		2			14					14			
	人獣共通感染症リサーチセンター	6	5	4	7			22					2	24		
	アイソトープ総合センター	1	1		1			3					2	5		
	量子集積エレクトロニクス研究センター	3	3					6					6			
	北方生物圏フィールド科学センター	13	17		7			37					71	108		
	観光学高等研究センター	3	2					5					5			
	アイヌ・先住民研究センター	1	5		1			7					7			
	社会科学実験研究センター													0		
事務組織	環境健康科学研究所教育センター															0
	北極域研究センター	4	1		4			9					9			9
	広域複合災害研究センター		1		1			2					2			2
	脳科学研究所教育センター															0
	外国語教育センター															0
	数理・データサイエンス教育研究センター															0
	人間知・脳・AI研究教育センター															0
	総合博物館	3	3		2			8					8			
	大学文書館		1					1			2		3			
	学生相談総合センター		3	1				4			3		7			
事務組織	保健センター	1						1					7			8
	埋蔵文化財調査センター							1					1			
	国際連携研究教育局		10(35)	8(17)	3(2)	3(16)				24		3	99	12	114	
	総務企画部															
	財務部												77			
	学務部												92			
	研究推進部												36	1	37	
	施設部												12	27	39	
	国際部												14			14
	文学事務部												17			17
事務組織	教育学事務部												9			9
	法学院研究科・法学院事務部												17			17
	経済学事務部												8			8
	理学・生命科学事務部												41	2	43	
	医学系事務部												43	2	45	
	歯学事務部												10	1	11	
	薬学事務部												9			9
	工学系事務部												66	3	69	
	農学・食資源学事務部												25	2	27	
	獣医学系事務部												21			21
事務組織	函館キャンパス事務部												24	3	27	
	病院事務部												125	6	131	
	環境科学事務部												12			12
	メディア・観光学事務部												9			9
	低温科学研究所事務部												7			7
	附属図書館事務部												90			90
	北キャンパス合同事務部												18			18
	北方生物圏フィールド科学センター事務部												20			20
	監査室												5			5
	合計	1	8	2	11	686	598	156	540	8	1,988	17	31	906	976	3,929

*創成研究機構化学反応創成研究拠点の職員数の()内は、主任研究者(Pi)で内数。当該職員は、原籍組織の職員数に計上。

*国際連携研究教育局の職員数の()内は、北海道大学ユニットの本務者数で内数。当該職員は、原籍組織の職員数に計上。

外国人職員数	職員就業規則適用職員	左記以外の職員	合計
151人	685人	836人	(2020年6月1日現在)

大学院・学部

2020年4月1日現在

研究科・専攻・講座、附属施設

1 研究科

2 専攻・5 講座・1 協力講座、1 附属施設

学院・専攻・講座・コース

19 学院

43 専攻・135 講座・9 連携講座・5 連携分野・35 コース・11 ユニット

研究院・部門・分野、附属施設

16 研究院

51 部門・165 分野・21 寄附分野・4 連携分野・産業創出分野、8 附属施設

連携研究部・部門・分野、附属施設

1 連携研究部

1 部門・1 分野、1 附属施設

法学研究科・法学部

Graduate School of Law/School of Law



本研究科は、法学及び政治学における高度な教育研究と先端的・学際的な教育研究を行うことにより、多角的な研究によって得られた知見に基づき、幅広い分野で活躍する高度な専門性を有する知識的職業人の養成を目標とする。学部は、法学・政治学の基礎的素養及び豊かな人間性、知的感性を備え、広く社会の発展を支える人材の育成を目標とする。

法学研究科 2 専攻・5 講座・1 協力講座、1 附属施設

専 攻	講 座
法学政治学	現代法、基礎法、政治学、○高等法政
法律実務	民事法、公法

附属施設

高等法政教育研究センター



法学部 1 課程・6 学科目

課 程	学 科 目
法学課程	公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法学、政治学

○は協力講座、△は連携講座、※は寄附分野、〔 〕は連携分野、◎は産業創出分野を示す

水産科学院・水産科学研究院・水产学部Graduate School of Fisheries Sciences/
Faculty of Fisheries Sciences/School of Fisheries Sciences

「人類の共有財産である海洋・水圏の生物資源の持続的生産とそれらの効率的利用、さらにそれらを保証する海洋生態系の保全の基礎と応用を総合的に考究すること」を教育研究理念とし、国際社会、地域社会、産業社会からの共通の要請である地球環境問題、資源問題、食糧問題等を考え、創造的で意欲ある人材の養成を目的としている。そのために必要な高い専門性、広い視野と高い倫理観を養うことができるカリキュラム編成を特徴とする。

水産科学院 2専攻・12講座

専攻	講座
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋計測学、水産工学、海洋共生学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物工学、生物資源化学、水産食品科学、水産資源開発工学

**水産科学研究院 2部門・12分野**

部門	分野
海洋生物資源科学	海洋生物学、資源生物学、海洋環境科学、海洋計測学、水産工学、海洋共生学
海洋応用生命科学	増殖生物学、育種生物学、海洋生物工学、生物資源化学、水産食品科学、水産資源開発工学

**水产学部 4学科・4科目・2附属施設**

学科	学科目
海洋生物科学科	海洋生物科学
海洋資源科学科	海洋資源科学
増殖生命科学科	増殖生命科学
資源機能化学科	資源機能化学

附属施設

練習船おしおろ丸

練習船うしお丸

環境科学院・地球環境科学研究院

Graduate School of Environmental Science/Faculty of Environmental Earth Science



地球科学、生物学、物質科学などの自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。基礎学力に優れた学生を広く受け入れ、学際的な環境科学教育を行っている。総論、基礎論、特論、大学院共通講義、南極学カリキュラムなど多様なカリキュラムを用意し、本学全体の環境教育にも主導的な役割を果たしている。

**環境科学院 4専攻・20コース**

専攻	コース
環境起学	人間・生態システム、環境適応科学、実践環境科学、国際環境保全
地球圏科学	生物地球化学、大気海洋物理学・気候力学、雪氷・寒冷圏科学
生物圏科学	多様性生物学、生態遺伝学、分子生物学、植物生態学、動物生態学、海洋生物生産学、水圏生物学、森林圏フィールド科学、耕地圏科学
環境物質科学	生体物質科学、ナノ環境材料、光電子科学、環境触媒化学

**地球環境科学研究院 4部門・15分野**

部門	分野
統合環境科学	自然環境保全、環境地理学、環境適応科学、実践・地球環境科学
地球圏科学	環境変動解析学、化学物質循環学、大気海洋物理学、気候力学
環境生物科学	陸域生態学、生態保全学、生態遺伝学、環境分子生物学
物質機能科学	生体物質科学、機能材料化学、分子材料化学

理学院・理学研究院・理学部

Graduate School of Science/Faculty of Science/School of Science



自然がどのように創り上げられ、どのような作用をしているか、人間は絶えずそれを知りたい、理解したいという願望を抱いている。この願望に根ざして築き上げられてきた学問を理学院・理学研究院・理学部は担い、以下の人材を育成することを教育目標とする。

- 事象の本質を見極め、またその背後にある法則性を確立できる人材の育成。(アイディアを普遍的な問題として理論化し、実証していく能力を養成する。物事をモデル化してとらえることができ、それを論理的かつ感覚的に表現できる能力を養成する。)
- 学問研究の成果を論理的に表現して他人を論理的に説得し、リーダーシップをとって社会貢献できる人材の育成。

理学院 4専攻・10講座

専攻	講座
数学	数学
物性物理学	量子機能物理学、凝縮系物理学
宇宙物理学	素粒子・原子核・宇宙物理学、宇宙惑星科学
自然史科学	地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、多様性生物学、科学コミュニケーション、地震学火山学

**理学研究院 5部門・15分野・1寄附分野・3附属施設**

部門	分野
数学	数学
化学	物理化学、無機・分析化学、有機・生命化学
物理学	量子物理学、電子物性物理学、凝縮系物理学、非線形物理学
地球惑星科学	宇宙惑星科学、地球惑星ダイナミクス、地球惑星システム科学、※北海道気象予測技術開発(北海道気象技術センター)
生物科学	形態機能学、行動神経生物学、生殖発生生物学、多様性生物学

附属施設

- 地震火山研究観測センター
- ゲノムダイナミクス研究センター
- 原子核反応データベース研究開発センター

理学部 5学科・6科目

学科	科目
数学科	数学
物理学科	物理学
化学科	化学
生物科学科	生物学、高分子機能学
地球惑星科学科	地球惑星科学

**薬学研究院・薬学部**

Faculty of Pharmaceutical Sciences/School of Pharmaceutical Sciences and Pharmacy

「画期的医薬品の創製と適正な臨床適用」に向けて有為な人材(研究者や指導的薬剤師)の養成を目指す。そのためには基礎薬学、生命科学、創薬科学、並びに医療薬学からなるファーマサイエンスに関する教育と研究を展開している。

薬学研究院 2部門・3分野

部門	分野
創薬科学	生体機能科学、創薬化学
医療薬学	医療薬学

**薬学部 2学科・2科目、1附属施設**

学科	科目
薬科学科	薬科学
薬学科	薬学

附属施設

- 薬用植物園



農学院・農学研究院・農学部

Graduate School of Agriculture/Research Faculty of Agriculture/School of Agriculture



人類が直面する地球レベルの多様な課題に対応する新たな農学体系の創設と再構築を目指した研究を行うとともに、人類が持続的に生存するために必要な緊急課題解決までの全領域をカバーする教育体制を整備し、地域的並びに世界的視点からの判断能力を有する研究者及び高度専門職業人を養成する。

農学院 1専攻・3コース(11ユニット)

専攻	コース(ユニット)
農学	生産フロンティア(農業植物科学、作物生産生物学、農業経済学、生物生産工学)
	生命フロンティア(畜産科学、応用分子生物学、応用生物化学)
	環境フロンティア(生態・体系学、地域環境学、森林資源利用学、森林・緑地管理学)

**農学研究院 2部門・9分野**

部門	分野
基盤研究	生物資源科学、応用生命科学、生物機能化学、森林科学、畜産科学、生物環境工学、農業経済学
連携研究	連携推進、融合研究

農学部 7学科・7科目

学科	学科目
生物資源科学科	生物資源科学
応用生命科学科	応用生命科学
生物機能化学科	生物機能化学
森林科学科	森林科学
畜産科学科	畜産科学
生物環境工学科	生物環境工学
農業経済学科	農業経済学

生命科学院

Graduate School of Life Science



ヒトゲノムを含めて、多くの生物の遺伝情報を利用した基礎及び応用研究が飛躍的に進展している生命科学分野において、我が国のさらなる発展に貢献できる優れた人材の養成を目指し、新しい試みを導入した教育システムによる大学院教育を展開している。

生命科学院 3専攻・5講座

専攻	講座
生命科学	生命融合科学、生命システム科学、生命医薬科学
ソフトマター	ソフトマター
臨床薬学	臨床薬学

先端生命科学研究院

Faculty of Advanced Life Science



生命科学は基礎領域から応用領域に至る、多彩な研究分野を含む大きな科学である。関連分野(生物学、物理学、化学、数学、医学、薬科学)の専門研究者たちが集まり、新しい生命融合科学の創成を行っている。同時に、附属次世代物質生命科学研究センターでは、COI-STREAMや産業創出講座による产学連携研究、GI-CoRE ソフトマターグローバルステーションによる世界トップレベルの国際連携研究、先端研究基盤共用促進事業等による研究開発基盤の維持・高度化を進め、次世代の高度技術人材育成を行っている。

**先端生命科学研究院 2部門・13分野・1連携分野・1附属施設**

部門	分野
先端融合科学研究	X線構造生物学、生命分子科学、ソフト＆ウェットマターの科学、組織構築科学、細胞ダイナミクス科学、新薬探索研究、化学生物学、〔分子送達科学〕
生命機能科学研究	細胞生物学、分子細胞生物学、生物情報解析科学研究、細胞機能科学、糖鎖生物学、発生工学

附属施設
次世代物質生命科学研究センター

教育学院・教育学研究院・教育学部

Graduate School of Education/Faculty of Education/School of Education



新しい教育理念とシステムの構築や多様な教育問題の解決を目指す基礎的及び実践的な研究を推し進めていくことができる研究者の育成、高度な知識とスキルを有する職業人の育成、豊かな人間性を備え国際的な視野に立った教育課題に的確に対応し得る人間を育成することを目的とする。

教育学院 1専攻・8講座

専 攻	講 座
教育学	学校教育論、生涯学習論、教育社会論、教育心理学、臨床心理学、健康教育論、身体教育論、多元文化教育論

**教育学研究院 1部門・4分野、1附属施設・3部門**

部 門	分 野
教育学	教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学

附 属性 施 設	部 門
子ども発達臨床研究センター	子ども臨床研究、子ども発達支援研究、教職高度化研究

教育学部 1学科・4科目

学 科	学 科 目
教育学科	教育社会科学、教育基礎論、教育心理学、健康体育学

国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies/
Research Faculty of Media and Communication

広報・ジャーナリズム、メディア文化、言語コミュニケーション及び観光創造に関する分野において、現代社会の変化と課題に柔軟かつ的確に対応でき、地域社会及び国際社会において活躍できる専門的能力を備えた研究者、職業人の養成を目指している。

国際広報メディア・観光学院 1専攻・9講座・1連携講座

専 攻	講 座
国際広報メディア・観光学	公共ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、言語コミュニケーション論、△国際広報戦略論、観光地域経営論、国際観光開発論、観光文化論、交流共創論、現代日本学

**メディア・コミュニケーション研究院 2部門・10分野・1連携分野**

部 門	分 野
メディア・コミュニケーション	公共伝達論、ジャーナリズム論、国際広報論、メディア文化論、マルチメディア表現論、言語伝達論、言語習得論、国際地域文化論、多元文化教育論、〔国際広報戦略論〕
現代日本学	現代日本学

保健科学院・保健科学研究院

Graduate School of Health Sciences/Faculty of Health Sciences



高度医療への社会的ニーズに応えるため、最先端の知識と実践技術を有し、次世代の保健科学を担う高度医療専門職の育成、及び専門分野を超えて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成を目的とする。同時に、地域の医療水準の向上、健康増進に寄与するとともに、我が国の保健科学領域の高等教育及び学術研究水準の向上と発展を目指している。

保健科学院 1専攻・2コース

専 攻	コ ラス
保健科学	保健科学、看護学

保健科学研究院 1部門・6分野・4寄附分野

部 門	分 野
保健科学	基盤看護学、創成看護学、医用生体理工学、病態解析学、リハビリテーション科学、健康科学、※食品機能解析・保健栄養学(渡辺オイスター)、※生体応答制御医学、※高次脳機能創発、※データヘルスイノベーション



工学院・工学研究院・工学部

Graduate School of Engineering/Faculty of Engineering/School of Engineering

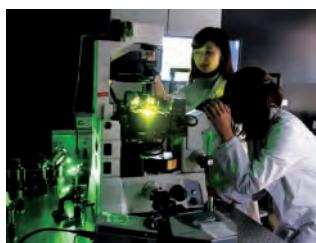
○は協力講座、△は連携講座、※は寄附分野、〔 〕は連携分野、◎は産業創出分野を示す



学問の継承及び創造を通じて、工学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身に付けた、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力及び実務対応能力を持つ人材の育成を目的とする。

工学院 13専攻・31講座・6連携講座

専攻	講座
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理工学、光波動量子物理工学、固体量子物理工学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料、エネルギー変換マテリアル、△マテリアル製造、△フロンティアエネルギー工学
機械宇宙工学	宇宙システム工学、機械フロンティア工学、△宇宙探査工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス、マイクロシステム、△バイオメディカルシミュレーション
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム、応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学、プラズマ理工学、ナノ材料科学、△物質構造科学、△核融合科学
環境フィールド工学	水循環工学、防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学、技術環境政策学
建築都市空間デザイン	空間防災、空間計画
空間性能システム	空間性能、建築システム
環境創生工学	水代謝システム、環境管理工学
環境循環システム	資源循環工学、地盤循環工学
共同資源工学	国際資源環境工学、国際戦略資源工学

**工学研究院 9部門・28分野・5寄附分野・1附属施設**

部門	分野
応用物理学	量子物性工学、凝縮系物理工学、光波動量子物理工学、固体量子物理工学
応用化学	有機工業化学、化学工学、生物工学、分子機能化学、機能材料化学、無機材料化学
材料科学	エコマテリアル、マテリアル設計、エネルギー材料
機械・宇宙航空工学	機械材料システム、人間機械システム、熱流体システム、宇宙航空システム
応用量子科学	物質量子工学、量子生命工学、量子エネルギー工学、※医工連携放射線医学物理、※原子力支援社会基盤技術
土木工学	社会基盤マネジメント、先端社会システム、自然災害適応、※地域防災学
建築都市	空間デザイン、先端空間性能
環境工学	環境工学、※バイオマスコミュニティプランニング
環境循環システム	資源循環工学、地盤循環工学、※資源環境修復学

附属施設

エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

工学部 4学科・15コース

学科	コース
応用理工系学科	応用物理工学、応用化学、応用マテリアル工学
情報エレクトロニクス学科	情報理工学、電気電子工学、生体情報、メディアネットワーク、電気制御システム
機械知能工学科	機械情報、機械システム
環境社会工学科	社会基盤学、国土政策学、建築都市、環境工学、資源循環システム

**総合化学院**

Graduate School of Chemical Sciences and Engineering



社会の要請に柔軟に対応することが可能な技術者や研究者の育成を目指し、基盤的化学の確実な理解のための共通教育と、企業での技術者・研究者、公的機関の研究者、さらには大学などの教育者など、学生の求めるキャリアパスに応じた展開的教育を理・工に所属する教員が相補的に連携しながら行い、社会の要請に応える人材を養成する。

総合化学院 1専攻・3コース(12講座)

専攻	コース(講座)
総合化学	分子化学(反応解析学、反応制御学、触媒反応学、プロセス工学) 物質化学(分子物質化学、無機物質化学、先端物質化学、機能物質化学) 生物化学(生命分子化学、生物機能化学、細胞生物工学、分子医化学)



経済学院・経済学研究院・経済学部Faculty of Economics and Business/Graduate School of Economics and Business/
School of Economics and Business

「深い愛情と高い使命感をもって革新と創造に取り組む指導的人材の育成」、「専門知識と社会倫理を備え社会的課題に立ち向う自律的知性の涵養」、加えて学院では「世界に伍した経済学・経営学の研究を担える人材の育成」、「経済学と経営学の融合及び近接科学との連携による高度専門職業人の育成」を教育目標とし、目的意識をもった学生に適したカリキュラムの編成を特徴とする。

経済学院 2専攻・5講座

専 攻	講 座
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学研究院 2部門・5分野

部 門	分 野
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学部 2学科・5科目

学 科	学科目
経済学科	経済理論、経済史、応用経済学
経営学科	経営学、経営情報

医学院・医学研究院・医学部

Graduate School of Medicine/Faculty of Medicine/School of Medicine



医学院の教育理念は「高い倫理観と豊かな人間性の涵養と高度な医学知識と技術の習得」であり、医学部は「医を支える高い倫理観と豊かな人間性の陶冶」、「高度な医学知識と技術の修得及びそれを維持する生涯学習を続ける態度・習慣の修得」、「医療チームにおいて他の専門職と連携し、高度医療を行う協調性の修得」を教育理念としている。

医学院 2専攻・19講座・1連携講座

専 攻	講 座
医学	生化学、解剖学、生理学、薬理学、病理学、微生物学免疫学、社会医学、内科学、放射線科学、外科学、侵襲制御医学、機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、医生物学、免疫科学、癌病態学、△臨床系連携
医科学	医科学

医学研究院 7部門・16分野・11寄附分野・3産業創出分野、1附属施設

部 門	分 野
生理系	生化学、解剖学、生理学、薬理学
病理系	病理学、微生物学免疫学
社会医学系	社会医学
内科系	内科学、放射線科学、※呼吸・循環イノベーティブリサーチ、※糖尿病・肥満病態治療学、※心不全低侵襲先進治療学、※心不全遠隔医療開発学、※心不全医薬連携開発学、※先端画像診断開発学
外科系	外科学、侵襲制御医学、※移植外科学
専門医学系	機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、※脊椎・脊髄先端医学、※眼循環代謝学、※先端の糖鎖臨床生物学、※転移性骨腫瘍予防・治療学、○運動器先端医学、○膝関節機能再建、○バイオマテリアル機能再建
連携医学系	医生物学

附属施設**動物実験施設****医学部 2学科・31科目、1附属施設**

学 科	学科目
医学科	解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学、微生物学、免疫学、法医学、衛生学、公衆衛生学、内科学、外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、形成外科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学・核医学、麻酔学、脳神経外科学、救急医学、リハビリーション医学
保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学

附属施設**北海道大学病院**

(歯学部との共用附属施設)

歯学院・歯学研究院・歯学部

Graduate School of Dental Medicine/Faculty of Dental Medicine/School of Dental Medicine



口腔の健康管理を通じて全身の健康の保持増進を図るために、歯学及び歯科医療に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、医療従事者としての職業倫理、豊かな人間性及び課題探求心を備えた歯科医師、歯学教育者及び研究者を育成することを目的とする。歯科医師としての豊かな教養と知性の涵養のため、小グループ制の「全人教育演習」「早期臨床体験実習」並びに、問題解決能力養成のための「研究実習」など特徴ある教育内容を展開している。

歯学院 1 専攻・4 講座・1 連携講座

専 攻	講 座
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学、顎機能医療学、△長寿口腔科学

**歯学研究院 1 部門・3 分野**

部 门	分 野
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学

歯学部 1 学科・9 学科目、1 附属施設

学 科	学科目
歯学科	生体構造解析学、生体機能解析学、病因病態解析学、歯質・歯周再建学、咬合再建学、口腔診断内科学、口腔顎顔面外科学、発育加齢歯科学、口腔健康科学
附属施設	北海道大学病院 (医学部との共用附属施設)

獣医学院・獣医学研究院・獣医学部Faculty of Veterinary Medicine/
Graduate School of Veterinary Medicine/School of Veterinary Medicine

動物の健康の保持増進、公衆衛生の向上、食の安全及び生命科学の発展に寄与するために、獣医学に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、豊かな人間性、高い生命倫理観及び国際的視野を備えた獣医師及び獣医学に関する創造性を有する研究者の養成を目指している。また、2012年度から獣医学部は帯広畜産大学との共同獣医学課程を編成し、北海道というフィールドを生かした実践的かつ先進的な獣医学教育を行っている。

獣医学院 1 専攻・4 講座

専 攻	講 座
獣医学	基礎獣医学科、応用獣医学科、環境獣医学科、臨床獣医学科

**獣医学研究院 1 部門・6 分野、1 附属施設**

部 门	分 野
獣医学	基礎獣医学科、応用獣医学科、環境獣医学科、臨床獣医学科、病原制御学、衛生学

附属施設
動物病院

獣医学部 1 課程・4 分野

課 程	分 野
共同獣医学	基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学

医理工学院

Graduate School of Biomedical Science and Engineering



医理工学院は、理学及び工学分野の発展を医学分野に応用する異分野融合の新たな学問分野「医理工学」の教育研究を行うことを目的とする。高度な専門性、広い視野及び高い倫理観を備えた人類社会の持続的発展に貢献し、卓越した知識と高度な研究能力を備え、医療技術及び医療機器の開発等の諸課題の高度化及び国際化に対応することができる人材育成を教育目標としている。

医理工学院 1 専攻・2 コース (4 講座)

専 攻	コース (講座)
医理工学	量子医理工学(粒子線医理工学、放射線医理工学)、分子医理工学(画像医理工学、生物医理工学)

国際感染症学院

Graduate School of Infectious Diseases



エボラ出血熱のアウトブレーク等、新興・再興感染症による社会、経済への脅威は益々増大し、感染症の研究とその対策にあたる専門家養成の要望が国内外において一層高まっている。国際感染症学院では、このような社会的要請に応えるため、感染症学に関する広い視野、柔軟な発想力及び総合的な判断力を有し、我が國のみならず世界の感染症学の発展並びに感染症の制圧に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材の育成を目指している。

国際感染症学院 1 専攻

専 攻
感染症学

国際食資源学院

Graduate School of Global Food Resources



世界が直面する多様かつ重層的な食資源問題を理解し、具体的な解決策を提示・実践できる国際的リーダーを養成する。そのため、先端的、学際的かつ総合的な文理融合型の教育研究を実施し、世界の食資源問題を俯瞰的にとらえることのできる幅広い知識と、問題解決を実践できる専門性を兼ね備えた人材を輩出することを教育目標とする。

国際食資源学院 1 専攻・1 講座

専 攻	講 座
国際食資源学	国際食資源学

文学院・文学研究院・文学部

Graduate School of Humanities and Human Sciences/Faculty of Humanities and Human Sciences/School of Humanities and Human Sciences



人間と社会に対する認識を深めるために、人文社会科学の諸領域における高度な研究を行うとともに、人類が直面している複雑で多面的な課題に立ち向かうことができる人材の育成を目指している。文献・資料の解釈からフィールドワーク・実験まで、幅広い人文社会科学諸領域をカバーする教育体制を整備し、社会のニーズに応え未来社会を担う人材を育成する。

文学院 2 専攻・11 講座

専 攻	講 座
人文学	哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、表現文化論、言語科学、スラブ・ユーラシア学、アイヌ・先住民学
人間科学	心理学、行動科学、社会学、地域科学

文学研究院 2 部門・9 分野

部 門	分 野
人文学	哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、表現文化論、言語科学
人間科学	心理学、行動科学、社会学、地域科学

文学部 1 学科・4 学科目

学 科	学科目
人文科学科	哲学文化学、歴史学人類学、言語文学、人間科学

情報科学院・情報科学研究院

Graduate School/Faculty of Information Science and Technology



社会の発展に貢献し、次世代の知識基盤社会の進展を図ることを教育研究の理念とし、情報科学の学理の継承及び創造を通じて、幅広く深い学識を有し、国際性を備えた技術者を育成するとともに、自立して研究開発を行うことができる創造力の豊かな研究者を養成することを目的とする。

情報科学院 1 専攻・5 コース・5 連携分野

専 攻	コース	連携分野
情報科学	情報理工学	—
	情報エレクトロニクス	—
	生体情報工学	[先端医工学分野]
	メディアネットワーク	[ユビキタスネットワーク学分野]、[メディアネットワーク社会学分野]
	システム情報科学	[リモートセンシング情報学分野]、[デジタルヒューマン情報学分野]

情報科学研究院 5 部門・11 分野

部 門	分 野
情報理工学	複合情報工学、知識ソフトウェア科学、数理科学
情報エレクトロニクス	集積システム、先端エレクトロニクス
生命人間情報科学	バイオインフォマティクス、バイオエンジニアリング
メディアネットワーク	情報メディア学、情報通信システム学
システム情報科学	システム創成学、システム融合学

公共政策学教育部・公共政策学連携研究部

Graduate School of Public Policy/Faculty of Public Policy



少人数制を基本とした教育により、複合的かつ総合的な視点をもって時代に即した政策立案ができるプロフェッショナル(国家・地方公務員、民間企業、シンクタンク、NPO等)の養成を目的とする。

法学研究科、経済学院、工学院の連携により文理を融合し、研究者だけでなく、現場経験が豊富な実務家の視点も活かされている。理論と実践、専門性と総合性、グローバルとローカル(グローカル)の対話の中から、現代の課題に対応できる実践力を磨くことができる。

公共政策学教育部 1 専攻・3 コース

専 攻	コース
公共政策学	公共経営、国際政策、技術政策

公共政策学連携研究部 1 部門・1 分野、1 附属施設

部 門	分 野
公共政策学	公共政策学

附属施設

公共政策学研究センター

附置研究所

2020年4月1日現在

低温科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Institute of Low Temperature Science**設置目的**

寒冷圏及び低温条件の下における科学的現象に関する学理及びその応用の研究を行い、かつ、国立大学の教員及びその他の者で本研究所の目的たる研究と同一の研究に従事するものに利用させることを目的とする。

電子科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Research Institute for Electronic Science**設置目的**

電子科学に関する学理及びその応用の研究を行う。

遺伝子病制御研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Institute for Genetic Medicine**設置目的**

遺伝子病の制御に関する学理及びその応用の研究（感染、がん、免疫、炎症等）を行う。

共同研究推進部	
研究部門	研究分野
水・物質循環	海洋・海水動態、大気海洋相互作用、大気環境、大気陸面相互作用、水文気象、同位体物質循環
雪氷新領域	氷河・氷床、相転移ダイナミクス、宇宙雪氷学、宇宙物質科学
生物環境	寒冷域植物生理生態、生物適応、微生物生態学、生物多様性、生物分子機構、冬眠代謝生理発達

附属施設	研究分野
環オホーツク観測	気候変動影響評価、流域圈システム
研究センター	国際連携研究推進室



低温科学研究所

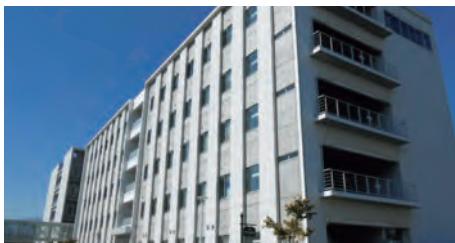


スイス氷河実習

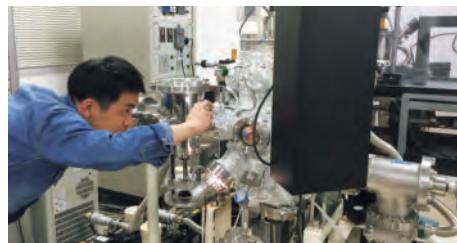
研究部門	研究分野
光科学	光システム物理、ナノ材料光計測、コヒーレント光
物質科学	分子フォトニクス、スマート分子材料、ナノ構造物性、薄膜機能材料
生命科学	光情報生命科学、生体分子デバイス
連携	理研連携、社会連携客員、拠点アライアンス連携、◎新概念コンピューティング産業創出、台湾国立交通大学連携、人間知・脳・AI研究教育センター連携

附属施設	研究分野
グリーンナノテクノロジー研究センター	グリーンフォトニクス、光電子ナノ材料、ナノ光機能材料、ナノアセンブリ材料
社会創造数学研究センター	人間数理、データ数理、知能数理、実験数理

共創研究支援部	
ニコンイメージングセンター	
国際連携推進室	
ナノテク連携推進室	



電子科学研究所



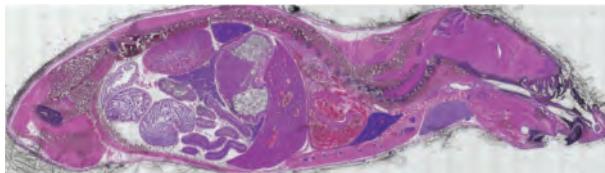
薄膜作成風景

研究部門	研究分野
病因	RNA生体機能、幹細胞生物学、分子生体防御、分子神経免疫学
病態	癌生物、分子腫瘍、免疫生物、ゲノム医生物学
疾患制御	疾患モデル創成、免疫機能学、分子間情報、がん制御学

ユニット	研究分野
フロンティア研究ユニット	動物機能医学
附属施設	
動物実験施設	
感染癌研究センター	



遺伝子病制御研究所



実験成果の例（マウス全身切片の色素染色図（右：頭部、左：尾部））

触媒科学研究所

(共同利用・共同研究拠点)

Institute for Catalysis**設置目的**

触媒科学に関する研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門	研究部門
基礎研究系	触媒表面、触媒理論、表面分子科学、物質変換、触媒材料、光触媒科学、分子触媒、高分子機能科学
実用化推進系	研究開発
ターゲット研究部	クラスター
拠点型	触媒研究基盤開発クラスター
展開型	規整表面ナノ構造研究クラスター、プラズモン光触媒反応研究クラスター、酸塩基触媒研究クラスター、機能性合金触媒研究クラスター、遷移金属誘起高分子合成／変換研究クラスター、ナノ界面反応場研究クラスター
附属施設	ユニット
触媒連携研究センター	光触媒知的財産活用ユニット、産学官連携触媒研究ユニット、フリッツ・ハーバー研究所ユニット、統合物質創製化学研究推進ユニット、電子トラップ研究コンソーシアム、北大触媒アライアンスユニット



触媒科学研究所



実験の様子

研究センター

2020年4月1日現在

スラブ・ユーラシア研究センター

(共同利用・共同研究拠点)

Slavic-Eurasian Research Center**設置目的**

スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧地域）に関する総合的な研究を行い、この分野の研究に従事する全国の研究者の利用に供する。

研究部門

ロシア

シベリア・極東

中央ユーラシア

東欧

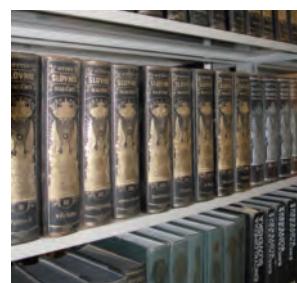
地域比較

ユニット

境界研究ユニット



シンポジウムの様子



スラブコレクション（蔵書）

情報基盤センター

(共同利用・共同研究拠点)

Information Initiative Center**設置目的**

情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、教育研究等の高度化を推進するとともに、情報メディアを活用した教育の実施及び支援を行うことを目的とする。

研究部門

スーパーコンピューティング

情報ネットワーク

デジタルコンテンツ

メディア教育

システムデザイン

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティセンター

情報基盤センター



学際大規模計算機システム

人獣共通感染症リサーチセンター

(共同利用・共同研究拠点)

Research Center for Zoonosis Control**設置目的**

人獣共通感染症の克服に向けた研究、予防・診断・治療法の開発と実用化、情報と技術の社会普及、人獣共通感染症対策専門家の養成を行うとともに、国内外の研究者との交流及び連携の促進を図り、人獣共通感染症の予防と制圧に資する。

研究部門

国際疫学、分子病態・診断、バイオリソース、国際協力・教育、バイオインフォマティクス、感染・免疫、シオノギ抗ウイルス薬研究

拠点

ザンビア拠点

各室

危機分析・対応、国際連携推進、生物製剤研究開発



人獣共通感染症リサーチセンター

学内共同施設

2020年4月1日現在

沿
革

施設名	設置目的・概要
<h2>研究施設</h2>	
アイソトープ総合センター Central Institute of Isotope Science	アイソトープ及び放射線に関する教育・研究を推進するとともに、全学の放射線管理の中心的役割を担う。また、アイソトープ及びアイソトープを利用した研究のための共同利用施設、アイソトープの取り扱いに関する教育訓練施設である。
量子集積エレクトロニクス研究センター Research Center for Integrated Quantum Electronics	先端材料・ナノエレクトロニクス技術を基盤として、低環境負荷社会に資する先進デバイス・システムを創出し、各種共同研究の遂行により先端エレクトロニクス研究成果をもって産業界に貢献することを目的とする。
北方生物圏フィールド科学センター Field Science Center for Northern Biosphere	北方生物圏におけるフィールドを基盤とした総合的な教育研究を行うとともに、多面的な教育研究及び学習活動に対するフィールド及び施設の提供並びにそれらを支援することを目的とする。
観光学高等研究センター Center for Advanced Tourism Studies	観光立国を支える先端的かつ総合的、実践的な教育研究を、道内外の自治体・民間企業との連携や国内外の大学・研究機関との共同研究実施、研究ネットワークの構築及び国際機関との協働による観光分野の国際協力事業実施等を通じて推進し、成熟社会における地方創生や世界の平和構築に貢献する。
アイヌ・先住民研究センター Center for Ainu and Indigenous Studies	国内唯一の先住民研究の研究機関として、アイヌ民族をはじめ先住民族と協同し、先端的・実践的な教育研究を推進する。国内外の大学や研究機関と連携して、当該分野における若手人材の育成、研究成果の発信を行い、多文化共生社会の実現に貢献する。
社会科学実験研究センター Center for Experimental Research in Social Sciences	先端的な社会科学実験を展開する日本唯一の専門機関であり、国内外の主要研究拠点との連携のハブとしての役割を担う。心理学・認知科学・脳科学と、経済学、法学、政治学を含む社会科学諸分野との接合を図ると同時に、当該分野における若手人材の育成、研究成果の国内外への発信を行い、社会科学実験に関する研究・教育の発展に資する。
環境健康科学研究教育センター Center for Environmental and Health Sciences	環境健康科学分野における中核組織として大規模疫学研究を実施する。国内外との共同研究や連携強化を進め、多様化する環境と健康の問題に取り組む人材を育成し、環境と健康分野の研究・教育の発展に資する。WHO環境化学物質による健康障害の予防研究協力センターに認定されている。
北極域研究センター (共同利用・共同研究拠点) Arctic Research Center	北極域の持続可能な開発や利用に関して、人社系を含む異分野連携による原理究明から対策まで統合的な課題解決研究を行う。新たな視点と技術及び方法論の導入によって、北極域の研究を対象とした新学術領域の形成を目指す。
広域複合災害研究センター Center for Natural Hazards Research	広域に渡り自然災害が発生すると、住民の生存基盤や産業基盤に多大な被害が生じる。災害を引き起こす様々な現象を対象に学内横断的に研究を進め、減災教育を実施していくことで、災害に強い地域社会の構築を目指す。

教育施設

脳科学研究教育センター Research and Education Center for Brain Science	複雑で多様の機能を有し、生涯にわたり健康を維持する脳の発達過程と自然及び社会環境との関係を明らかにするために、自然科学と人文科学を融合し、新しい研究領域を創造するとともに本課題を解明する人材を育成する。
外国語教育センター Center for Language Learning	全学等における外国語教育の企画・調整及び実施を一元的に行うことにより加え、外国語のうち特に英語による教育の充実及び発展を図ることを通じて、本学の建学の理念である「国際性の涵養」の実践に向けてさらなる向上を目指し、国際的に活躍できる人材を育成する。
数理・データサイエンス教育研究センター Education and Research Center for Mathematical and Data Science	数理的思考及びデータの分析・活用能力を用いて、社会における諸問題の解決及び新しい課題の発見、並びにデータから価値を生み出すことができる人材を育成し、超スマート社会の実現及びその社会における競争力の向上に資することを目的とする。
人間知・脳・AI研究教育センター Center for Human Nature, Artificial Intelligence, and Neuroscience (CHAIN)	人文社会科学・脳科学・人工知能(AI)の諸研究が高度なレベルで融合する新しい「人間知」の創成を目指し、学際的な知を社会に実装できる能力をもった人材を育成する大学院レベルの教育プログラムを実施するとともに、国内外の研究グループと連携し「人間」をめぐる学際的研究の国際的拠点形成を目指す。

特定業務施設

総合博物館 Hokkaido University Museum	学術標本の収蔵、展示、公開等及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する研究を行う。本学の教育研究の成果を一般に公開することにより地域社会への教育普及に寄与する。
大学文書館 Hokkaido University Archives	本学の歴史に係る各種資料や歴史公文書などの収集、整理、保存、調査研究等を行い、閲覧、公開等の利用に供する。
学生相談総合センター Student Advice and Counseling Center	本学の学内共同施設として、本学における学生相談、修学支援その他の学生支援に関する専門的業務を一体的に行うことにより、本学の学生の人間形成の促進並びに本学全体の教育及び研究の発展に寄与することを目的とした施設である。
保健センター Health Care Center	学生・職員の健康の保持増進を図るため保健衛生に関する専門的業務を行う。
埋蔵文化財調査センター Archaeological Research Center	学内共同施設として、本学構内の埋蔵文化財に関する調査を実施するとともに、出土した資料の保存及び活用を図ることを目的とする。

組織・財政

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全学的な教育研究体制

キャンパス

総合博物館

Hokkaido University Museum

2020年4月1日現在(学内共同施設)

研究部

資料基礎研究系

資料開発研究系

博物館教育・メディア研究系

資料部

1999年に設立された総合博物館は日本における自然史研究中核施設の一つで、300万点以上の学術標本と1万3千点以上のタイプ標本を整理・保管し、学術標本に関する研究教育を支援する。また、「ミュージアムマイスター認定コース」や「バラタクソノミスト養成講座」など独自の大学博物館教育を展開する。さらに総合博物館は本学の誇る教育研究の成果を公開展示する施設であり、北大の最先端研究や学部展示ブースの他に、セミナーを開催する多目的スペース、オリジナルグッズを扱うミュージアムショップやカフェなどを併設する。

開館時間 10:00 ~ 17:00

6月~10月の金曜日は 10:00 ~ 21:00

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は連休明けの平日が休館)

12月28日~1月4日



ニッポンサウルスの復元骨格

水産科学館

北海道大学函館キャンパスにある総合博物館の分館。全長15mのニタリケジラの全身骨格標本、北海道大学の歴代の練習船に関する資料など多岐にわたる展示を公開している。

開館時間 10:00 ~ 16:00

休館日 土曜日・日曜日・祝日・12月28日~1月4日



水産科学館

■学術標本収蔵数

標本庫(国際略称)	総標本点数(内未整理点数)
陸上植物(SAPS)	400,000点(150,000)
菌類(SAPA)	170,000
海藻(SAP)	140,000
昆虫(SEHU)	2,000,000
魚類(HUMZ)	230,000
無脊椎動物(ICHUM)	2,425
古生物	20,000
岩石・鉱物	71,350 (50,000)
考古	30,000
計	3,063,775

■タイプ標本数

標本庫(国際略称)	総標本点数
昆虫	10,000点
植物	323
無脊椎動物	700
地質(化石・鉱石)	10
魚類	1,200
海藻類	350
古生物	700
計	13,283

総合博物館

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

総合博物館分館 水産科学館

〒041-8611 函館市港町3-1-1

大学文書館

Hokkaido University Archives

2005年に設置された大学文書館は、北海道大学の歴史に関する各種資料や歴史公文書などを収集・整理・保存・公開している。また、北海道大学史に関する調査・研究を行い、その成果を刊行物・展示・資料見学会・リファレンスサービス等により学内外に広く紹介している。閲覧室では所蔵資料を閲覧することができ、展示ホール・沿革展示室では北海道大学史に関する展示を見ることができる。

開館時間 9:30 ~ 16:30

休館日 土曜日・日曜日・祝日・

12月29日~1月3日



展示ホール



閲覧室

附属図書館

University Library

北方関係資料等のユニークなコレクションを含む、約380万冊の蔵書を有する国内有数の学術図書館である。電子的資料の収集・提供、機関リポジトリ構築に努め、学術コミュニケーションの向上を図っている。また、閲覧席数は約1,600を数え、学習の場としても重要な役割を担っている。



■蔵書数 2020年3月31日現在

部局	区分	和 書	洋 書	合 計	雑 誌
本館		990,967冊	830,455冊	1,821,422冊	33,939種
北図書館		263,279	117,051	380,330	1,526
	小 計	1,254,246	947,506	2,201,752	35,465
(参考)					
創成研究機構		19	3	22	5
高等教育推進機構		3,428	746	4,174	159
国際連携機構		1	0	1	3
文学院・文学研究院・文学部		162,955	115,870	278,825	5,195
法学研究科・法学院		7,827	1,713	9,540	960
情報科学院・情報科学研究院		13,568	17,280	30,848	854
水産科学院・水産科学研究院・水産学部		73,596	54,745	128,341	5,449
環境科学院・地球環境科学研究院		9,871	9,032	18,903	595
理学院・理学研究院・理学院		44,826	173,088	217,914	4,268
薬学研究院・薬学院		7,689	3,624	11,313	293
農学院・農学研究院・農学院		129,597	97,658	227,255	8,783
生命科学院・先端生命科学研究院		337	257	594	26
教育学院・教育学研究院・教育学院		17,577	4,346	21,923	942
国際広報メディア・観光学院・メディアコミュニケーション研究院		3,509	5,604	9,113	340
保健科学院・保健科学研究院		29,528	4,061	33,589	944
工学院・工学研究院・工学院		103,098	101,131	204,229	5,286
経済学院・経済学研究院・経済学部		9,455	3,691	13,146	1,298
医学院・医学研究院・医学部		53,063	94,066	147,129	5,770
歯学院・歯学研究院・歯学院		22,864	16,294	39,158	1,079
獣医学院・獣医学研究院・獣医学部		10,167	25,289	35,456	1,440
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部		1	0	1	2
低温科学研究所		10,311	24,269	34,580	1,773
電子科学研究所		543	491	1,034	24
遺伝子病制御研究所		69	43	112	27
触媒科学研究所		4,773	16,766	21,539	457
スラブ・ユーラシア研究センター		2,527	66,220	68,747	1,819
情報基盤センター		88	1	89	56
北方生物圏フィールド科学センター		6,328	1,816	8,144	79
アイヌ・先住民研究センター		4,125	587	4,712	124
総合博物館		10,312	3,546	13,858	1,243
大学文書館		3,214	67	3,281	253
	小 計	745,266	842,304	1,587,570	49,546
	合 計	1,999,512	1,789,810	3,789,322	85,011

※1 量子集積エレクトロニクス研究センターを含む ※2 病院、アイソトープ総合センターを含む ※3 病院を含む

■利用状況 (2019年度)

	本館	北図書館
入館者総数(人)	411,719	667,368
貸出者数(人)	105,306	110,631
貸出冊数(冊)	158,629	172,094
文献複写(件)		
依頼受付	1,275 3,305	586 63
図書館間相互利用(冊)		
借受	430	73
貸出	1,022	82
閲覧座席数(席)	745	864

■開館時間 (2020年度)

	平 日	土・日・祝日
開架閲覧室	8:00 ~ 22:00	9:00 ~ 19:00
書庫	9:00 ~ 20:00	9:00 ~ 18:30
グループ学習室	8:00 ~ 21:30	9:00 ~ 18:30
(北図書館) メディアルーム	8:00 ~ 21:30	9:00 ~ 19:00

※学生の休業期間中と3月は利用時間が変更になります

■休館日

- ・夏季休業 8月26日～28日 - 北図書館のみ
- ・全学停電 9月12日～13日
- ・年末年始 12月28日～1月3日
- ・大学入学共通テスト 1月16日～17日
- 1月30日～31日

北海道大学病院

Hokkaido University Hospital

2020年4月1日現在

北海道大学病院は、丁寧な診療に加えて、(1)高度医療の提供と先進的な医療の開発、(2)難病治療などの最後の砦としての機能など、地域社会あるいは、国内外からの高い期待に応えること、そして、将来の医療を支える“人”を育成する役割を担っている。



(医科)

診療科	病床数	診療状況(2019年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
内科Ⅰ	48床	23,161名	15,581名
内科Ⅱ	49	51,550	15,193
消化器内科	48	42,636	17,262
循環器内科	35	15,371	12,181
血液内科	40	14,621	15,017
腫瘍内科	21	5,587	7,066
消化器外科Ⅰ	47	10,270	15,645
消化器外科Ⅱ	29	5,039	10,509
循環器・呼吸器外科	32	6,360	9,550
整形外科	59	28,584	20,244
泌尿器科	33	21,679	10,930
麻酔科	2	24,567	0
形成外科	25	8,485	7,646
乳腺外科	6	7,392	1,083
救急科	12	1,943	5,872
神経内科	25	13,934	8,358
眼科	35	40,565	12,644
耳鼻咽喉科	38	17,010	11,672
皮膚科	23	15,887	6,533
精神科神経科	70	44,128	18,163
脳神経外科	39	9,163	12,585
リハビリテーション科	20	55,964	2,258
産科	42	9,172	12,769
婦人科	32	21,592	9,759
小児科	33	18,413	11,622
放射線治療科	18	21,561	5,518
放射線診断科	1	54,615	265
核医学診療科	9	5,770	2,501
集中治療室(ICU)	10	0	(2,302)
高度治療室(HCU)	5	0	(1,515)
新生児集中治療室(NICU)	9	0	(3,117)
新生児治療回復室(GCU)	(11)	0	(1,488)
母体胎児集中治療室(MFICU)	(3)	0	(1,011)
高度無菌室	6	0	(1,297)
合計	901	595,019	278,426

*病床数()内は産科病床数の内数

入院患者数()内は各診療科入院患者数の内数

*集中治療室(ICU)病床数は令和2年6月1日から8床

(歯科)

診療科	病床数	診療状況(2019年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
予防歯科	23床	7,751名	6,264名
歯周・歯内療法科		28,080	
冠橋義歯補綴科		12,850	
高齢者歯科		14,319	
小児・障害者歯科		11,157	
矯正歯科		12,502	
歯冠修復科		12,956	
義歯補綴科		17,100	
口腔内科		20,192	
口腔外科		15,121	
歯科放射線科		4,049	
歯科麻酔科		2,071	
高次口腔医療センター		8,523	
口腔総合治療部		2,727	
合計		169,398	6,264

(医科歯科総計)

診療科	病床数	診療状況(2019年度実績)	
		外来患者数	入院患者数
総計	924	764,417	284,690

*承認病床数は944床



陽子線治療センター治療室



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチSi」



顕微鏡手術の様子

国際連携研究教育局

Global Institution for Collaborative Research and Education (GI-CoRE)

設置目的・概要

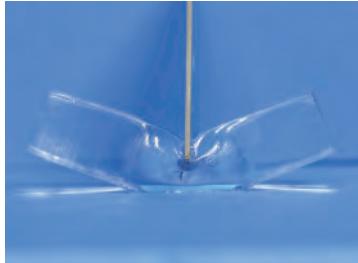
国際連携研究教育局 (GI-CoRE) は、北海道大学の強みや特色を活かした国際連携研究・教育の推進と部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の教育研究組織である。GI-CoRE 内には、研究領域ごとの活動拠点である「グローバルステーション (GS)」を置き、各 GSにおいて、原則 5 年間の設置期間内に重点的に研究教育活動を進めている。また、設置期間を満了した GS は、関連部局等に定着化し、「GI-CoRE 協力拠点」の認定を受け、GI-CoRE と連携しながら研究教育活動を継続している。

グローバルステーション 4 拠点

■ ソフトマターグローバルステーション

Global Station for Soft Matter (GSS)

高齢化、環境汚染、資源不足など社会が直面している課題解決に資するソフトマター分野の躍進的発展のため開設した。パリ市立工業物理化学高等専門大学 (ESPCI)、デューク大学などと協働し、世界を先導するソフトマター基礎科学研究、革新的ソフトマテリアル創製及び医療応用を開拓している。



■ ビッグデータ・サイバーセキュリティグローバルステーション

Global Station for Big Data and Cybersecurity (GSB)

ビッグデータ、IoT (Internet of Things : モノのインターネット)、サイバーセキュリティの異分野融合研究拠点として開設し、マサチューセッツ大学アマースト校とシドニー工科大学との国際連携研究を進めている。



■ 北極域研究グローバルステーション

Global Station for Arctic Research (GSA)

北極域に関するフィールド研究を、自然科学・工学・人文社会学分野が連携して学際的に推進する国際研究ネットワーク拠点として開設した。アラスカ大学、北東連邦大学、オスロ大学、ノード大学など、北極研究に実績のある大学との国際連携研究を進めている。



■ バイオサーフィス創薬グローバルステーション

Global Station for Biosurfaces and Drug Discovery (GSD)

細胞・微生物等の生体膜・バイオ素材表面を対象としたバイオサーフィス研究とドラッグモダリティ研究などを組み合わせ、アカデミック創薬を推進する学際的研究拠点として開設した。オックスフォード大学、ヘルシンキ大学、テキサス工科大学、ミネソタ大学、スイス連邦工科大学 (ETH) 等との国際連携研究を進めている。



GI-CoRE 協力拠点 3 拠点

GI-CoRE 協力拠点名称	活動概要	認定期間
医学研究院 医理工学グローバルセンター	世界で初めて開発した「分子追跡陽子線治療装置」等の実績と、スタンフォード大学からのユニット誘致を活かし、がん治療技術のイノベーションを創出し、世界に還元	2020～2024年度
人獣共通感染症リサーチセンター 国際協働ユニット	メルボルン大学、アイルランド国立大学ダブリン校、アブドラ国王科学技術大学等と協働することで、研究成果の社会還元を重視した世界一の人獣共通感染症研究拠点を形成	2020～2024年度
農学研究院 食水土資源グローバルセンター	世界の食水土資源問題を包括的に扱う最先端の研究拠点を構築し、カリフォルニア大学デービス校 (UC Davis) 等の海外教員との共同研究及び大学院教育を通じて、次代を担う人材育成を実現	2020～2024年度

技術支援本部

Office of Technical Support

技術支援本部は、技術職員のスキルアップやキャリア形成、全学的な技術支援及び持続的な技術の継承等をはかることにより、本学の教育研究支援体制を強化することを目的とした組織である。

2007年3月に「教育研究支援本部」の名称で設置され、2013年4月に「技術支援本部」へ改称、さらに2018年10月に改組され、現在に至る。

技術職員向けのSD研修企画のほか、部局を越えた全学技術支援・技術協力の仕組みを構築し、本学の教育研究力向上に資する活動を行っている。

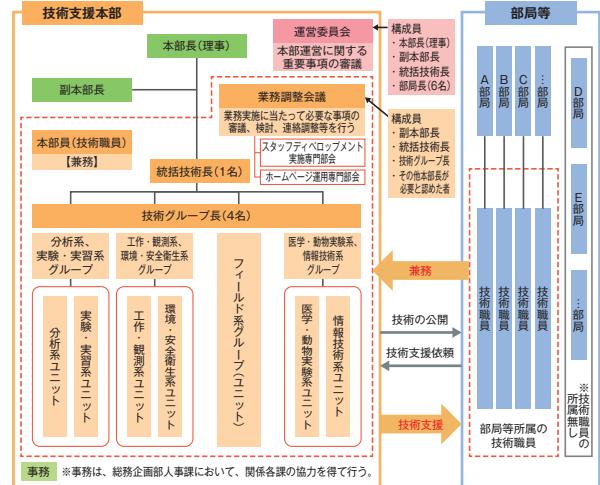


北海道大学技術研究会 2018



技術職員業務風景

技術支援本部の運営体制



情報環境推進本部

ICT Promotion Office

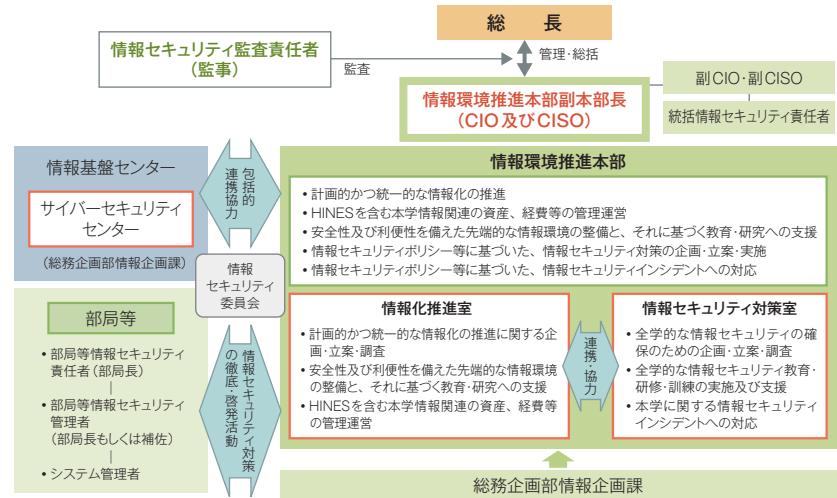
本学の情報基盤の整備、情報資産の円滑な運用及び保全並びに情報セキュリティの確保及び水準の向上並びに管理体制の整備を図る。

●情報化推進室

本学における計画的かつ統一的な情報化の推進、本学情報ネットワークシステムを含む本学情報関連の資産、経費等の管理運営並びに安全性及び利便性を備えた先端的な情報環境の整備に基づく教育及び研究への支援を行う。

●情報セキュリティ対策室

本学の情報セキュリティの確保のための施策を実施し、情報セキュリティインシデント発生時に迅速かつ円滑な対応を図る。



人材育成本部

Front Office for Human Resource Education and Development (FOHRED)

博士後期課程学生や博士研究員のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とコンソーシアムを組むことによるそれら施策の共有化、若手研究者の採用・育成のための北大テニュアトラック制度の普及定着、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備の推進に取り組んでいる。

●上級人材育成ステーション（S-cubic）

S-cubicは、博士人材の育成のため、大学院生・教員と企業のための情報交換Webシステム（Hi-System）の構築と運営、博士と企業の情報交換会（赤い糸会）の実施及び企業事業所への視察、博士インターンシップの支援・キャリアパス教育の実施、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー（知的財産権・交渉学・ファシリテーション等）、Advanced COSA/COLA、ビジネスマナーなどを実施している。

●国際人材育成プログラム（I-HoP）

I-HoPは、外国人博士人材を対象に、キャリア形成支援・能力向上プログラム・社会との連携のためのイベント等を企画実施する他、キャリア志向調査を実施している。

●研究人材育成推進室（L-Station）

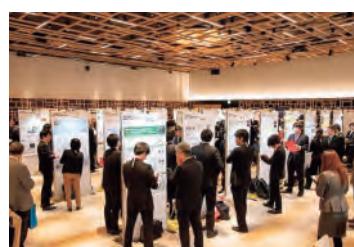
L-Stationは、北海道大学テニュアトラック制度の定着・推進により国内外から優秀な若手研究者を探し育成プログラムを提供するとともに、彼らの異分野交流の促進や研究支援に取り組んでいる。また、中間評価、テニュア審査などのテニュアトラックシステムの運営を担う。

●ダイバーシティ研究環境推進室（Ree-D）

Ree-Dでは、育児中等の研究者の両立支援等の研究環境整備、女性研究者の研究力向上やリーダー育成等の人材育成、女子学生の博士進学促進や女子中高生の理系進路選択支援等の次世代育成の取組などを実施している。

●連携型博士研究人材育成推進室（COFRe）

東北大、名古屋大学と連携して若手研究者、博士後期課程学生や博士研究員の育成支援に取り組んでいます。COFReは、S-cubicやL-Stationで蓄積した人材育成のノウハウを活用して三大学の連携活動を推進している。



赤い糸会 & 緑の会での意見交換



招聘外国人女性研究者を講師としたネットワーキングセミナー

創成研究機構

Creative Research Institution (CRIS)

本学の研究戦略に基づく重点的な研究事業の推進及び支援を行うとともに、先端的な科学技術の振興に寄与する人材を育成することにより、新たな学問領域の創成及び先端的な科学技術の振興を図る。

部門等	担当
研究部	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマの創出、若手人材の育成、基礎レベルにある産学連携研究テーマの支援を行う。
生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター	産学官連携によるプロジェクト型共同研究を推進し、創薬・機能性食品の開発拠点を目指す北キャンパス総合研究棟6号館(生物機能分子研究開発プラットフォーム)の管理・運営を行う。
ナノテクノロジー連携研究推進室	本学のナノテクノロジー分野における各研究領域の連携を支援するとともに、他の研究機関等との連携を推進し、並びにナノテクノロジー関連の研究設備の管理及び利用支援を行う。
グローバルファシリティセンター	本学の職員、学生その他の関係者が共同して利用する研究機器を整備、管理及び運用し、試験の分析に関する業務を行うとともに、本学が保有する高度な研究機器の本学の職員、学生その他の関係者以外の国内外の研究者等への供用を促進する。



受託分析サービスの様子 (グローバルファシリティセンター)

■ 化学反応創成研究拠点

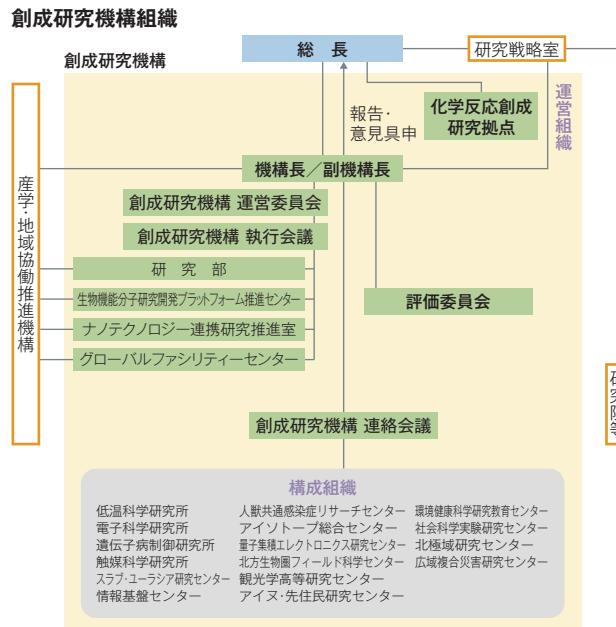
Institute for Chemical Reaction Design and Discovery (ICReDD/アイクリッド)
拠点長：前田理

化学反応創成研究拠点 (ICReDD) は、文部科学省国際研究拠点形成促進事業費補助金「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択され、2018年10月に本学に設置された。WPIの目的は、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準の研究を行う「目に見える研究拠点」の形成であり、ICReDDは現在国内にある13の研究拠点の1つである。

ICReDDでは、拠点長の下、計算科学、情報科学、実験科学の三つの学問分野を融合させることにより、人類が未来を生き抜く上で必要不可欠な「化学反応」を合理的に設計し制御を行う。さらに化学反応の合理的かつ効率的な開発を可能とする「化学反応創成学」という新たな学問分野を確立し、新しい化学反応や材料の創出を目指す。また、国際的な共同研究の環境整備と世界スケールの高度人材育成の戦略的仕組み「MANABIYA（学び舎）システム」により、国内外の研究者がICReDDにおける新しい化学反応を開発する手法を習得し、将来に渡って使い広めてもらう、頭脳循環型社会を確立する。



第2回国際シンポジウム(2019年11月開催)

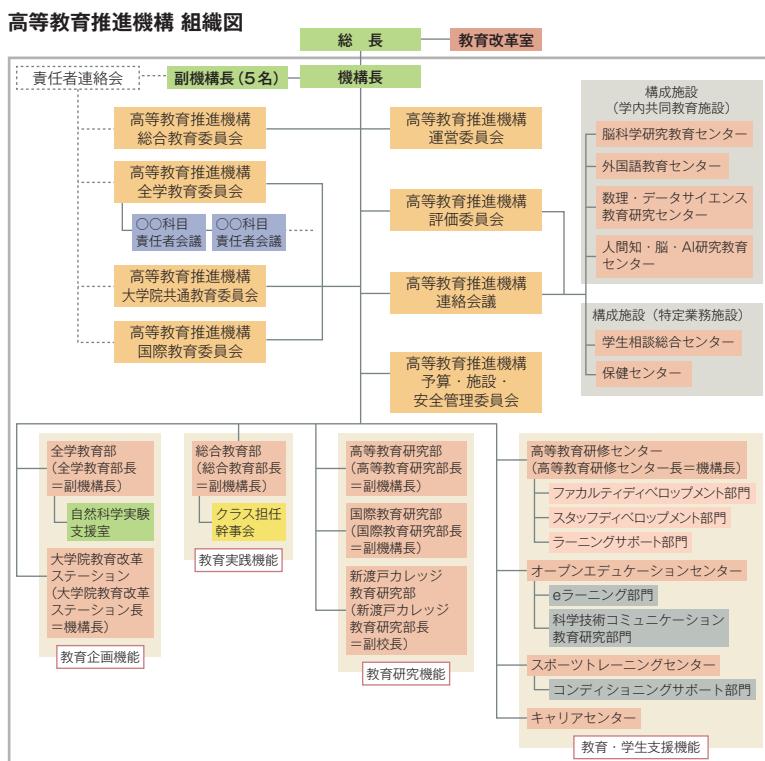


高等教育推進機構

Institute for the Advancement of Higher Education

本学の目指す高等教育の実現に向け、教育研究組織間の連携を強化し、本学の教育機能の向上及び高等教育に関する研究の推進を図る。

部・センター等	担当
全学教育部	本学の全学教育の実施に係る企画、立案及び調整を担当する。自然科学実験支援室を置く。
大学院教育部	大学院共通教育の実施に関し必要な事項に係る企画、立案及び調整並びにリーディングプログラムの推進に関することを担当する。
総合教育部	本学の第1年次の学生の履修指導及び修学指導、学籍の管理、進級に関することを担当する。
高等教育研究部	本学の高等教育並びに生涯学習に関する実践的な調査・研究等を担当する。
国際教育研究部	外国人留学生及び国内学生に対する国際教育事業及び本学の国際化を推進する教育に関する研究開発等を行う。
新渡戸カレッジ教育研究部	新渡戸カレッジにおける教育プログラムの実施及び同プログラムに関する調査研究等を担当する。
高等教育研修センター	学内において実施する教職員研修を統括とともに、北海道地域の研修拠点としての役割を果たす。 ファカルティディベロップメント部門、スタッフディベロップメント部門、ラーニングサポート部門の3部門を置く。
オープンエデュケーションセンター	オープン教育資源の研究開発とこれを活用した教育・学習支援、並びに科学技術コミュニケーションに関する教育・研究を行ふ。 eラーニング部門、科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP部門)の2部門を置く。
スポーツトレーニングセンター	スポーツトレーニングの全学的な体育指導を行う。 コンディショニングサポート部門を置く。
キャリアセンター	学生の実践的かつ体系的なキャリア形成のための指導を行うとともに、職業や職務に対する自覚及び責任感並びに基礎的な能力の養成を行うものとする。



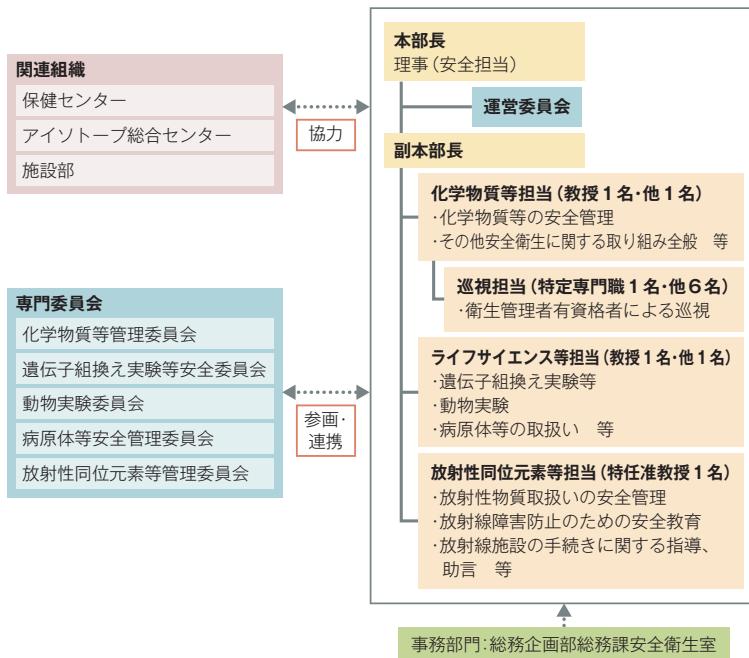
安全衛生本部

Office of Health and Safety

本学は広大な敷地内に多様な専門分野が混在する教育研究現場等を有している。その安全衛生管理状況を一元的に把握し、企画・立案・監督等を行う組織として、2011年3月に設置された。「衛生管理者による定期巡視」、「ライフサイエンス系施設の実地調査」、「各種安全教育・講習・教材の作成」を含む安全衛生に関する様々な取り組みを各部局、関連組織等と協力・連携しながら行っている。



本部衛生管理者による定期巡視



大学力強化推進本部

Office for Enhancing Institutional Capacity

本学が将来において備えるべき研究力の強化及び教育研究活動の国際的な展開を図る上で必要な事業「次世代大学力の強化に係る事業」を推進することを目的とする。

部門等	担当
研究推進ハブ	次世代大学力の強化に係る事業において、主として研究の推進に関する業務を行う。URAステーションは、全学的、部局横断的な研究戦略企画と研究推進支援、研究力強化とグローバル化を中心とした大学力強化のためのシステム改革に関する業務を行う。
Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ統括室(HUCI統括室)	大学改革と国際化を推進するスーパーグローバル大学創成支援事業の採択構想「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」(HUCI構想)の企画・調整・進捗管理等を行う。
卓越人材育成推進室	総長のマネジメントにより、卓越大学院プログラムを核とした大学改革を推進し、当該プログラムの自走を実現するための企画・調整を行う。

大学力強化推進本部組織



产学・地域協働推進機構

Institute for the Promotion of Business-Regional Collaboration

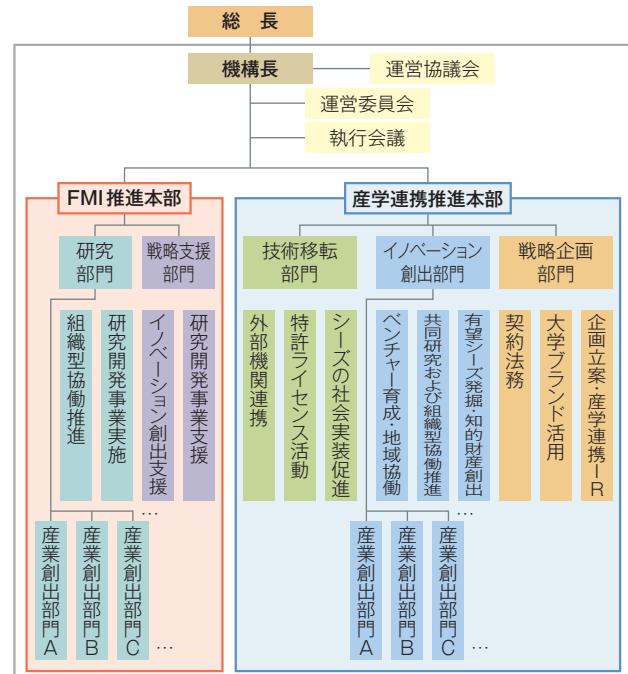
大学が持つ知的財産を企業等における事業化や自治体等の政策提言などに組織的に展開し、その成果をより早く国民に還元するため、共同研究や知的財産に関するコーディネーターが所属する運営組織と、企業と大学研究者が協働する場を一体化させた推進組織とし、社会実装を目指した次世代型の产学地域協働を推進する。

产学連携推進本部

Center for Innovation and Business Promotion

部門等	担当
戦略企画部門	产学官連携機能強化に向けた企画立案・推進 ・产学官連携に係る施策の企画立案、運用ガイドラインの策定、企画実行の推進 ・产学連携IRの戦略的活用、北大ブランドの効果的な社会活用の推進
イノベーション創出部門	北大発イノベーションを創出する組織型産学官協働の推進 ・有望シーズ発掘・知財創出から大型共同研究に繋げる戦略的組織連携推進 ・アントレプレナー教育や大学発ベンチャー育成による起業支援
技術移転部門	特許ライセンスや企業との共同研究による研究シーズの社会実装の促進 ・本学の有する知的財産等の産業界へのマーケティング、契約交渉 ・企業ニーズに適合する本学研究シーズの発掘、知財化

産学・地域協働推進機構



フード&メディカルイノベーション(FMI) 推進本部

Center for Food and Medical Innovation

部門等	担当
研究部門	FMI国際拠点における研究開発事業の実施に係る業務 ・組織型産学協働に基づく研究組織体を構築(産業創出部門)
戦略支援部門	FMI国際拠点における研究開発事業の支援 ・食・運動・健康・医療の連携によるイノベーション創出に向けた研究開発事業の推進及び支援

総合IR室

Office of Institutional Research

“IR”とは、“Institutional Research”的略称である。総合IR室は、教育、研究その他の大学の諸活動に関する情報を収集・分析し、当該分析結果に基づく提案を行うことにより、本学の経営戦略策定を支援することを目的として活動しており、「経営戦略部門」と「教学部門」の2部門を置いている。

「経営戦略部門」では、主に研究、管理運営その他の大学の諸活動に関する情報を対象とした業務を行っており、一例として、「北海道大学ファクトブック」を作成し公開している。

「教学部門」では、主に大学の教育に関する情報を対象とした業務を行っており、一例として、学生のアンケート調査や卒業生アンケート調査を実施し、その分析結果を各学部等に提供することで、本学の教育改善を行うための必要なフィードバックを行っている。

さらに、両部門が密接に連携することによるシナジー効果により、本学の経営戦略策定に資するデータ分析を着実に進めている。一例として、学生の成績データの分析・可視化、異分野連携研究ポテンシャルの分析・可視化、全学的なIRデータ可視化・共有基盤である「北海道大学Business Intelligence（北大BI）」の管理・運営、学内予算再配分のための総合的な指標値の算出等を行っている。



令和元年度北海道大学ファクトブックパンフレット



1年生アンケート調査の周知ポスター

国際連携機構

Institute for International Collaboration

本学が「近未来戦略150」において掲げている教育研究の一層のグローバル化、異文化理解コミュニケーション能力を持って国際社会の発展に貢献する人材育成を推進する組織として、本学の国際戦略に係る企画・立案を行っている。

運営体制

- ・海外オフィス連携室
- ・国際オフィサー室

主な取組

- ・国際交流及び国際戦略に係る企画、立案、実施
- ・海外大学等との国際的な連携と交流の推進
- ・海外オフィスの設置及び運営並びに海外オフィスの活動支援



ベトナム・ハノイでの北海道大学交流会（2019年12月）

サステイナブルキャンパスマネジメント本部

Sustainable Campus Management Office

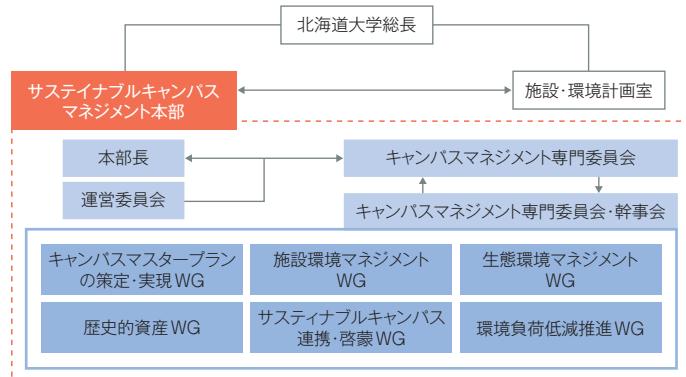
サステイナブルキャンパスは、単なる「環境負荷の低いキャンパス」を指すものではなく、「大学全体の方針として、社会的課題に根差した教育・研究を展開する」、「周辺地域と調和したキャンパス整備を実施する」ことにより、社会のウェルビーイングを実際的・多面的に支えることを指している。

2000年代になってから、サステイナブルキャンパスという概念が普及し、2008年に札幌で行われたG8大学サミットで採択された「札幌サステイナビリティ宣言」は、サステイナブルキャンパスの概念が主要な大学戦略として広くうたわれたものであった。

本学は、2010年にサステイナブルキャンパス推進本部を設立し、今まで、日本の高等教育機関の中でサステイナブルキャンパスの取り組みを牽引してきており、2018年度からは、新たな体制として「サステイナブルキャンスマネジメント本部」に改組した。

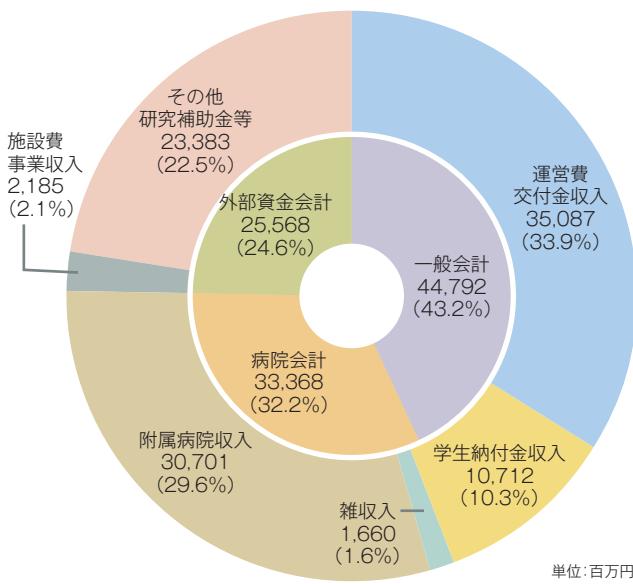
新体制では、キャンパス計画、施設環境マネジメント、サステイナブルキャンパスの評価、学外連携等について、より柔軟かつ機動的に活動している。

<https://www.osc.hokudai.ac.jp/>

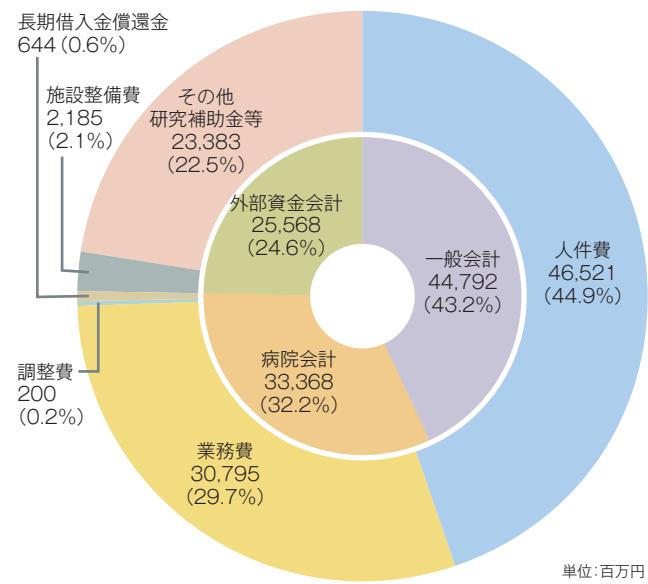


2020年度 収入・支出予算

■収入予算全体 103,729百万円



■支出予算全体 103,729百万円



※内円の会計区分と外円の事項は一致しない。
※項目毎に四捨五入を行っているため、合計は一致しない。

外部資金受入／科学研究費助成事業

■外部資金受入 (2019年度)

区分	件数 (件)	受入金額 (千円)
共同研究	777	1,940,891
受託研究	603	6,793,542
補助金等	2,848	8,792,023
科学研究費助成事業	2,646	6,274,979
大学改革補助金	102	2,354,281
厚生労働科学研究費補助金	53	113,040
その他助成金等	47	49,723
その他受託事業等収入	—	1,775,665
寄附金収入	5,279	2,504,739
合計		21,806,860

(注) 共同研究、受託研究には競争的資金を含む
(注) 厚生労働科学研究費補助金は研究分担者に配分した金額を除き、研究分担者として受け入れた件数・金額を含む
(注) その他受託事業等収入の内訳
医薬品等の臨床研究、病的材料検査料金等を含む

■科学研究費助成事業 (2019年度)

研究種目	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
特別推進研究	4	143,800	47,550	191,350
新学術領域研究	162	690,251	212,828	903,078
基盤研究(S)	42	298,379	98,666	397,045
基盤研究(A)	202	625,951	192,066	818,017
基盤研究(B)	653	1,295,238	405,756	1,700,994
基盤研究(C)	734	622,870	186,928	809,798
挑戦的萌芽研究	2	56	0	56
挑戦的研究(開拓)	26	57,359	20,720	78,080
挑戦的研究(萌芽)	158	251,731	75,617	327,349
若手研究	254	317,639	94,562	412,201
若手研究(A)	21	83,404	22,946	106,350
若手研究(B)	62	41,824	12,952	54,776
研究活動スタート支援	48	50,005	14,334	64,338
奨励研究	7	3,865	0	3,865
特別研究促進費	4	1,850	555	2,405
研究成果公開促進費	10	4,752	0	4,752
特別研究員奨励費	204	187,254	6,614	193,867
国際共同研究加速基金	53	158,934	47,723	206,657
	2,646	4,835,163	1,439,816	6,274,979

(注) 科学研究費助成事業について、学外の研究分担者に配分した金額を除き、研究分担者として学外から受け入れた件数・金額を含む
また、2018年度から継続が承認された科学研究費補助金の金額を含む
項目ごとに四捨五入を行っているため、合計は一致しない

学生数

2020年5月1日現在

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							研究生	聴講生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人]	一人	187人	188人	241人	一人	一人	616人 (267(43.3%))	36人	6人	7人	27人	692人 (313(45.2%))
教育学部	50 [10]	—	48	67	75	—	—	190 (71(37.4))	8	1	3	2	204 (78(38.2))
法学部	200 [10] (10)	—	225	222	247	—	—	694 (198(28.5))			2	7	703 (203(28.9))
経済学部	190	—	203	199	225	—	—	627 (136(21.7))	8				635 (142(22.4))
理学部	300	—	320	321	372	—	—	1,013 (214(21.1))			1	6	1,020 (216(21.2))
医学部	287 [5]	—	306	297	312	104	116	1,135 (491(43.2))	2			1	1,138 (492(43.2))
歯学部	53	—	55	54	51	50	52	262 (108(41.2))	1				263 (108(41.1))
薬学部	80	—	79	82	79	29	31	300 (132(44.0))			5		305 (132(43.3))
工学部	670 [10]	—	693	722	819	—	—	2,234 (285(12.8))				11	2,245 (288(12.8))
農学部	215	—	218	222	241	—	—	681 (266(39.1))	2	4		6	693 (269(38.8))
獣医学部	40	—	42	42	44	39	43	210 (112(53.3))				1	211 (113(53.6))
水産学部	215	—	225	221	217	—	—	663 (167(25.2))	1			1	665 (167(25.1))
現代日本学プログラム課程	—	—	18	12	13	—	—	43 (26(60.5))					43 (26(60.5))
総合教育部	—	2,645	—	—	—	—	—	2,645 (755(28.5))					2,645 (755(28.5))
合計	2,485 [15] (30)	2,645	2,619	2,649	2,936	222	242	11,313 (3,228(28.5))	58	11	18	62	11,462 (3,302(28.8))

*学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

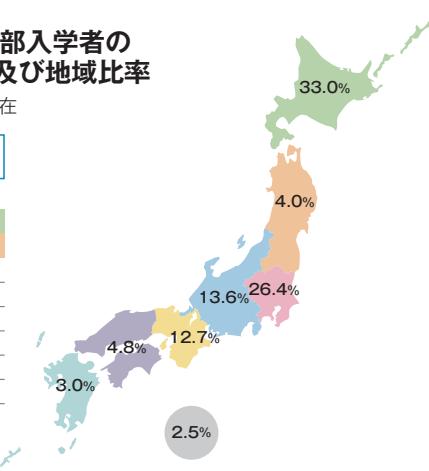
研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化研修生	日本語研修生	合計
高等教育推進機構	4人	人	46人	1人	51人 (31 (60.8%))
国際連携機構			—	—	0 (0 (0.0))
量子集積エレクトロニクス研究センター	1		—	—	1 (1 (100.0))
低温科学研究所	1		—	—	1 (1 (100.0))
電子科学研究所	1	1	—	—	2 (1 (50.0))
遺伝子病制御研究所	1		—	—	1 (1 (100.0))
触媒科学研究所	1	1	—	—	2 (1 (50.0))
スラブ・ユーラシア研究センター	1		—	—	1 (1 (100.0))
情報基盤センター	3		—	—	3 (1 (33.3))
北方生物圏フィールド科学センター	2		—	—	2 (1 (50.0))
観光学高等研究センター	1		—	—	1 (1 (100.0))
総合博物館			—	—	0 (0 (0.0))
合計	16	2	46	1	65 (40 (61.5))

2020年度学部入学者の都道府県分布及び地域比率

2020年5月1日現在

入学者数合計 2,553人
(うち女子 739人)

北海道	842 (285)
東北	103 (31)
青森	13 (3)
岩手	17 (6)
宮城	40 (12)
秋田	17 (5)
山形	7 (1)
福島	9 (4)



関 東	673 (161)
茨 城	41 (16)
栃 木	29 (5)
群 馬	20 (5)
埼 玉	96 (16)
千 葉	76 (15)
東 京	270 (71)
神奈川	141 (33)
北陸・中部	347 (96)
新潟	38 (11)
富 山	34 (7)
石 川	40 (12)
福 井	13 (2)
山 梨	14 (3)
長 野	24 (8)
岐 阜	13 (4)
静 岡	60 (18)
愛 知	111 (31)
近 畿	325 (90)
三 重	22 (4)
滋 賀	13 (4)
京 都	41 (10)
大 阪	110 (27)
兵 庫	76 (21)
奈 良	42 (13)
和 歌 山	21 (11)
中 国・四 国	123 (28)
新 潟	38 (11)
鳥 取	8 (1)
島 根	8 (3)
岡 山	19 (3)
広 島	41 (8)
山 口	12 (4)
徳 島	6 (1)
香 川	11 (4)
愛 媛	14 (3)
高 知	4 (1)
九 州・沖 楩	76 (21)
福 岡	24 (6)
佐 賀	3 (2)
長 崎	8 (5)
熊 本	4 (0)
大 分	8 (1)
宮 崎	6 (1)
鹿 児 島	3 (0)
沖 繩	20 (6)
そ の 他	64 (27)

(注) () 内は女子の内数(赤字で表記)

*地域別入学者数割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数
 生命科学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数
 医学院の修士課程1年次の上段は公衆衛生学1年コースの学生数

■大学院

研究科名	修士課程(博士前期)				専門職学位課程				博士課程(博士後期及び博士一貫)						研究生	聴講生	科目等履修生	特別研究学生	特別聴講学生	合計						
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数																
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		1年次	2年次	3年次	4年次	小計												
文学院	90人	95人	102人	197人 (104 (52.8%))	—	—	—	—	35人	45人	29人	—	—	74人 (33 (44.6%))	人	3人	1人	1人	—	276人 (140 (50.7%))						
文学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	6 (4 (66.7))						
文学研究科	—	1	19	20 (8 (40.0))	—	—	—	—	—	1	4	99	—	104 (52 (50.0))	—	—	—	—	—	124 (60 (48.4))						
法学研究科	20	22	28	50 (26 (52.0))	50	23 15	11 11	9 (17 (24.6))	15	7	5	15	—	27 (8 (29.6))	12	—	1	3	—	162 (60 (37.0))						
情報科学院	179	199	201	400 (41 (10.3))	—	—	—	—	—	43	39	32	—	—	71 (10 (14.1))	—	—	—	—	4 (52 (10.9))						
情報科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8 (4 (50.0))						
情報科学研究科	—	25	25 (1 (4.0))	—	—	—	—	—	—	—	10	65	—	75 (11 (14.7))	—	—	—	—	—	100 (12 (12.0))						
薬学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1 (1 (100.0))						
水産科学院	114	104	111	215 (47 (21.9))	—	—	—	—	—	19	17	13	27	—	57 (16 (28.1))	—	—	3	—	275 (64 (23.3))						
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3 (0 (0.0))						
環境科学院	159	175	170	345 (112 (32.5))	—	—	—	—	—	63	42	36	76	—	154 (62 (40.3))	—	1	2	—	502 (175 (34.9))						
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	16 (6 (37.5))						
理学院	127	124	164	288 (65 (22.6))	—	—	—	—	—	55	40	44	73	—	157 (29 (18.5))	—	1	2	1	—	449 (95 (21.2))					
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	4 (1 (25.0))						
農学院	142	174	185	359 (130 (36.2))	—	—	—	—	—	36	53	44	61	—	158 (45 (28.5))	—	4	—	—	—	521 (178 (34.2))					
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	—	10 (4 (40.0))						
生命科学院	132	132	142	274 (109 (39.8))	—	—	—	—	—	44	45	31	57	—	151 (41 (27.2))	—	—	—	—	—	425 (150 (35.3))					
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	3	2	4	9	—	—	1	—	—	1 (1 (100.0))						
教育学院	45	36	65	101 (57 (56.4))	—	—	—	—	—	21	22	21	63	—	106 (51 (48.1))	—	1	1	—	—	209 (109 (52.2))					
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3 (2 (66.7))						
国際広報メディア・観光学院	47	50	60	110 (77 (70.0))	—	—	—	—	—	12	15	13	48	—	76 (38 (50.0))	—	5	1	2	—	194 (119 (61.3))					
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—	14 (12 (85.7))						
保健科学院	40	55	61	116 (67 (57.8))	—	—	—	—	—	10	18	11	22	—	51 (21 (41.2))	—	—	—	—	—	167 (88 (52.7))					
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	13 (9 (69.2))						
工学院	326	385	400	785 (124 (15.8))	—	—	—	—	—	69	81	61	94	—	236 (43 (18.2))	—	3	2	—	—	1,026 (168 (16.4))					
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	—	—	18 (7 (38.9))						
総合化学院	129	152	159	311 (75 (24.1))	—	—	—	—	—	38	61	40	53	—	154 (44 (28.6))	—	—	—	—	—	465 (119 (25.6))					
経済学院	35	40	46	86 (53 (61.6))	20	21	19	—	40 (15 (37.5))	8	7	8	10	—	25 (11 (44.0))	—	1	1	—	—	153 (81 (52.9))					
経済学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
医学研究院	20	2	21	42 (23 (54.8))	19	—	—	—	—	90	93	111	97	64	365 (91 (24.9))	—	3	—	—	—	410 (114 (27.8))					
医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5 (3 (60.0))						
歯学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	45	40	42	17	144 (58 (40.3))	—	—	—	—	—	144 (58 (40.3))					
歯学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	6 (2 (33.3))						
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9 (6 (66.7))					
獣医学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	7	14	15	10	46 (14 (30.4))	—	—	—	—	—	46 (14 (30.4))					
獣医学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3 (1 (33.3))						
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13 (8 (61.5))					
医理工学院	12	14	16	30 (5 (16.7))	—	—	—	—	—	5	4	8	8	—	20 (1 (5.0))	—	—	—	—	—	50 (6 (12.0))					
国際感染症学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	13	10	18	11	85 (22 (42.3))	—	7	—	—	—	59 (27 (45.8))					
国際食資源学院	15	16	20	36 (19 (52.8))	—	—	—	—	—	6	1	6	—	—	7 (5 (71.4))	—	1	—	—	—	44 (24 (54.5))					
公共政策学教育部	—	—	—	—	—	30	35	35	70 (18 (25.7))	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	73 (18 (24.7))						
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	4 (2 (50.0))						
合計	1,632	1,795	1,995	3,790 (1143 (30.2))	100	94	76	9	179 (50 (27.9))	643	659	595	961	210	2,425 (742 (30.6))	127	10	6	28	14	6,579 (2026 (30.8))					

入学状況

2020年度

沿革

学部

学部名		入学定員		志願者数	合格者数	入学者数	外国人留学生入学者数	
総合入試文系	一般	95人		386人	105人	99人 (30)		
	国際	5		17	5	1 (1)		
総合入試理系	数学重点選抜群	一般	129	404	133	131 (16)		
	物理重点選抜群	一般	233	659	239	234 (17)		
	化学重点選抜群	一般	233	644	243	239 (48)		
	生物重点選抜群	一般	175	450	179	178 (66)		
	総合科学選抜群	一般	247	531	253	249 (77)		
	計	一般	1,017	2,688	1,047	1,031 (224)		
		国際	10	17	10	5 (2)		
文学部		一般	155	668 [2]	184	160 (74)	2 (1)	
教育学部		一般	30	145 [2]	33	30 (15)		
法学部		一般	180	717 [5]	208 [1]	186 (53) [1 (1)]	1 (0)	
経済学部		一般	160	632 [9]	176	163 (36)		
理学部	数学科	一般	13	99 [1]	16 [1]	12 (3) [1 (1)]		
	物理学科	一般	10	107 [3]	6 [2]	6 (0) [1 (0)]	3 (0)	
	化学科	一般	23	123 [1]	28	23 (2)		
	生物学専修分野	一般	10	61 [2]	10	9 (1)	2 (2)	
		高分子機能学専修分野	一般	5	53	5 (3)		
	計		一般	15	114 [2]	16 [0]	14 (4) [0 (0)]	
	地球惑星科学科		一般	5	66	6	5 (1)	
			AO	5	22	5	5 (0)	
	計		一般	66	509 [7]	72 [3]	60 (10) [2 (1)]	
			AO	5	22	5	5 (0)	
医学部	医学科		一般	97	366 [5]	102	102 (25)	
			AO	5	5			
	保健学科	看護学専攻	一般	60	144 [1]	62	60 (55)	
			AO	7	22	7	7 (7)	
		放射線技術科学専攻	一般	35	193	39	36 (12)	
		検査技術科学専攻	一般	35	187	41	37 (24)	
		理学療法学専攻	一般	17	67 [1]	21	19 (10)	
		作業療法学専攻	一般	13	34	14	13 (9)	
			AO	4	7	4	4 (4)	
	計		一般	160	625 [2]	177 [0]	165 (110) [0 (0)]	
			AO	11	29	11	11 (11)	
	計		一般	257	991 [7]	279 [0]	267 (135) [0 (0)]	
			AO	16	34	11	11 (11)	
歯学部		一般	38	244 [1]	41	40 (17)		
		AO	5	8	3	3 (3)		
薬学部		一般	24	254 [2]	34	26 (12)		
工学部	応用理工系学科		一般	34	277 [3]	47	36 (5)	
			AO	4	4	1	1 (0)	
	情報エレクトロニクス学科		一般	38	301 [5]	53 [2]	36 (2)	
	機械知能工学科		一般	30	234 [7]	39 [3]	27 (2) [1 (0)]	
	環境社会工学科		一般	49	384 [5]	76	52 (5)	
			AO	4				
	計		一般	151	1,196 [20]	215 [5]	151 (14) [1 (0)]	
			AO	8	4	1	1 (0)	
農学部		一般	53	487 [2]	64	54 (12)		
獣医学部		一般	35	199 [4]	38	38 (19)	1 (1)	
水産学部		一般	155	636	181	161 (46)		
		AO	20	35	14	14 (4)		
現代日本学プログラム課程		—					20 (14)	
合 計		一般	2,416	9,752 [61]	2,677 [9]	2,466 (697) [4 (2)]		
		AO・国際	69	137	49	40 (21)	43 (19)	
		計	2,485	9,889 [61]	2,726 [9]	2,506 (718) [4 (2)]		
インテグレイティッド・サイエンス・プログラム (ISP) (2019.10入学)		—					7 (4)	

沿革

組織・財政

学生

国際交流

寄附講座・公開講座等の
実施状況

全學的な教育研究体制

キャンパス

■ 大学院(修士)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	20人	5人 (1)	30人 (18) (27)		35人 (19) (27)	2人 (1)	13人 (9) (11)		15人 (10) (11)
水産科学院	114	111 (28)	3 (1)		114 (28) (1)	101 (24)	2 (1)		103 (24) (1)
環境科学院	159	88 (25) (1)	109 (32) (40)	7 (1)	204 (58) (41)	72 (20) (1)	85 (28) (32)	2	159 (48) (33)
理学院	127	114 (24)	62 (15) (18)		176 (39) (18)	90 (22)	30 (10) (8)		120 (32) (8)
農学院	142	159 (53)	46 (17) (12)		205 (70) (12)	123 (37)	31 (13) (8)		154 (50) (8)
生命科学院	132	105 (39)	33 (16) (20)		138 (55) (20)	95 (35)	19 (8) (12)		114 (43) (12)
教育学院	45	17 (7)	63 (40) (31)	1 (1)	81 (48) (31)	11 (3)	25 (17) (13)		36 (20) (13)
国際広報メディア・観光学院	47	2 (1)	112 (81) (94)		114 (82) (94)	2 (1)	48 (35) (38)		50 (36) (38)
保健科学院	40	61 (38)	7 (3)	11 (6) (11)	79 (47) (11)	44 (26)	2 (1)	9 (4) (9)	55 (31) (9)
工学院	326	369 (54) (6)	82 (15) (54)	12 (2)	463 (71) (60)	310 (43) (5)	37 (7) (24)	6 (1)	353 (51) (29)
総合化学院	129	130 (30) (3)	36 (6) (21)	6 (2)	172 (38) (24)	118 (24) (1)	26 (5) (17)	3 (1)	147 (30) (18)
経済学院	35	7 (2) (1)	183 (106) (181)		190 (108) (182)	5 (1)	30 (20) (29)		35 (21) (29)
医学院	20	6 (5)	16 (9) (3)	1 (1)	23 (15) (3)	5 (4)	13 (7) (2)	1 (1)	19 (12) (2)
医理工学院	12	12 (2)	5 (1) (2)	2	19 (3) (2)	10 (1)	3 (1) (1)	1	14 (2) (1)
国際食資源学院	15	16 (9)	13 (12) (10)		29 (21) (10)	11 (5)	5 (4) (3)		16 (9) (3)
文学院	90	39 (14) (1)	152 (101) (110)		191 (115) (111)	25 (10) (1)	68 (46) (46)		93 (56) (47)
情報科学院	179	183 (14) (2)	47 (9) (20)	5	235 (23) (22)	164 (13) (1)	27 (5) (12)	5	196 (18) (13)
合計	1,632	1,424 (346) (14)	999 (481) (644)	45 (13) (11)	2,468 (840) (669)	1,188 (270) (9)	464 (216) (257)	27 (7) (9)	1,679 (493) (275)

■ 大学院(専門職学位)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	50人	22人 (5)	61人 (13) (7)	2人	85人 (18) (7)	16人 (4)	14人 (2)		30人 (6) (0)
経済学院	20	9 (4)	37 (6) (10)	1	47 (10) (10)	7 (3)	13 (2)	1	21 (5) (0)
公共政策学教育部	30	12 (1)	59 (19) (36)	1 (1)	72 (21) (36)	9 (1)	25 (8) (13)	1 (1)	35 (10) (13)
合計	100	43 (10) (0)	157 (38) (53)	4 (0)	204 (49) (53)	32 (8)	52 (12) (13)	2 (0)	86 (21) (13)

■ 大学院(博士)

研究科等名	入学定員	志願者数				入学者数			
		本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計
法学研究科	15人	3人 (1)	1人 (1) (1)		4人 (1) (2)	2人			2人 (0) (0)
水産科学院	19	11 (5) (2)			11 (5) (2)	10 (4) (2)			10 (4) (2)
環境科学院	63	20 (6) (4)	8 (3) (5)		28 (9) (9)	18 (6) (4)	5 (1) (4)		23 (7) (8)
理学院	55	35 (5) (5)	3 (1) (2)		38 (6) (7)	33 (5) (5)	2 (1) (1)		35 (6) (6)
農学院	36	22 (4) (5)	10 (3) (5)		32 (7) (10)	21 (4) (5)	10 (3) (5)		31 (7) (10)
生命科学院	50	23 (7)	9 (3) (4)		32 (10) (4)	22 (7) (1)	8 (2) (3)		30 (9) (4)
教育学院	21	10 (4) (2)	13 (5) (3)		23 (9) (6)	10 (4) (2)	10 (4) (1)		20 (8) (3)
国際広報メディア・観光学院	12	14 (10) (6)	7 (4) (2)		21 (14) (8)	9 (6) (3)	3 (2) (2)		12 (8) (3)
保健科学院	10	14 (6)	1	2人 (2)	17 (8) (0)	12 (5)	1	2 (2)	15 (7) (0)
工学院	69	32 (2) (6)	11 (2) (4)		43 (4) (10)	29 (1) (5)	10 (2) (4)		39 (3) (9)
総合化学院	38	36 (5) (9)	18 (9) (14)		54 (14) (23)	33 (5) (8)	13 (7) (10)		46 (12) (18)
経済学院	8	4 (1) (4)	4 (3) (4)		8 (4) (8)	4 (1) (4)	3 (2) (3)		7 (3) (7)
医学院	90	37 (11) (1)	45 (14) (4)		82 (25) (5)	33 (10) (1)	44 (13) (4)		77 (23) (5)
歯学院	40	13 (10)	38 (19) (13)		51 (29) (13)	13 (10)	30 (15) (11)		43 (25) (11)
獣医学院	16	4	2 (2)		6 (0) (2)	4	2 (2)		6 (0) (2)
医理工学院	5	2	1 (1)		3 (0) (1)	2	1 (1)		3 (0) (1)
国際感染症学院	12	3	7 (5) (6)		10 (5) (6)	3	6 (5) (6)		9 (5) (6)
国際食資源学院	6	1 (1) (1)	1 (1) (1)		2 (2) (2)	1 (1) (1)			1 (1) (1)
文学院	35	34 (17) (13)	21 (11) (11)		55 (28) (24)	30 (16) (11)	15 (8) (7)		45 (24) (18)
情報科学院	43	26 (3) (9)	7 (1) (5)		33 (4) (14)	25 (3) (8)	6 (1) (5)		31 (4) (13)
合計	643	344 (97) (68)	207 (85) (87)	2 (0)	553 (184) (155)	314 (88) (60)	169 (66) (67)	2 (0)	485 (156) (127)

(注) 1 秋入学者は含まない。
2 () 内は女子の内数(赤色で表記)。
3 () は外国人留学生数の内数。

卒業・修了者数(学位授与数)

2020年5月1日現在

学士

学部	学位の名称	新制(1991年の学位規則改正後)		学位の名称	新制(同学位規則改正前)	旧制	新・旧制合計
		2019年度	累計				
文学部	学士(文学)	175人	5,188人	文学士	4,265人	255人	10,119人
	学士(行動科学)	—	411			—	—
教育学部	学士(教育学)	47	1,759	教育学士	1,365	—	3,124
法学院	学士(法学)	208	6,629	法学生	5,484	275	12,388
経済学部	学士(経済学)	106	2,770	経済学士	4,730	325	10,679
理学部	学士(経営学)	96	2,854	理学士	—	—	—
	学士(心理学)	283	8,474		7,142	1,401	17,017
	学士(医学)	105	3,001			—	—
医学部	学士(看護学)	74	977	医学士	3,820	2,328	11,630
	学士(保健学)	97	1,504			—	—
歯学部	学士(歯学)	52	1,669	歯学生	1,046	—	2,715
薬学部	学士(薬学)	29	1,712	薬学生	2,247	—	4,494
工学院	学士(薬科学)	49	535			—	—
	学士(工学)	694	19,986	工学生	17,696	2,918	40,600
農学部	学士(農学)	225	6,488	農学生	7,766	4,078	18,906
獣医学部	学士(獣医学)	46	1,176	獣医学士	1,238	—	2,414
水産学部	学士(水産学)	191	6,061	水産学生	6,585	—	12,646
現代日本学プログラム課程	学士(学術)	16	24			—	24
合計		2,493	71,218		63,384	12,154	146,756

修士

研究科	学位の名称	新制(1991年の学位規則改正後)		学位の名称	新制(同学位規則改正前)	新制合計
		2019年度	累計			
文学研究科	修士(文学)	102人	1,908人	文学修士	765人	2,862人
	修士(学術)	—	77			—
法学院研究科	修士(法学)	15	112	法学生	160	950
獣医学研究科			790	獣医学修士	541	541
情報科学研究所	修士(工学)	1	53			53
	修士(情報科学)	203	2,705			2,705
水産科学院	修士(水産科学)	115	1,394			1,394
水産学研究科	修士(水産科学)	—	590	水産学修士	592	1,771
環境科学院	修士(環境科学)	144	1,844			1,844
地球環境科学研究所	修士(地球環境科学)	—	1,433			1,433
環境科学研究所	修士(環境科学)	—	135	学术修士	355	490
理学院	修士(理学)	115	1,796			1,796
理学研究科	修士(理学)	—	3,065	理学修士	2,733	5,798
薬学研究科	修士(薬学)	—	864	薬学修士	682	1,546
農学院	修士(農学)	190	2,080			2,080
農学研究科	修士(農学)	—	2,145	農学修士	1,371	3,516
	修士(生命科学)	70	1,198			1,198
生命科学院	修士(薬科学)	39	341			341
	修士(ソフトマスター科学)	22	22			22
教育学院	修士(教育学)	38	470			470
教育学研究科	修士(教育学)	—	453	教育学修士	172	625
国際広報メディア・観光学院	修士(国際広報メディア)	28	239			239
	修士(学術)	6	98			98
国際広報メディア研究科	修士(国際広報メディア)	17	187			187
保健科学院	修士(保健科学)	29	334			334
	修士(看護学)	15	97			97
工学院	修士(工学)	376	3,123			3,123
工学院研究科	修士(工学)	—	9,314	工学修士	5,787	15,101
総合化学院	修士(総合化学)	161	1,301			1,301
経済学院	修士(経済学)	33	49			48
	修士(経営学)	21	39			39
経済学研究科	修士(経済学)	—	433	経済学修士	143	883
	修士(経営学)	1	307			307
医学院	修士(医科)	20	37			37
医学研究科	修士(公衆衛生学)	12	22			22
医理工学院	修士(医理工学)	12	357	医学修士	—	357
国際食資源学院	修士(食資源学)	16	32			32
合計		1,801	40,264		13,301	53,565

専門職

研究科等	学位の名称	2019年度		累計
法学院研究科	法務博士(専門職)	28人	997人	
経済学研究科	会計修士(専門職)	19	269	
公共政策学教育部	公共政策学修士(専門職)	31	448	
合計		78	1,714	

博士

研究科	学位の名称	新制(1991年の学位規則改正後)		学位の名称	新制(同学位規則改正前)	旧制	新・旧制合計
		2019年度	累計	2019年度	累計		
文学研究科	博士(文学)	20人	435人	博士(文芸)	84人	6人	590人
	博士(行動科学)	—	31人	博士(行動科学)	5	2人	6人
	博士(学術)	—	18	博士(学術)	4	—	253
法学院研究科	博士(法学)	4	146	博士(法学)	53	22	1,017
国際広報メディア研究科	博士(国際広報メディア)	34	737	博士(国際広報メディア)	80	70	249
保健科学院	博士(保健科学)	12	212	博士(保健科学)	14	—	—
水産科学院	博士(水産科学)	—	132	博士(水産科学)	32	—	825
水産学研究科	博士(水産科学)	—	132	博士(水産科学)	76	—	435
環境科学院	博士(環境科学)	23	358	博士(環境科学)	5	77	443
地球環境科学研究所	博士(地球環境科学)	—	401	博士(地球環境科学)	42	—	108
環境科学研究所	博士(環境科学)	—	39	博士(環境科学)	8	41	377
理学院	修士(理学)	25	368	修士(理学)	9	20	—
理学研究科	修士(理学)	—	950	修士(理学)	215	636	3,198
薬学研究科	修士(薬学)	—	264	修士(薬学)	123	210	778
農学院	修士(農学)	36	413	修士(農学)	4	76	489
農学研究科	修士(農学)	—	639	修士(農学)	439	758	491
	修士(生命科学)	26	297	修士(生命科学)	28	491	3,256
生命科学院	修士(薬科学)	13	81	修士(薬科学)	1	89	89
	修士(臨床薬学)	9	23	修士(臨床薬学)	1	24	24
教育学院	修士(ソフトマスター科学)	0	1	修士(ソフトマスター科学)	1	1	1
教育学研究科	修士(教育学)	7	46	修士(教育学)	1	9	55
	修士(国際広報メディア)	2	81	修士(国際広報メディア)	1	7	122
国際広報メディア・観光学院	修士(学術)	4	22	修士(学術)	1	21	23
	修士(觀光学)	3	12	修士(觀光学)	1	2	14
国際広報メディア研究科	修士(国際広報メディア)	—	27	修士(国際広報メディア)	1	2	28
保健科学院	修士(保健科学)	6	58	修士(保健科学)	1	3	61
	修士(保健科学)	1	5	修士(保健科学)	0	5	5
工学院	修士(工学)	46	361	修士(工学)	1	28	389
工学院研究科	修士(工学)	—	1,489	修士(工学)	705	550	3,733
	修士(理学)	15	162	修士(理学)	3	165	165
	修士(工学)	18	100	修士(工学)	0	100	100
	修士(総合化学)	1	23	修士(総合化学)	1	24	24
経済学院	修士(経済学)	4	4	修士(経済学)	0	4	4
	修士(経済学)	3	3	修士(経済学)	0	3	3
経済学研究科	修士(経済学)	—	80	修士(経済学)	33	3	243
	修士(経済学)	1	48	修士(経済学)	14	40	243
医学院	修士(医学)	80	1,906	修士(医学)	2	736	7,347
医学研究科	修士(医学)	1	1	修士(医学)	0	1	1
歯医学研究科	修士(歯医学)	19	439	修士(歯医学)	2	197	1,021
医理工学院	修士(医理工学)	3	3	修士(医理工学)	0	3	3
	修士(工学)	1	1	修士(工学)	0	1	1
情報科学研究所	修士(情報科学)	12	200	修士(情報科学)	10	0	210
	修士(情報科学)	20	309	修士(情報科学)	8	0	317
情報科学研究所	修士(情報科学)	452	11,185	修士(情報科学)	19	3,157	25,825
合計		452	11,185		19	3,157	
						2,960	3,942
						4,581	

進路状況

2020年5月1日現在

(注) 1 [] 内は北海道内企業等就職者で内数
2 () 内は北海道内企業等就職者の比率

■学士

区分	2019年度卒業者数	進学者	2019年度卒業者の進路別内訳											臨床研修医	その他		
			就職者														
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	ホストク研究員	官公庁	民間企業	病院 診療所	その他	詳細不明	計				
文学部	180人	28人	0人	0人	7人	0人	0人	29人	93人	0人	2人	0人	131人 [54人 (41.2%)]	0人	21人		
教育学部	49	9	0	0	3	0	0	5	27	0	0	0	35 [14 (40.0)]	0	5		
法学部	212	27	0	0	0	0	0	58	99	0	3	0	160 [44 (27.5)]	0	25		
経済学部	207	17	0	0	0	0	0	13	155	0	1	0	169 [42 (24.9)]	0	21		
理学部	283	230	0	0	3	0	0	4	22	0	0	0	29 [8 (27.6)]	0	24		
医学部 医学科	105	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 [0 (0.0)]	104	0		
医学部 保健学科	171	69	0	0	0	0	0	2	8	82	0	0	92 [65 (70.7)]	0	10		
歯学部	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 [0 (0.0)]	47	5		
薬科学科(4年制)	49	46	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3 [0 (0.0)]	0	0		
薬科学科(6年制)	29	1	0	0	0	0	0	3	19	6	0	0	28 [4 (14.3)]	0	0		
工学部	694	563	0	0	0	0	0	20	82	0	0	2	104 [24 (23.1)]	0	27		
農学部	225	167	0	0	0	0	0	10	38	0	2	0	50 [11 (22.0)]	0	8		
獣医学部	46	8	0	0	0	0	0	5	24	7	0	0	36 [5 (13.9)]	0	2		
水産学部	191	141	0	1	0	0	0	4	38	0	1	0	44 [10 (22.7)]	0	6		
合計	2,493	1,307	0	1	13	0	0	153	608	95	9	2	881 [281 (31.9)]	151	154		

■修士

区分	2019年度卒業者数	進学者	2019年度卒業者の進路別内訳											その他	
			就職者												
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	ホストク研究員	官公庁	民間企業	病院 診療所	その他	詳細不明	計		
文学研究科	102人	28人	0人	0人	7人	0人	0人	8人	23人	0人	0人	0人	38人 [16人 (42.1%)]	36人	
法学研究科	15	4	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8 [0 (0.0)]	3	
情報科学院・情報科学研究所	204	28	0	0	1	0	1	0	167	0	1	0	170 [14 (8.2)]	6	
水産科学院	115	10	0	7	0	0	0	0	11	84	0	0	102 [12 (11.8)]	3	
環境科学院	144	27	0	0	2	0	1	8	87	0	0	0	98 [21 (21.4)]	19	
理学院	115	33	0	0	5	0	0	3	63	0	1	1	73 [14 (19.2)]	9	
農学院	190	28	2	6	0	0	1	13	124	0	5	0	151 [29 (19.2)]	11	
生命科学院	131	29	0	0	0	0	0	2	83	0	3	1	89 [7 (7.9)]	13	
教育学院	38	5	1	0	7	0	0	2	10	1	0	0	21 [12 (57.1)]	12	
国際広報メディア・観光学院	51	6	0	0	0	0	0	0	18	0	1	0	19 [5 (26.3)]	26	
保健科学学院	44	8	1	0	0	0	1	8	7	15	0	0	32 [17 (53.1)]	4	
工学院	376	26	1	1	1	0	0	15	297	0	0	2	317 [29 (9.1)]	33	
総合化学院	161	42	0	0	2	0	0	0	110	0	0	0	112 [3 (2.7)]	7	
経済学研究科(経済学院含む)	55	4	0	0	0	0	1	0	30	0	0	1	32 [5 (15.6)]	19	
医学院	29	7	0	1	0	0	0	0	8	7	0	2	18 [6 (33.3)]	4	
医学院公衆衛生学コース(1年コース)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2 [2 (100.0)]	0	
医理工学院	12	3	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	8 [1 (12.5)]	1	
国際食資源学院	16	1	1	0	0	0	0	0	14	0	0	0	15 [1 (6.7)]	0	
合計	1,801	290	6	15	25	0	5	70	1,139	27	11	7	1,305 [194 (14.9)]	206	

■専門職

区分	2019年度卒業者数	進学者	2019年度卒業者の進路別内訳											その他	
			就職者												
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	ホストク研究員	官公庁	民間企業	病院 診療所	その他	詳細不明	計		
法学研究科(法科大学院)	28人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	2人 [0人 (0.0%)]	26人	
経済学研究科(会計専門大学院)	19	0	0	0	1	0	0	2	7	0	1	0	11 [3 (27.3)]	8	
公共政策学教育部(公共政策大学院)	31	1	0	0	0	0	0	8	18	0	0	0	26 [9 (34.6)]	4	
合計	78	1	0	0	1	0	0	10	27	0	1	0	39 [12 (30.8)]	38	

■博士

区分	2019年度卒業者数	進学者	2019年度卒業者の進路別内訳											臨床研修医	その他		
			就職者														
			大学教員	研究機関	教員	その他の教員	ホストク研究員	官公庁	民間企業	病院 診療所	その他	詳細不明	計				
文学研究科	26人	0人	9人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	2人	0人	0人	13人 [6人 (46.2%)]	0人	13人		
法学研究科	7	0	3	1	0	0	2	0	1	0	0	0	7 [4 (66.7)]	0	0		
情報科学院・情報科学研究所	39	0	6	0	0	0	0	6	1	21	0	2	0	36 [7 (19.4)]	0	3	
水産科学院	12	0	4	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	10 [1 (10.0)]	0	2	
環境科学院	33	0	2	5	0	0	0	13	3	4	0	1	0	28 [15 (53.6)]	0	5	
理学院	34	0	6	4	0	0	0	5	3	12	0	1	0	31 [6 (19.4)]	0	3	
農学院	40	0	3	4	0	0	0	12	2	9	0	3	0	33 [12 (36.4)]	0	7	
生命科学院	51	0	8	1	1	0	0	14	1	13	4	1	0	43 [17 (39.5)]	0	8	
教育学院	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3 [1 (33.3)]	0	7	
国際広報メディア・観光学院	10	0	4	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7 [3 (42.9)]	0	3	
保健科学学院	6	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4 [4 (100.0)]	0	2	
工学院	53	0	4	3	0	0	0	9	0	18	0	0	0	34 [15 (44.1)]	0	19	
総合化学院	41	0	2	0	1	0	0	16	0	16	0	0	0	35 [7 (20.0)]	0	6	
経済学研究科(経済学院含む)	8	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6 [3 (50.0)]	0	2	
医学院・医学研究科	83	0	6	2	0	0	0	5	0	2	54	1	0	70 [63 (90.0)]	0	13	
医理工学院	4	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4 [1 (25.0)]	0	0	
歯学研究科	33	0	2	0	0	0	0	0	0	4	21	0	0	27 [21 (77.8)]	0	6	
獣医学研究科	25	0	7	2	0	0	0	10	0	5	0	0	0	24 [5 (20.8)]	0	1	
合計	515	0	74	24	2	0	97	11	115	82	10	0	415 [191 (46.0)]	0	100		

*単位修得者を便宜上、修了者として含める

新渡戸カレッジ

Nitobe College



短期留学スペシャルプログラム



新渡戸学(フェローゼミ)現地視察



チーム学習を基本としたアクティブラーニング中心の授業形態



2013年度に学士課程向け特別教育プログラムとして創設された新渡戸カレッジと、2015年度に大学院特別教育プログラムとして開始された新渡戸スクールは、2019年度に統合し、6年一貫の特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」となった。本プログラムは、基礎プログラム及びオナーズプログラムで構成され、リーダーシップを発揮して世界に貢献できるグローバル人材を育成する。

●学部教育コース 学士課程学生を対象とし、学部教育と並行して豊かな人間性・国際性を育むために取り入れられた各種教育を実践する。

- 自律的な個人の確立と専門能力を高める留学制度
- リーダーシップに必要なスキルとマインドを育む独自のカリキュラム
- 国際経験の豊かな同窓生等からなるフェローによるキャリア支援

●大学院教育コース 修士課程及び専門職学位課程学生を対象とし、各分野における高度な専門性に立脚し、その専門性を活用する能力、すなわち〈能力更新力〉、〈組織形成力〉、〈社会還元力〉、〈専門職倫理〉を高めることにより、国際社会における創造的な課題解決及び社会的価値の創出を実現できる専門家を育成するための各種教育を、大学院教育と並行して実践する。

- 国際社会の縮図 ○領域横断的学修環境
- 徹底したチーム学習とアクティブラーニング
- 実社会で活かせる世界的ネットワーク

入学支援

■アドミッションセンター Admission Center



進学相談会in 東京・大阪



オープンキャンパス

入学者選抜に関する様々な業務を通じて、選抜方法の改善及び選抜の円滑な実施を推進することを目的として設置された運営組織で、総務部門、出題・採点部門、広報・相談部門の3つの部門から構成されている。

就職支援

■キャリアセンター Career Center



就職相談



就職ガイダンス

学部生、大学院生等、全ての学生(留学生を含む)一人ひとりのキャリア形成をサポートしている。

- 就職相談
- 就職情報の提供
- OB・OG名簿、就職サポート名簿及び就職活動レポートの整備
- 就職ガイダンス・セミナーの実施
- 公務員ガイダンス・セミナーの実施
- イベント開催情報のメール配信
- インターンシップ支援

■開室時間等はHPにて確認のこと。

キャリアセンター HP

<http://cc.academic.hokudai.ac.jp/>

外国人留学生数

2020年5月1日現在

地域	国名(地域名)	学部・大学院																		その他							合計									
		文文学部	法学部	法政研究科	情報科学部	農学部	理学部	地理科学部	水産科学部	医学部	保健科学部	工学部	総合化学会	理工学院	國際感染症学院	国際食資源学院	現代日本学	総合教育部	小計	量子集積エレクトロニクス研究センター	観光学高等研究センター	融媒科学研究所	電子科学研究所	公共政策学連携研究部	低温科学研究所	セラミック基盤センター	高教教育推進機構	北方生物園フィールド科学センタ								
中東 7カ国 16人 0.76%	アフガニスタンイスラム共和国										1							1									0	1								
	アラブ首長国連邦王国					1													1								0	1								
	イラン・イスラム共和国	1										2						1		4							0	4								
	クウェート国						1												1								0	1								
	サウジアラビア王国	1											3						4								0	4								
アフリカ 24カ国 90人 4.30%	トルコ共和国	1							2										1	4							0	4								
	ヨルダハ・ハイミット王国								1										1								0	1								
	アルジェリア民主人民共和国					1													1								0	1								
	アンゴラ共和国								1										1								0	1								
	ウガンダ共和国		1																1								0	1								
アフリカ 24カ国 90人 4.30%	エジプト・アラブ共和国						4				1	3							8								0	8								
	エチオピア連邦民主共和国								1										1								0	1								
	エリトリア国											1							1								0	1								
	ガーナ共和国																		1								0	1								
	カーボベルデ共和国										2								2								0	2								
	ギニア共和国											1							1								0	1								
	ケニア共和国					1					1								1	3							0	3								
	コンゴ民主共和国										1								3								0	3								
	ザンビア共和国	1	1	1					2	7			2	7					21								0	21								
	ジンバブエ共和国									1									1								0	1								
	スダーン共和国							1				1							2								0	2								
	タンザニア連邦共和国					1		1											2								0	2								
	チュニジア共和国										1	1							2								0	2								
	ナイジリア連邦共和国	4	2	6	2				3	1	3	1			1				23								0	23								
	ナミビア共和国																		1	1							0	1								
	ブルキナファソ											1							1								0	1								
	マダガスカル共和国		1								1	1							3								0	3								
	マラウイ共和国										1	1							5								0	5								
	南アフリカ共和国	3																	3								0	3								
	モーリシャス共和国								1																		0	1								
	モロッコ王国																		1	2							0	2								
合計(100カ国・地域)		226	74	101	3	45	186	107	127	98	74	123	41	313	111	111	51	25	36	8	29	14	27	42	57	2,029	1	1	1	2	1	3	1	51	64	2,093
外国人学生数(留学以外)		3	4			4	2	2	3	1	4	4	1	3	5		6																		0	42

所属別留学生数

(注) ()内は女子の内数(赤字で表記)

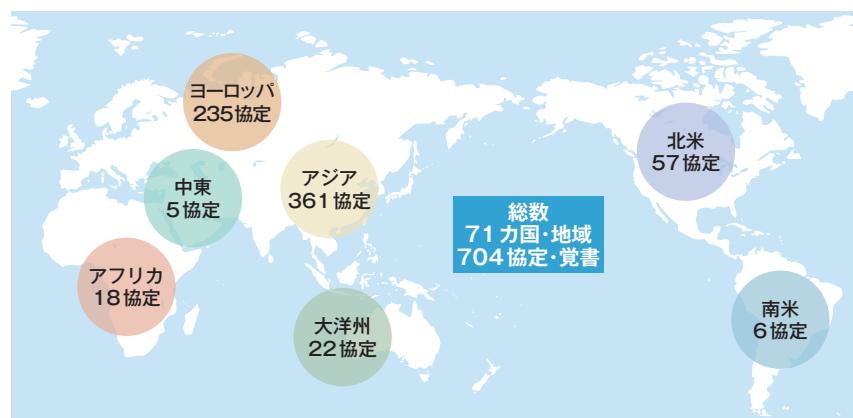
学部等名	学部学生	大学院学生			研究生	日本語・日本文化研修生	日本語研修生	特別研究学生	特別講習学生	留学生総数	外国人学生「留学」以外	総数		
		修士課程	専門職大学院	博士後期課程										
文学院・文学研究科 文学研究科・文学部	1 (1)	92 (67)			68 (43)	37 (28)			1 (1)	27 (15)	226 (155)	3 (2)	229 (157)	
法学研究科・法学部	1	42 (23)			8 (2)	12 (7)			1	10 (7)	74 (39)		74 (39)	
情報科学院・情報科学研究科 情報科学研究院		34 (6)			57 (18)	6 (3)			4 (1)	101 (28)	4 (0)	105 (28)		
葉学研究院・葉学部	2 (1)					1 (1)					3 (2)		3 (2)	
水産科学院 水産科学研究院・水産学部	3 (2)	12 (7)			22 (6)	4				3 (1)	1	45 (16)		45 (16)
環境科学院・地球環境科学研究院		92 (42)			79 (39)	14 (6)				1 (1)		186 (88)	4 (2)	190 (90)
理学院・理学研究科・理学部	21 (7)	28 (14)			46 (14)	3 (1)			2 (1)	7 (2)	107 (39)	2 (0)	109 (39)	
農学院・農学研究院・農学部	5 (5)	40 (25)			66 (29)	6 (3)			4 (3)	6 (3)	127 (68)	2 (2)	129 (70)	
生命科学院・先端生命科学研究院		50 (27)			47 (15)	1 (1)						98 (43)		98 (43)
教育学院・教育学研究院・教育学部		41 (30)			21 (16)	9 (6)			1 (1)	2 (1)	74 (54)	3 (1)	77 (55)	
メディア・コミュニケーション研究院 国際広報メディア・観光学院		81 (58)			26 (17)	14 (12)				2 (2)	123 (89)	1 (1)	124 (90)	
保健科学院・保健科学研究院		21 (12)			9 (8)	11 (8)						41 (28)		41 (28)
工学院・工学研究院・工学部	51 (7)	125 (33)			105 (29)	17 (7)			3 (1)	12 (3)	313 (80)	4 (1)	317 (81)	
総合化学会		39 (14)			72 (30)							111 (44)	4 (0)	115 (44)
経済学院・経済学研究科 経済学院・経済学部	3 (1)	75 (51)	6 (6)	17 (9)	8 (6)				1 (1)	1 (1)	111 (75)	1 (1)	112 (76)	
医学院・医学研究科 医学研究科・医学部	1	7 (3)			40 (26)	2 (2)				1 (1)	51 (32)	3 (1)	54 (33)	
歯学院・歯学研究科 歯学研究院・歯学部					24 (15)	1 (1)					25 (16)	5 (3)	30 (19)	
獣医学院・獣医学研究科 獣医学研究院・獣医学部					34 (15)	1 (1)				1 (1)	36 (17)		36 (17)	
医療工学院		1			7 (1)							8 (1)		8 (1)
国際感染症学院					29 (15)							29 (15)	6 (4)	35 (19)
国際食資源学院		8 (4)			5 (5)					1	14 (9)		14 (9)	
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部				23 (12)		4 (2)						27 (14)		27 (14)
現代日本学プログラム課程	42 (26)											42 (26)		42 (26)
総合教育部	57 (24)											57 (24)		57 (24)
小計	187 (74)	788 (416)	29 (18)	782 (352)	151 (95)	0 (0)	0 (0)	17 (10)	75 (37)	2,029 (1,002)	42 (18)	2,071 (1,020)		
高等教育推進機構					4 (1)	46 (30)	1				51 (31)		51 (31)	
観光学高等教育研究センター						1 (1)					1 (1)		1 (1)	
量子集積エレクトロニクス研究センター					1 (1)						1 (1)		1 (1)	
低温科学研究所					1 (1)						1 (1)		1 (1)	
電子科学研究所					1				1 (1)	2 (1)			2 (1)	
遺伝子病制御研究所					1 (1)					1 (1)			1 (1)	
触媒科学研究所					1 (1)				1		2 (1)		2 (1)	
スマート・ユーラシア研究センター					1 (1)					1 (1)		1 (1)		
情報基盤センター					3 (1)						3 (1)		3 (1)	
北方生物園フィールド科学センター					1 (1)					1 (1)		1 (1)		
小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (9)	46 (30)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	64 (40)	0 (0)	64 (40)		
合計	187 (74)	788 (416)	29 (18)	782 (352)	166 (104)	46 (30)	1 (0)	19 (11)	75 (37)	2,093 (1,042)	42 (18)	2,135 (1,060)		

経費別留学生数

	学部	大学院	その他
--	----	-----	-----

国際交流協定締結状況

■協定大学の分布図



■大学間交流協定(51カ国・地域、194協定・198機関)

2020年4月1日現在

国・地域名	協定大学名(所在地)	締結年月日		
バングラデシュ人民共和国	タッカ大学(タッカ)	2009.12.24	※	
	厦门大学(廈門)	2010.11.25	※	
	華中科技大学(武漢)	2012.12.27	※	
	吉林大学(長春)	2004.9.22	※	
	湖南大学(長沙)	2013.10.10	※	
	四川大学(成都)	2009.10.15	※	
	上海海洋大学(上海)	2010.12.1	※	
	上海交通大学(上海)	2011.10.19	※	
	西安交通大学(西安)	2008.5.26	※	
	清華大学(北京)	2008.6.30	※	
	西北農林科技大学(咸陽)	2011.10.13	※	
	浙江大学(杭州)	2002.1.20	※	
	大連理工大学(大連)	2010.1.20	※	
	中国海洋大学(青島)	2011.2.3	※	
	中国科学院大学(北京)	2017.12.27	※	
中華人民共和国	中國人民大学(北京)	2015.12.29	※	
	東南大学(南京)	2010.10.29	※	
	東北大學(瀋陽)	2018.4.25	※	
	東北師範大學(長春)	2009.5.8	※	
	南開大学(天津)	2006.5.11	※	
	南京大学(南京)	2006.5.11	※	
	武漢大学(武汉)	2009.11.30	※	
	復旦大学(上海)	2004.8.3	※	
	北京大学(北京)	2003.2.19	※	
	北京科技大学(北京)	1986.12.26	※	
	北京師範大学(北京)	2010.1.20	※	
	香港城市大学(香港)	2014.7.16	※	
	香港中文大学(香港)	2011.9.30	※	
	蘭州大学(蘭州)	2010.4.9	※	
インド	インド理工科大学(ハイデラバード校)(ハイデラバード)	2018.4.2	※	
	インド理工科大学(ムンバイ校)	2018.1.15	※	
	インド理工科大学(マドラス校)(マドラス)	2018.3.26	※	
	デリー大学(デリー)	2010.2.26	※	
	マイソール大学(マイソール)	2015.1.29	※	
	ガジャマタ大学(ジョクヤカルタ)	2010.7.23	※	
インドネシア共和国	パランカラヤ大学(パランカラヤ)	2006.8.26	※	
	バンズルンサ大学(バンズルン)	2014.3.20	※	
	ボコール農業大学(ボコール)	2009.7.29	※	
アジア	仁川大学校(仁川)	2012.4.16	※	
	江原大学校(春川)	2003.6.13	※	
	韓國海洋大学校(釜山)	2010.6.3	※	
	韓國科學技術大学(大田)	2016.4.18	※	
	高麗大学校(ソウル)	2010.10.15	※	
	公州大学校(公州)	2011.8.2	※	
	ソウル大学校(ソウル)	1997.10.1	※	
	ソウル市立大学校(ソウル)	2013.9.23	※	
	成均館大学校(ソウル)	2012.12.27	※	
大韓民国	忠南大学校(忠南)	2001.7.9	※	
	忠北大学校(忠北)	2007.12.6	※	
	全北大学校(全州)	2000.2.9	※	
	東慈大学校(釜山)	2009.4.23	※	
	漢陽大学校(ソウル)	2012.7.10	※	
	韓京大学校(安城)	2009.2.16	※	
	金慶大學校(釜山)	2000.10.25	※	
	延世大学校(ソウル)	2010.12.6	※	
	嶺南大学校(慶山)	2000.8.4	※	
マレーシア	マレーシア大学(ラハウ・ペナン)	2010.6.7	※	
	マレーシア・サバ大学(ゴダキナ・バル)	2016.4.12	※	
モンゴル国	モンゴル國立大学(ラムバートル)	2009.1.26	※	
ミャンマー連邦民主共和国	バティーン大学(バティーン)	2015.6.29	※	
ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学(カトマンズ)	2010.10.24	※	
フィリピン共和国	デラサル大学(マニラ)	2009.1.11	※	
シンガポール共和国	フィリピン大学(セントシティ)	2014.7.16	※	
スリランカ民主社会主义共和国	シンガポール・マネジメント大学(シンガポール)	2018.2.21	※	
台湾	ベラニヤ大学(ベラニヤ)	2006.11.14	※	
	国立交通大学(新竹)	2013.3.22	※	
	国立清華大学(新竹)	2012.8.17	※	
	国立成功大学(台南)	2013.1.23	※	
	国立政治大学(台北)	2014.6.19	※	
	国立台湾大学(台北)	2005.3.3	※	
	国立台湾海洋大学(基隆)	2014.4.23	※	
	国立台湾師範大学(台北)	2013.7.8	※	
	国立中興大学(台中)	2012.3.14	※	
	国立正大大学(嘉義)	2009.1.4	※	
	国立東華大学(花蓮)	2017.6.7	※	
	台北医学大学(台北)	2015.8.28	※	
	淡江大学(淡水)	2010.11.29	※	
	中央研究院(台北)	2008.9.11	※	
	中国医薬大学(台中)	2018.6.21	※	
タイ王国	アシア工科大学(クロンルアン)	2008.11.4	※	
	カセサート大学(バンコク)	2009.1.6	※	
	タマサーサー大学(バンコク)	2014.1.30	※	
	チュラロンコム大学(バンコク)	2009.7.3	※	
	マヒドン大学(サラヤ)	2008.11.26	※	
	モンクット王立工科大学トンブリ校(バンコク)	2013.12.24	※	
	モンクット王拉カーン工科大学(バンコク)	2014.5.30	※	
	カントー大学(カントー)	2013.3.1	※	
ベトナム社会主義共和国	アシア工科大学(クロンルアン)	2008.11.4	※	
	ベトナム国家医学大学(ノイエ)	2013.3.1	※	
	ベトナム国家医学大学ホーチミン校(ホーチミン)	2010.2.23	※	
	ベトナム国家医学大学ホーチミン校(ホーチミン)	2013.3.1	※	
大洋州	オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学(キャンベラ)	2012.6.14	※
	サンチャイヨット大学(サムイーンコート)	2013.8.19	※	
	シドニー大学(シドニー)	2013.4.30	※	
	タスマニア大学(ホーバート)	2009.1.9	※	
	ニューサウスウェールズ大学(シドニー)	2012.11.5	※	
	マードック大学(パース)	2014.1.30	※	
	メルボルン大学(メルボルン)	2018.3.6	※	
北米	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学(バンクーバー)	2008.6.29	※
		モン特利爾大学(モントリオール)	2015.6.29	※
		ラスクスカラ大学(フェアバンクス)	1986.12.20	※
		ウイスコンシン大学マディソン校(マディソン)	1987.4.21	※
		オクラホマ大学(オーマン)	2010.3.25	※
		オハイオ州立大学(コロンバス)	1998.9.1	※
		オレゴン州立大学(ユージン)	2006.8.17	※
		オレゴン州立大学(コバリアス)	2016.10.3	※
		カリフォルニア大学ベーカービル校(ベーカービル)	2016.7.19	※
		カリフォルニア州立大学ラホヤ・ゼルス校(ロサンゼルス)	2008.6.29	※
		コロラド州立大学(フォートコリーンズ)	2012.6.16	※
		サンディエゴ州立大学(サンディエゴ)	2017.3.22	※
		ハワイ大学(ヒロ)	2015.10.1	※
		ハワイ大学マノア校(ホノルル)	2003.6.30	※
		ボルダート州立大学(ボルダート)	1972.12.19	※
		マサチューセッツ大学(ボストン)	2015.6.25	※
		ワシントン大学(シアトル)	2016.11.16	※
		サンフランシスコ大学(サンフランシスコ)	2009.4.1	※
		リオグラード・ダス・テレス大学(ボルタルグレ)	2013.11.8	※
		キンシ・アブドゥラージーズ大学(ジェッタ)	2010.7.8	※
		AEU大学(アル・アイン)	2017.7.19	※
		ケニア共和国	2020.2.18	※
		ナイジェリア連邦共和国	2019.1.30	※
		ノースエスト大学(ボルチモア)	2014.2.5	※
		フレートリーランド大学(フレートリーランド)	2016.8.29	※
		南アフリカ共和国	2008.6.29	※
		ザンビア共和国	2013.2.6	※
		ザンビア大学(ルサカ)	2011.3.18	※

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結している大学

■大学間交流協定に基づく覚書・部局間交流協定(63カ国・地域、510協定) 2020年4月1日現在

A=学術交流 S=学生交流 D=ダブルディグリー C=コチュテル I=インターンシップ U=共同利用 J=ジョイントセミナー E=共同教育 L=図書館交流

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日
大韓民国	ソウル대학교(ソウル)	工科大学	工学部・工学院、情報科学研究科	I	2011. 1.17
	ソウル대학교(ソウル)	工科大学	工学院、情報科学研究科	D	2011. 7.31
	ソウル대학교(ソウル)	公衆衛生大学院 BK21 プラス 健康環境教育研究センター	環境健康科学研究教育センター	A	2016. 6.29
	ソウル대학교(ソウル)	師範大学	教育学研究院	A	2014. 7.14
	ソウル대학교(ソウル)	図書館	附属図書館	L	2019. 1.10
	ソウル대학교(ソウル)	分子ダイナミクス研究センター	低温科学研究所	A	2009. 6.30
	ソウル대학교(ソウル)	薬学大学	薬学研究院・薬学部	A, S	2015. 7.17
	ソウル대학교(ソウル)	北海道大学病院	北海道大学病院	A	2018.11.8
	ソウル女子대학교(ソウル)	自然科学部	農学研究院・農学院・農学部	A, S	2010. 6.11
	濟州대학교(济州)	海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S	2002.12.17
	忠南대학교(大田)	社会科学院	法医学研究科・法医学部	A, S	2018. 1.18
	忠北대학교(清州)	工科大学	薬学研究院・薬学部	A, S	2016. 2.2
	中央대학교(ソウル)	社会科学院	工学研究院・工学院・工学部・総合化学院	A, S, I	2007.12.6
	中央대학교(ソウル)	接境人文學研究所	公共政策学教育部	A	2015.10.7
	全南대학교(麗水)	水産海洋大学	公共政策学教育部	A, S	2019. 5.11
	全南대학교(光州)	農業生命科学大学	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S	2007. 8.27
	全北대학교(全州)	韓国人共通感染症研究所	農学研究院・農学院・農学部	A, S	2002.1.24
	全北대학교(全州)	歯医学専門大学院	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2017. 1.11
	東國대학교(釜山)	工科大学	歯学研究科	A	1990.11.22
	漢城대학교(ソウル)	工科大学	工学研究院・工学院	A	2008. 1.30
	漢城대학교(ソウル)	芸術大学	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2011. 9.19
	釜山대학교(釜山)	水産科学大学	情報基盤センター	A	2011. 7.29
	釜山대학교(釜山)	工科学部	水産科学院・水産学部	S	2011.12.26
	釜山대학교(釜山)	自然科学大学	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2016. 8.4
	釜山대학교(釜山)	農業生命科学大学	理学研究院・理学院・理学部・先端生命科学研究院・生命科学院・総合化学院	A, S	2016. 6.15
マレーシア	トレンガム大学(クララトレンガム)	大學院・薬学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S	2016. 6.8
	熱帯泥炭研究所(クチン)	医学部	医学研究院・医学部	A	2017.11.8
	スマシメント&サイエンス大学(シャーラム)	生物学	医学研究院・医学部・生医科学院	A, S	2017.11.8
	マラカイ大学(クアラルンプール)	生物学	医学研究院・医学部	A, S	2017. 8.29
	マレーシア・サバ大学(コタキナバル)	熱帶生物保全研究所	地球環境科学研究所・環境科学院	A, S	2014. 2.5
	マレーシア・テルラヌ大学(トレンガム)	海洋科学・環境科学部	地球環境科学研究所・環境科学院	A, S	2014. 9.29
	マレーシア科学大学(ラウ・ペント)	材料・資源工学部	工学研究院・工学院・工学部	I	2015. 1.19
	マレーシア国際イスラム大学(アラルンプール)	工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S	2012.11.12
	マレーシアフトラ大学(アラジャヤ)	生物学	工学研究院・工学院	A, S, I	2018. 3.9
	エニコイル科学アカデミー(ラウンバートル)	古生物学センター	総合博物館	A	2011. 8.15
モンゴル国	エニコイル科学アカデミー(ラウンバートル)	地理学研究室	地球環境科学研究所・農学研究院	A	2009. 2.18
	モンゴル国立科学技術大学(ウランバートル)	機械工学文系学部・応用科学部・土木建築工学部・産業技術学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S, I	2017. 1.9
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	応用科学・工学部	理医学研究所	C	2020. 1.22
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	原子核研究センター	理学研究院	A	2010. 9.21
	モンゴル国立大学(ウランバートル)	文化・科学部及び応用科学・工学部	地球環境科学研究所・農学研究院	A	2009. 2.18
	モンゴル國家気象水文監視省水文気象研究所(ウランバートル)	工学部	地球環境科学研究所・農学研究院	A	2009. 2.12
	モンゴル生命科学大学(ウランバートル)	獣医学研究所	獣医学研究所	A	2013. 5.7
	ミンマー連邦共和国	ミンマー・獸医学科学院(イエイン)	獣医学研究所	A	2013.10.7
	ミンマー・獸医学科学院(ヤンゴン)	医学研究室	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2013. 6.10
	カトマンズ大学(ドリケル)	歯学部	歯学研究科	A	2017. 2.5
ネパール連邦民主共和国	カトマンズ大学(ドリケル)	歯学部	歯学研究科	S	2017. 7.10
	自然保護ナショナルトラスト		獣医学研究科・人獸共通感染症リサーチセンター	A	2016. 4.11
	スバル越後漁業会/イクノ・スバル経営プロジェクト(カトマンズ)		農学研究院・農学院・農学部	A	2015. 3.10
	フィリピン共和国	セントラルミンダナオ大学(マラマグ)	工学部	A, S	2016. 9.20
	フィリピン・水生センター(ムニヨス)	生物学	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2009.12.5
	フィリピン・ガラオセンター(ムニヨス)	生物学	獣医学研究科	A	2015. 9.29
	フィリピン大学ティルマン校(ケソン)	工学部	情報科学研究科	A, S	2010. 4.28
	フィリピン大学ロスバニヨス校(ラグナ)	生物学	農学院	C	2017. 8.10
	シンガポール共和国	シンガポール国立大学(シンガポール)	医学部	S	2015. 5.22
	シンガポール国立大学(シンガポール)	理学部	医学部	A	2014. 3.24
スリランカ民主社会主義共和国	シンガポール国立大学(シンガポール)	理学部	水産科学研究所	A	2018. 4.1
	ナインエク大学(サンヤン)	リーコン・エンジニアリング大学	医学部	A, S	2016. 9.15
	ナインエク大学(サンヤン)	リーコン・エンジニアリング大学	北海道大学病院	A	2017. 5.22
	エラワリ大学(スリランカ)	人文・社会科学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S	2017. 6.6
	雲林科技大学(斗六)	社会科学院	文学研究科	A, S	2017. 1.25
	国立金門大学(金門)	理学院	公共政策学連携研究部	A	2015. 3.11
	国立交通大学(新竹)	社会科学院・体育学院	電子科学研究所	A	2011. 1.24
	国立彰化師範大学(彰化)	理学院	公共政策学教育部	A, S	2015.11.5
	国立成功大学(台南)	理学院	理学研究院	A	2011.10.4
	国立政治大学(台北)	理学院	理学研究院	D	2017. 7.24
アジア	国立政治大学(台北)	原住民族研究センター	人獸共住民研究センター	A	2007.10.18
	国立政治大学(台北)	文学部	文学研究科	A	2014. 3.17
	国立政治大学(台北)	法学院・社会学院・国際事務学院	法学院・社会学院・国際事務学院	A, S	2005. 7.28
	国立中科技大学(台中)	应用日本语学科	公共政策学連携研究部・教育部	A, S	2019.10.1
	国立台北科技大学(台北)	公共行政暨政策学科	公共政策学連携研究部	A	2011. 9.27
	国立台北科技大学(台北)	工程学院	工房研究工場・工学院・工学部・理学研究院・理学部・情報科学研究科・総合化学院	A, S, I	2017. 7.31
	国立台湾大学(台北)	医学院	医学部	A, S	2016. 9.12
	国立台湾大学(台北)	医学部附属病院	医学部附属病院	S	2014. 2.12
	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院・環境科学院・理学院・生命科学院・工学院	S	2014. 3.6
	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院	D	2016.10.20
台湾	国立台湾大学(台北)	工学院	総合化学院	C	2016.10.20
	国立台湾大学(台北)	社会科学院	法学院・法律研究科・法学院・公共政策学連携研究部・教育部	A, S	2000. 1.28
	国立台湾大学(台北)	社会科学院	法学院・法律研究科・法学院・公共政策学連携研究部	A, S	2014.12.22
	国立台湾大学(台北)	法律系	法学院・法律研究科	A, S	2000.10.20
	国立台湾大学(台北)	法律系	法学院・法律研究科	A	2014. 9.20
	国立台湾大学(台北)	生命科学院	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S, I	2019. 9.25
	国立台湾科技大学(基隆)	工程学院	工学研究院・工学院・工学部・総合化学院	A, S	2012. 3.1
	国立台湾科技大学(台北)	科学教育センター	教育学研究院	A	2013. 2.1
	国立台湾科技大学(台北)	人文・社会科学部	文芸研究科	A	2016. 5.31
	国立高雄大学(高雄)	法学院	文学研究科	A	2008. 3.11
タイ王国	国立中科技大学(桃園)	工学院	工学研究科・工学院・工学部・理学研究所・理学院・情報科学研究科・総合化学院	A, S, I	2018. 2.5
	国立中科技大学(桃園)	医学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2014. 9.29
	国立中科技大学(桃園)	醫學部	医学研究科・医学部	A, S	2017. 3.15
	国立中科技大学(桃園)	牙醫學院	醫學研究科・醫學部	A, S	2018.12.18
	国立中科技大学(桃園)	藥物科學系	藥物科学研究所・藥学部・生命科学院	A, S	2019. 9.5
	台北医学大学(台北)	医学部	医学研究科・医学部	A	2012.12.21
	台北医学大学(台北)	看護学院	医学研究科・看護学院・公衆衛生・栄養学院・医学科技大学	A, S	2018. 10.9
	台北医学大学(台北)	口腔醫學系	医学研究科・口腔醫學系	A	2014. 7.14
	台北医学大学(台北)	双和病院	医学研究科・双和病院	A, S	2014.11.27
	台北医学大学(台北)	藥學系	医学研究科・藥學系	A	2014. 9.26
東南アジア	高麗医科大学(高雄)	健康科学院	保健科学院・保健科学研究院	A, S	2015. 6.10
	中央研究院(台北)	应用科学研究所	电子科学研究所	A	2014.12.22
	中国医药大学(台中)	物理研究所	文学研究科	A	2013. 4.2
	中国医药大学(台中)	医学部	电子科学研究所	A	2015. 3.20
	天主教輔仁大学(新北)	生物学	医学研究科・医学部	A	2016. 6.26
	天主教輔仁大学(新北)	外国语学部	保健科学院・保健科学研究院	A, S	2019. 1.9
	天主教輔仁大学(新北)	外国语学部	医学研究科・外国语学部	A	2014. 2.25
	天主教輔仁大学(新北)	外国语学部	保健科学院・保健科学研究院	A	2015.10.31
	天主教輔仁大学(新北)	附設醫院	保健科学院・保健科学研究院	A	2017. 9.30
	グリア工科大学(クロンラン)	工学部	工学院	D	2014. 3.17
カブチャメディ・サイエンス技術大学(ワンチャン)	カブチャメディ・サイエンス(バンコク)	工学部	触媒科学研究所	A	2017. 7.27
	カセサート大学(カンベンセン)	農学研究科	土壤研究工場・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	I	2014. 2.21
	国立科学博物館(ハトウマターニー)	農学部	土壤研究工場・農学院・農学部	C	2018. 2.27
	コングン大学(コングン)	理学部	土壤研究工場・農学院・農学部	A, S	2012. 9.19
	コングン大学(コングン)	理学部	理学研究院	A, S	2019. 5.15
	水產局(バンコク)	水產研究所	理学研究院	A, S	2018. 5.8
	スマラリーエ工科大学(ナコーンラーチャーシーマ)	工学部	水產科学院	A	2016. 4.6
	タクシン大学(ソンクラー)	理学部	総合化学院	A, S	2020. 3.5
	タクソン大学(バンコク)	公衆衛生学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2015. 1.20
	タマサート大学(バンコク)	公衆衛生学部	国际感染症院	C	2019. 9.20
東南アジア	タマサート大学(バンコク)	シリンゴーン・国際工学院	工学研究院・工学院・工学部・総合化学院	A, S	2007. 5.15
	タマサート大学(バンコク)	シリンゴーン・国際工学院	工学院	D	2019. 3.18
	チララーンコーン大学(バンコク)	医学部	保健科学研究院・保健科学院	A, S	2015. 6.3
	チララーンコーン大学(バンコク)	医学部	北海道大学病院	A	2017. 1.30
	チララーンコーン大学(バンコク)	教育学部	教育学研究院	A	2014. 5.12
	チララーンコーン大学(バンコク)	工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究科・総合化学院	I	2011. 9.5
	チララーンコーン大学(バンコク)	工学部	工学院	D	2018. 8.30
	チララーンコーン大学(バンコク)	総合保健科学部	保健科学研究院・保健科学院	A	2018. 8.9
	東南アジア漁業開発センター(バンコク)	水産科学研究所	水産科学院・水産学部	A	2006. 2.18
	プリンスオブソンクラー大学(ハジャイ)	理学部	理学研究院・理学院・理学部・先端生命科学研究院・生命科学院・総合化学院	A, S	2018. 5.10
マレーシア	マドン大学(バンコク)	医学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	公衆衛生学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2008.11.26
	マドン大学(バンコク)	歯学部	歯学研究院・歯学部	A, S	2020. 3.23
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22
	マドン大学(バンコク)	歯学部	人獸共通感染症リサーチセンター	A	2012. 2.22

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の総結部局	交流内容	締結年月日
アジア タイ王国	ラジャマンガル大学(ダムヤンパリ)	理工学部	理学研究院・理学院・理学部・先端生命科学研究院・生命科学院・総合化学院	A, S	2017. 9.26
	ワライラック大学(タララ)	公衆衛生学院	水産科学研究所	A	2009.12.12
	ワライラック大学(タララ)	養殖・漁業学部	環境健康科学研究所教育センター	A, S	2019. 3.13
ベトナム社会主義共和国	カントー大学(カントー)	人獣共通感染症リサーチセンター	水産科学研究所	A, S	2016. 6.2
	国立衛生疫病研究所(ハノイ)	工学研究院・工学院・工学部	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2014.12.25
	ハイズル・地質大学(ハイズル)	理学研究院・理学院	理学研究院・理学院	A, S, D	2015. 3.17
オーストラリア連邦	ベトナム農業科学院数学研究所(ハノイ)	獸医学研究所	獸医学研究所	A	2017. 2.11
	ベトナム農業大学(ハノイ)	地質・石油工学部、土木工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所・総合化学院	I	2015. 4.28
	ベトナム国家ホーチミン工科大学(ホーチミン)	地質・石油工学部、土木工学部	農学研究院・農学院・農学部	A	2014.10.7
大洋州 オーストラリア連邦	ウェスタン・シドニーニューサウスウェールズ(ウェンブリー)	工学・情報技術学部	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2014. 8.29
	カーティン大学(バース)	理工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所・総合化学院	A, I, S	2012. 8.6
	クインズランド工科大学(クイーンズランド)	工学・情報技術学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所	A, S	2016. 5.25
ニュージーランド	シドニー工科大学(シドニー)	農業環境学部	情報科学研究所	A	2018. 9.12
	シドニー工科大学(シドニー)	海洋南極研究所	工学研究院	A	2020. 3.5
	タスマニア大学(ホバート)	理学部	環境科学研究所	C	2019. 8.6
オーストリア共和国	マッコアーリー大学(シドニー)	国際関係学科	農学研究院・農学院・農学部	C	2016. 8.23
	ヴィクトリア大学ウェリントン(ウェリントン)	国際関係学科	公共政策学教育部	D	2017. 2.21
	リンクス大学(クリスマスチャーチ)	国際関係学科	農学研究院・農学院・農学部	A, S	2016.11.16
ベルギー王国	ヴィーン工科大学(ヴィーン)	教養学部	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2014. 8.6
ブルガリア共和国	ルーヴェン・カトリック大学(ルーヴェン)	理学部	法医学研究所	S	2015. 7.9
クロアチア共和国	ルーヴェン・カトリック大学(ルーヴェン)	農学部	電子科学研究所	A	2013. 7.20
チエコ共和国	トライアキア大学(スタラ・ザゴラ)	人文社会科学部	理学研究院・理学院・理学部	A, S	2014. 3.19
デンマーク王国	ブルガリヤ科学アカデミー・国立自然史博物館(ソフィア)	医学部	文学研究院・文学院・文部	A	2015. 9.17
エストニア共和国	ザグレブ大学(ザグレブ)	土木工学部	医学研究科・医学部	A	2009. 2.18
フィンランド共和国	カレル大学(カラハ)	水産及び水系保護研究所	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2015.12.21
デンマーク王国	南ボヘミア大学(ボドナニ)	建業建築	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, S	2010. 6.29
エストニア共和国	オーフス大学(オーフス)	農業環境科学研究所	歯学研究所	D	2014. 3.7
東ヨーロッパ連邦	オーレボル大学(オーレボル)	北極域研究プラットフォーム	北極域研究センター	A	2018. 1.30
ラツィアニア共和国	コベンハーゲン大学(コベンハーゲン)	ニールスボア研究所	低温科学研究所	A	2012. 1.25
ラツィアニア共和国	デンマーク王立芸術アカデミー(コベンハーゲン)	建築学部	工学研究院・工学院	A, S	2010. 3.31
ラツィアニア共和国	エストニア農業大学(タルトゥ)	農業環境科学研究所	北方生物園・フィールド科学センター	A	2018. 3.26
ラツィアニア共和国	タバンベレ応用科学大学(タバンベ)	計算科学・電子工学部	工学研究院・工学院・総合化学院	A, S, I	2011. 1.12
ラツィアニア共和国	タバンベレ大学(タバンベ)	建築学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所	A, S	2016. 6.29
ラツィアニア共和国	タバンベレ大学(タバンベ)	医学部	工学研究院・工学院	A, S	2018.12.7
ラツィアニア共和国	東フランクフルト大学(コブリュッケ)	自然資源・経済学部	医学研究科・医学部	S	2016.12.19
ラツィアニア共和国	ラツィアニア应用科学大学(ロヴァニエミ)	EDHE経営大学院(リール)	経済学研究院・経済学院	A, S	2019.10.23
ラツィアニア共和国	機械航空高等専門学校(ボティエ)	機械航空高等専門学校(ボティエ)	工学研究院・工学院	A, I	2011. 1.18
ラツィアニア共和国	国立気象研究センター(トゥールーズ)	低伝播研究研究所	低温科学研究所	A	2012. 3.26
ラツィアニア共和国	国立高等研究院(パリ)	文学研究科	文学院	A	2005. 6.30
ラツィアニア共和国	ストラスブル動物学博物館(ストラスブル)	総合博物館	総合博物館	A	2009.11.20
ラツィアニア共和国	先端産業技術大学(ビターラ)	工学研究院・工学院・情報科学研究所	工学研究院・工学院・情報科学研究所	A, S	2011.10.11
ラツィアニア共和国	パリ市立工業化物質高等専門大学(パリ)	生命科学院	生命科学院	C	2018. 3.26
ラツィアニア共和国	パリ・ディトド大学(パリ)	文学院・文部	文学院・文部	A, S	2014.12.18
ラツィアニア共和国	パリ天文台(パリ)	地質資源材料工学部	低温科学研究所	A	2019. 3.20
ラツィアニア共和国	フランス国立洋語東洋文化研究所(パリ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラフ・ユーラシア研究センター	A	1983. 9.25
ジオジア	フランス国立特別支援教育高等研究所(パリ)	地球環境科学学院	教育学研究院・教育学院	A, I	2018.11.9
ジオジア	ボルサバティ大学(トゥールーズ)	法医学社会科学部	理学研究院・理学院	A, S	2016. 2.3
ジオジア	ボワチエ大学(ボワチエ)	法医学社会科学部	法医学研究所	A, S	1993.10.15
ジオジア	リヨン高等師範学校(リヨン)	電子科学研究所	電子科学研究所	A	2010. 3.26
ジオジア	リール第1大学・リール中央学院(リール)	触媒・固体化学研究ユニット	触媒科学研究所	A	2011. 1.17
ジオジア	トリビニ国立医科大学(トリビニ)	イオペルクタターラーゼ薬化学生研究所	触媒科学研究所	A	2019. 2.25
ジオジア	GEOMARヘルムホルツ・キール海洋研究センター(キール)	地球環境科学研究所・環境科学院	地球環境科学研究所・環境科学院	A, S	2012. 5.31
ジオジア	アーヘン工科大学(アーヘン)	地質資源材料工学部	地質資源材料工学部	A	2017. 7.27
ジオジア	アルフレッドドエゲナ・施地海洋研究所(フレーマーハーフェン)	低温科学研究所	低温科学研究所	A	2009. 3.3
ジオジア	オットー・フォン・ギーアリ大学・クランブルグ(マクランブルグ)	自然科学部	電子科学研究所	A	2010. 9.13
ジオジア	クリスティアン・アルフレート・大学・カイル(キール)	数学・自然科学研究院	理学研究院・理学院	A, S	2014. 3.5
ジオジア	ケルルク・アグリコ・ラ工科大学(ボーフム)	工学研究院・工学院・工学部	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2015. 4.30
ジオジア	セベンヘルブルク自然博物館(フレーベルブルク)	総合博物館	総合博物館	A	2009.11.18
ジオジア	テュースフルク・エッセン大学(テュースフルク、エッセン)	東アジア研究所	文学研究科	A, S	2016. 1.26
ジオジア	トイシリウマク研究所(ベルリン)	遺伝子病制御研究所	遺伝子病制御研究所	A	2018. 3.28
ジオジア	ドレステン工科大学(ドレスデン)	数学部	理学研究院・理学院	A	2017. 8.1
ジオジア	ドレステン工科大学(ドレスデン)	理学部	理学研究院・理学院・先端生命科学研究院・生命科学院・総合化学院	A, S, I	2018. 4.13
ジオジア	ハンブルク大学(ハンブルク)	医学部	医学研究院・医学部・医学部	A, S	2018. 1.29
ジオジア	ハンブルク大学(ハンブルク)	数学・情報科学・自然科学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所・総合化学院	A, S	2014. 3.21
ジオジア	フライブルク大学(フライブルク)	神經病理研究所	遺伝子病制御研究所	A	2018. 3.30
ジオジア	フライブルク大学(フライブルク)	ニューヨンブルク化學反應工学研究所	触媒科学研究所	A	2018. 9.17
ジオジア	フリードリヒ・アランダ大学・エアラランゲン(エアランゲン)	数学・コンピューターサインエンス部	理学院	C	2020. 3.13
ジオジア	フレーメ・オーバーラーメン(フレーメン)	工学研究院・工学院・工学部	工学研究院・工学院・工学部	A, S	2013.12.3
ジオジア	ベルリン工科大学(ベルリン)	日本語翻訳・翻訳・コンピューターサインエンス部	低温科学研究所	A	2009. 3.4
ジオジア	マックスクーパー(フレーメン)	海洋微生物学研究所	触媒科学研究所	A	2005.12.26
ジオジア	マックスクーパー(フレーメン)	マックスクーパー研究所	低温科学研究所	A	2012. 1.19
ジオジア	マックスクーパー(マールブルク)	隆生微生物学研究所	低温科学研究所	A	2018.11.30
ジオジア	ライ・ブッシュ・協会ハルト研究所(ヴォーネミュンヘン)	医学部	医学研究院・医学院・医学部	A, S	2018. 1.30
ジオジア	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン(ミュンヘン)	歯医学部	歯医学研究所	A, S	2011. 1.10
ジオジア	ルール大学ボーフム(ボーフム)	心理学部	理学研究院・理学院・生命科学院	A, S	2018. 7.18
ギリシャ共和国	アテネ大学(アテネ)	心理学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究所・総合化学院	A, S, I	2017. 1.31
アイスランド共和国	アイスランド大学(レイキャビク)	地質資源材料工学部	医学研究科・医学部	A, S	2015. 6.23
アイルランド	アイルランド大学・ダブリン校(ダブリン)	感染症研究センター	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2014.12.25
アイルランド	アイルランド大学・ダブリン分校(ダブリン)	感染症研究センター	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016. 6.29
イタリア共和国	アイルランド大学・ダブリン分校(ダブリン)	健康・農業・学部	国际感染症症候群	S	2019. 4.16
イタリア共和国	アイルランド大学・ダブリン分校(ダブリン)	社会科学・法学部	法学研究所・法学部	S	2018. 3.7
イタリア共和国	タブリソウ工科大学(タブリソウ)	医学部	工学研究院・工学院・工学部	A	2015. 3.23
カザフスタン共和国	ヴェローナ大学(ヴェローナ)	食科学大学(アントラ)	医学研究院・医学院・医学部	A, S	2017.12.21
カザフスタン共和国	聖アントニオ高等師範学校(ビサ)	経済学部・生命科学部	農学研究院	A	2015. 3.1
カザフスタン共和国	トリノ大学(トリノ)	農学・森林科学及び食品科学部	理学研究院・理学院・生命科学院	A, S	2016. 8.7
カザフスタン共和国	ハドワ大学(ハドワ)	政治学・法律学・国際学	地球環境科学研究院・環境科学院	A, S	2017.10.26
カザフスタン共和国	ハドワ大学(ハドワ)	哲学・社会学・教育学・応用心理学部	法医学研究所	A	2017.11.21
カザフスタン共和国	ピサ大学(ピサ)	数学部	文学研究科・文学院	A, S	2017. 6.19
カザフスタン共和国	ピサ大学(ピサ)	生物学部	理学研究院・理学院	A, D	2018.12.5
カザフスタン共和国	ピサ大学(ピサ)	生化生物学部	理学研究院・理学院・理学部	A, S	2015. 6.9
カザフスタン共和国	ピサ大学(ピサ)	農学・食品・環境学部	理学研究院・理学院・生命科学院	A, S	2016. 8.24
カザフスタン共和国	ピサ高等師範学校(ピサ)	理学部・数学科	理学研究院・理学院	A, S	2015. 9.29
カザフスタン共和国	ローマ・マテルトルルガータ校(ローマ)	数学部・数学科	理学研究院・理学院	A, S	2017. 7.20
カザフスタン共和国	ローマ・マテルトルルガータ校(ローマ)	数学科	理学院	D	2018.10.23
カザフスタン共和国	アルフアラビ・カザフ国立大学(アルマティ)	理工学研究科	理学院	D	2012. 2.29
カザフスタン共和国	アルフアラビ・カザフ国立大学(アルマティ)	理工学研究科	医学研究院・医学院・医学部	C	2019.12.28
リトアニア共和国	カザフスカイ立教大学(アルマティ)	大学院	理学研究院	A	2009.11.19
オランダ王国	ヴィンターダース・マックス・プランク農業アカデミー(カウナス)	農学部	農学研究院・農学院・農学部	A, S	2015. 9.18
北マケドニア共和国	アントホーフ・フェン工科大学(アントホーフ)	化学生物・化学科	触媒科学研究所	A	2018. 8.7
北マケドニア共和国	ライデン大学(ライデン)	東欧法語・ロシア研究所	スラフ・ユーラシア研究センター	A	1994. 1.17
北マケドニア共和国	マケドニア学園(スコピエ)	地域言語研究センター・ボジタル・ヴィドエスキ	スラフ・ユーラシア研究センター	A	2017. 2.13
北マケドニア共和国	ヨーロッカレッジ(マムノワ)	公共政策学教育部	公共政策学教育部	A, S	2020. 2.7
ノルウェー王国	オスロ大学(オスロ)	数学部・自然科学部	環境科学院・環境科学研究所・低温科学研究所	S	2016.12.19
ノルウェー王国	オスロ大学(オスロ)	数学部・自然科学部	環境科学院・環境科学研究所	A	2017. 7.13
ノルウェー王国	オスロ大学(オスロ)	地球科学部	環境科学院・環境科学研究所	A	2015. 2.16
ノルウェー王国	トロムソ大学(トロムソ)	サーミ研究センター	アイソ・先住民族研究センター	A	2010. 8.5
ノルウェー王国	ナンセン環境リモートセンシングセンター(ベルゲン)	北極域研究センター	北極域研究センター	A	2018. 2.28
ノルウェー王国	ノルト大学(ノルト)	極北ビジネス・カバナンス研究センター	極北ビジネス・カバナンス研究センター	A	2017.12.12
ポーランド共和国	AGH科学技術大学(クラクフ)		工学院	D	2010. 7.6
ポーランド共和国	AGH科学技術大学(クラクフ)		総合化学院	D	2011.11.22
ポーランド共和国	ヴァルミア・マズールィ大学(オルシシン)	水産科学研究所	水産科学研究所	A	2015.11.9
ポーランド共和国	ウツジ工科大学(ウツジ)	織維学部	理学部	A	1992. 3.19
ポーランド共和国	グニニスク大学(グニニスク)		触媒科学研究所	A	2013. 2.1
ポーランド共和国	グニニスク大学(グニニスク)		触媒・表面化学研究所	A	2016. 6.29
ポーランド共和国	グニニスク工科大学(グニニスク)		触媒科学研究所	A	2010. 3.18
ポーランド共和国	西ポーランドアグリコ工科大学(シエチエチン)	無機化学・環境工学研究所	理学研究所	A	2010. 3.17
ポーランド共和国	ボーランド科学アカデミー(クラクフ)	触媒・表面化学研究所	理学研究所	A	2010. 3.15
ポーランド共和国	ボーランド科学アカデミー(ワルシャワ)	数学研究所	理学研究所	A	2003. 9.26
ポーランド共和国	ボーランド科学アカデミー(ワルシャワ)	動物生殖・食品研究所	理学院	D	2018. 5.17
ポーランド共和国	ヤギエボ大学(クラクフ)	化学生物	水産科学研究所	A	2016. 3.4
ポーランド共和国	ワルシャワ経済大学(ワルシャワ)	触媒科学研究所	経済学研究院・経済学部	A, S	1989. 3.14
ポーランド共和国	アルガルヴェ大学(ファロ)	理工学部	理学研究院・理学院・理学部	A, S	2015. 3.24
ポーランド共和国	リスボン新大学(リスボン)	化学生物技術研究所	低温科学研究所	A	2019. 2.5
ロシア連邦	アルハンブルク大学(北東邦大学)(アルハンブルグ)		北極域研究センター	A	2018. 5.19
ロシア連邦	イルクーツク工科大学(イルクーツク)		総合博物館	A	2011. 6. 1
ロシア連邦	カムチャッカ工科大学(ベトロバロフスク・カムチャッキー)		総合博物館	A	2010. 8.20
ロシア連邦	カムチャッカ工科大学(エリヌタ)		文学研究科	A	2015. 6. 5
ロシア連邦	カムチャッカ工科大学(エリヌタ)		スラフ・ユーラシア研究センター	A	2012. 7.30

国・地域名	協定大学等名(所在地)	部局等名	本学の締結部局	交流内容	締結年月日
ロシア連邦	極東海洋気象研究所(ワラジオストク)	経済学・社会工学研究所	低温科学研究所	A	2013.3.27
	國立カザニ・エネルギー大学(タタリスタン)		スラブ・ユーラシア研究センター	A	2005.1.28
	國立極東総合医科大学(ハバロフスク)		北海道大学病院	A	2014.10.20
	サハリン国立大学(ユジノサハリンスク)	教育学部	教育学研究院	A	2016.3.2
	サハリン州郷土博物館(ユジノサハリンスク)		総合博物館	A	2000.8.1
	サハリン州郷土博物館(ユジノサハリンスク)		文学研究科	A	2016.3.11
	サンクトペテルブルク建設土木大学(サンクトペテルブルク)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・情報科学院	A, S, I	2019.10.28
	太平洋国立大学(ハバロフスク)	建築デザイン研究科	工学院	C	2017.10.25
	ノボシビルスク国立大学(ノボシビルスク)		理学部	A	1993.6.18
	パワーモスクワ国立工科大学(モスクワ)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学院	A, S, I	2017.4.12
ヨーロッパ	東京造形大学(ヤーグツク)		環境科学院	S	2018.7.26
	ボレコフ触媒研究所(ボレシビルスク)		触媒科学研究所	A	2016.10.11
	ロシア科学アカデミー(モスクワ)	スラブ研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2006.6.6
	ロシア科学アカデミー(モスクワ)	東洋学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2005.10.17
	ロシア科学アカデミー(サンクトペテルブルク)	ロシア文学研究所	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2011.4.14
	極東諸民族歴史・考古学・民族学研究所		スラブ・ユーラシア研究センター	A	2019.3.6
	ロシア科学アカデミー・極東支部(ワラジオストク)	極東地質研究所	北極域研究センター	A	2016.7.25
	ロシア科学アカデミー・極東支部(ワラジオストク)	生物学土壤地質研究所	理学部	A	2013.10.14
	ロシア科学アカデミー・極東支部(ワラジオストク)	太平洋地理研究所	低温科学研究所	A	2014.3.7
	ロシア科学アカデミー・極東支部(マガダン)	北極総合科学研究所	文学研究科	A	2015.7.24
スペイン王国	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(クラスノヤルスク)	V.N.スカチエ森林研究所	北方生物圏フィールド科学センター	A	2005.3.12
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	寒冷圈生物圏研究所	地球環境科学研究院・農業研究院	A	2008.12.2
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	凍土圈生物圏研究所	北極域研究センター	A	2016.7.25
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)	凍土圈生物圏研究所	文学研究科	A	2014.11.27
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)	経済・工業生産組織研究所	経済学部	A	1990.7.30
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ノボシビルスク)	地質学・地球物理学研究所・鉱物学連合研究所	理学部	A	1992.3.10
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	北方人文科学・先住民研究所	文学研究科	A	2016.2.8
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	北方人文科学・先住民研究所	北極域研究センター	A	2016.8.18
	ロシア科学アカデミー・シベリア支部(ヤクーツク)	メリニコフ永久凍土研究所	北極域研究センター	A	2016.6.24
	ロシア国立モスクワ教育大学(モスクワ)	教育学部	教育学部	A	1995.8.3
スウェーデン王国	スバイエン高等学術研究院(マドリード)		低温科学研究所	A	2016.1.19
	生物医学研究所(ハビセロナ)		先端生命科学研究院・生命科学院	A, S	2018.12.17
	オーバーラ大学(パンコーナ)		医学研究院・医学院・医理工学院・北海道大学病院	A, S	2019.4.30
	バルセロナ大学病院(バルセロナ)		北海道大学病院	A	2016.9.8
	バルセロナ大学(バルセロナ)		医学研究院・医学院・医学部	A, S	2016.2.2
	バルセロナ大学・ホタル・観光学院(バルセロナ)		メティアニ・ヨーニ・ニケーション研究院・国際広報メディア・観光学院・観光学高等研究センター	A	2017.6.1
	ハレンシア工科大学(ハレンシア)		工学研究院・工学院	A, S	2006.1.9
	ムルシア大学(ムルシア)		獣医学研究科	A	2016.5.2
	イエーボリ大学(エーテボリ)	経営・経済・商法学部	経済学研究科・経済学部	A, S, D	1996.10.28
	カロリナスカ研究所(ストックホルム)	臨床神経科学部門	先端生命科学研究院・生命科学院	A, S	2018.2.8
スイス連邦	カロリナスカ研究所(ストックホルム)	理学部	低温科学研究所	A	2010.9.20
	スティックホルム大学(ストックホルム)	理工学部	工学研究院・工学院・工学部・総合化学院	A, S	2000.8.24
	リンツェービン大学(リンツェービン)		工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学院	A, S	2016.3.8
	西スイス応用科学大学(ドレーモン)		理学研究院	A	2002.3.30
	ワクライナ	ボリューポ夫物理論理学研究所(キエフ)	スラブ・ユーラシア研究センター	A	2019.7.15
	V.G.コロレンコ記念ボルタワ国立教育大学(ボルタワ)	英語・世界文学学習法研究教育センター	獣医学部	A, S	2009.7.24
	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医学部	獣医学部	C	2018.3.21
	エジンバラ大学(エジンバラ)	獣医学部	遺伝子病制御研究所	A	2019.10.1
	オックスフォード大学(オックスフォード)	ナフィルド臨床医学部	薬学研究院・薬学生・生命科学院	A	2018.7.16
	オックスフォード大学(オックスフォード)	東アジア考古学・芸術・文化センター	アイヌ・先住民研究センター	A	2013.10.18
英國	オックスフォード大学(オックスフォード)	理工学部	ロシア・ユーラシア研究センター	A	2004.3.12
	グラスゴー大学(グラスゴー)		電子科学研究所	A	2013.11.20
	サセックス大学(ブリストン)	人文科学学部	文芸研究科	A, S	2015.3.31
	マンチェスター大学(マンチェスター)	教育・社会学・法医学研究科	教育学院	A, S	2009.12.9
	リーズ大学(リーズ)		文芸研究科	A	2006.12.11
	ロンドン大学(ロンドン)	東洋アフリカ学院	遺伝子病制御研究所	A, S	2015.1.26
	ロンドン大学(ロンドン)		経済学研究科	A	2015.7.8
	ウズベキスタン共和国	ユニアシティ・カレッジ・ロンドン・MRC-LMCB研究所	経済学研究科	A	2015.12.1
	カナダ	フレーバーリエス・エクスポート(エーパンクス)	工学部	I	2017.12.5
	カナダ大学・フェアバンクス校(フェアバンクス)	水産・海洋学部	水産学部	A	2008.5.10
アメリカ合衆国	カナダ大学・フェアバンクス校(フェアバンクス)	人文学部	文芸研究科	A	2019.9.18
	トロント大学ミシサガ校(ミシサガ)	水産科学センター	水産科学部	S	2011.3.1
	フリーダイクス・ヨンカコ校(ヨンカコ)		経済学研究科	A, S	2001.10.15
	マクマスター大学(ハミルトン)	マイケル・G.デグローテ経営大学院	総合化学生命科学研究所	D	2016.4.15
	モントリオール大学(モントリオール)	医学部	北極域研究センター	A	2016.8.30
	アラバマ大学・フェアバンクス校(フェアバンクス)	国際北極研究センター	水産学部	A	1986.9.12
	アラバマ大学・フェアバンクス校(フェアバンクス)	人文学部	文芸研究科	A, S	2015.4.7
	アリゾナ大学(ソーソン)	東アジア考古学・芸術・文化センター	地球環境科学研究所	A	1993.7.14
	アリゾナ大学・シカゴ校(シカゴ)	理工学部	医学研究科・医学部	A	2016.2.15
	ワシントン大学(マディソン)	ロード・スクール	法医学部	A	1999.6.1
北米	オクラホマ大学(オクラホマ)	法科大学院附属先住民法研究センター	法医学部	A	2012.10.25
	オクラホマ大学(オクラホマ)	オクラホマ大学(オクラホマ)	歯学部	A	1974.1.1
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(サンディエゴ)	人文学部	地質環境科学研究所・環境科学院	A	2016.3.17
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(サンディエゴ)	農業・環境学部	農業研究院・農学院・保健科学研究所・保健科学院	A, S	2016.6.2
	コースル大学(イサカ)	歯医学部	歯医学研究所・歯医学院・歯医学部	A, I	2013.3.25
	国立音楽・頸蓋顎筋研究所(セセスマ)	Chironi研究室	遺伝子病制御研究所	A	2018.3.31
	コロド立山大学(ゴールデン)	地質科学・資源工学部	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学生命科学研究所	A, S	2019.1.11
	コロド立山大学(ゴールデン)	歯医学研究所・歯医学部	歯医学研究所・歯医学部	I	2019.2.12
	コロド立山大学(ゴールデン)	遺伝子病制御研究所	遺伝子病制御研究所	A	2018.10.10
	コロド立山大学(ゴールデン)	触媒科学研究所	触媒科学研究所	A	2016.6.20
南米	カナダ	ヒューリックス研究所(ヒューリックス)	触媒科学研究所	A	2016.11.12
	アメリカ合衆国	コロド立山大学(ゴールデン)	触媒科学研究所	A	2011.8.23
	南米	チリ大学(タラル)	触媒科学研究所	A	2015.1.12
	南米	タラル大学(タラル)	触媒科学研究所	A	2015.8.12
	南米	タラル大学(タラル)	触媒科学研究所	A	1992.11.4
	南米	ハーバード大学(ケンブリッジ)	ロシア・ユーラシア研究センター	A	2014.4.26
	南米	ハーバード大学(ケンブリッジ)	サイエンス学部	A	2017.2.6
	南米	ハーバード大学(ボートラン)	化学科	A	1989.12.12
	南米	マサチューセッツ大学(マサチューセッツ)	教育学部	A	2014.8.4
	南米	マサチューセッツ大学(マサチューセッツ)	生物医学科	L	2016.5.10
中東	南米	マサチューセッツ大学(マサチューセッツ)	生物医学研究科	A, S	2018.8.20
	南米	マサチューセッツ大学(マサチューセッツ)	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A, I	2013.1.22
	南米	コタ大学(ブルトレイモア)	地球環境科学研究所・環境科学院	A	2013.12.22
	南米	コタ大学(ブルトレイモア)	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学生命科学研究所	A, I	2015.10.19
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	水産科学研究所・水産科学院・水産学部	A	1988.6.24
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	農学研究院・農学院・農学部	A, S	2001.5.10
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016.6.29
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学生命科学研究所	A, S, I	2016.9.7
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2016.7.20
	南米	ラバーブ大学(ラバーブ)	医学部	A	2011.10.24
アフリカ	南米	UAEアラブ首長国連邦	医学部・医学保健科学部	A, S	2016.11.7
	アフリカ	ブルキナファソ	工学研究院・工学院	A, S	2010.1.26
	アフリカ	エジプト・アラブ共和国	歯医学部	A	2012.3.6
	アフリカ	エジプト・アラブ共和国	医学部	A, S	2020.2.17
	アフリカ	ガーナ共和国	理学部	A	2013.7.26
	アフリカ	モロッコ王国	水産科学研究所	A	2019.2.22
	アフリカ	モザンビーク共和国	工学研究院・工学院・工学部・情報科学研究院・総合化学生命科学研究所	A, S, I	2018.6.27
	アフリカ	スー丹共和国	工学研究院・工学院・工学部	A	2016.10.18
	アフリカ	サンビア共和国	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2011.2.6
	アフリカ	ジンバブエ共和国	人獣共通感染症リサーチセンター	A	2013.5.29
大洋間	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29
	アフリカ	ジンバブエ共和国	農業・機械・灌漑省(ハラレ)	A	2013.5.29

○大学間交流協定に基づく覚書

■国際コンソーシアムへの参加(11件) 2020年4月1日現在

名 称	参加国・大学等数	交流内容	参加部局等	参加年月日
国際学会(IAU)	120カ国640機関	学術交流	全学	1962年
国際南極学会(IAI)	14カ国27機関	学術交流／学生交流	全学	2006.7.8
国際学術コンソーシアム(Japan-Canada Academic Consortium)	2カ国20機関(日本: 10 加: 10)	学生交流	全学	2006.12.8
アジア環境大学院ネットワーク(ProSPER.Net)	14カ国47機関	学術交流／学生交流	全学	2008.6.21
アジア太平洋大学交流機構(UMAP)	35カ国・地域570機関	学術交流／学生交流	全学	2009年
フランクフルトナーベットナム対異点ネットワーク(GDRI)	3カ国11機関(日本: 4 仏: 6 越: 1)	学術交流／学生交流	理学研究院	2011.1.1
北極圏大学(UArctic)	24カ国200機関	学術交流／学生交流	全学	2011.6.8
アセアン教育ネットワーク(ASEAN-FEN)	9カ国19機関	学術交流／学生交流	水産科学研究院	2016.10.31
日本・スウェーデンMIRAIプロジェクト	2カ国20機関(日本: 10 瑞: 10)	学術交流／学生交流	全学	2017年
21世紀海上シルクロード連盟(UCMSR)	18カ国67機関	学術交流／学生交流	全学	2018.10.20
国際原子力機関(IAEA)と国内大学・医療機関コンソーシアム	2カ国12機関(日本: 11 境: 1)	学術交流	医学研究院・医学院・医学部	2018.11.18

現代日本学プログラム課程

Modern Japanese Studies Program



現代日本学プログラム課程は、外国人留学生を対象としたバイリンガル（日本語・英語）の学士課程プログラムで、2015年度に創設された。日本学という地域ベースの研究と、文学、教育学、法学、政治学、経済学等の現代日本社会に係る専門分野の研究との融合を学術的特色としながら、次の4つをカリキュラムの基本方針としている。

- ・日本語習得のための集中的プログラム
- ・日本研究と専門的学問との相互交錯カリキュラム
- ・日本人学生とともに学ぶ環境
- ・多文化の北海道からの日本発見

日本語及び英語を高度に運用する能力並びに日本社会に関する深い知識を有し、日本のよき理解者として国際社会において中核的な役割を担う人材の育成を目的としており、所定の単位を修得し、卒業認定された学生には、学士（学術）の学位が授与される。



Integrated Science Program



Integrated Science Program (ISP) は、外国人留学生を対象とした英語による理系学士・修士課程プログラムで、2017年度に創設された。学士課程では、入学後半年間で理系分野に関する幅広い知識を身につけ、その後理学部の物理、化学、生物科学（生物学専修分野）から学生本人の希望と成績により所属する学科が決定され学びを深める。修士課程では、自身の興味に基づき、専門分野での研究をさらに進めることができる。学士・修士課程を通して、軸となる理系科目の講義は英語で実施されることに加え、人文社会科学を含む多様な教養科目や、初級日本語クラスの他にビジネススキル科目、リーダーシップ・マネジメント科目も履修できるよう設定されている。ISPでは、国際的に活躍するために必要な専門的能力及びリーダーとしての資質を備えた理系の人材育成を目指している。



Hokkaido サマー・インスティテュート

Hokkaido Summer Institute

Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI) は、北海道大学に世界の第一線で活躍する優れた教育研究業績や活動歴を有する研究者を招へいし、本学教員と協働で教育活動を実施するプログラムとして、2016年度に創設された。毎年6月から9月の夏季期間を中心に、アクティブ・ラーニング型の授業や広大な北海道の地を活かしたフィールド実習等、グローバル人材育成に資する先端的かつ魅力的な授業100科目以上を英語で実施し、短期サマープログラムとして延べ400人以上の海外大学学生を受け入れている。同時に、これらの授業は本学の学生も受講可能であり、1,200人以上の本学の学生が受講している。本プログラムは、年々その規模を拡大して実施しており、本学の教員・学生と海外研究者との交流機会を創出するだけでなく、本学の学生が多様な文化的・社会的背景を持つた学生と共に学修することにより、異文化理解力・語学力及びコミュニケーション能力を向上させ、国際性を涵養する機会をも提供している。



キャンパス内の実習風景



海外からの招へい研究者による授業



キャンパス内のHSI開催中バナー

海外ラーニング・サテライト

Learning Satellite

本事業は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業の本学採択構想「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ (HUCI)」における教育プログラムの1つとして、「創基150年に向けた近未来戦略(近未来戦略150)」に掲げるビジョン「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」の達成に向けて、本学及び海外大学の学生等を対象に、世界を教育フィールドとして授業科目を実施するものである。

世界各地において海外の学生との共修環境を提供する多様なプログラムを通じて、世界の課題解決に貢献する人材を育成するとともに、海外大学の教員との協働による本学の教育の国際通用性や質の向上を目的としており、さらにはダブル・ディグリーやコチュテル等の共同教育への発展や、共同研究への展開を目指している。



食・健康・医療に貢献するカロリンスカ研究所ジョイント先端顕微鏡講習コース



南極学カリキュラム・スイス氷河実習

海外拠点

2020年4月1日現在

■業務内容

- 海外の諸大学との留学生及び研究者の交流を促進するために、情報を収集し提供する。
- 本学の入学試験に関する広報。
- 大学院入学者選抜のための面接試験などの実施。
- 留学生などの受け入れに関する連絡調整。
- 本学教職員の教育研究などの活動支援。
- 帰国した本学の元留学生、海外に赴任している本学の卒業生などによる本学同窓会の活動支援。
- 日本の国内企業と海外の大学などの産学連携への支援。

■韓国ソウルオフィス

設立	2011年
所在地	大韓民国ソウル特別市 703, Handuk Building, 11, Teheran-ro 7-gil, Gangnam-Gu, Seoul, Korea 06134
Tel	+82-2-501-9400
Fax	+82-2-501-9410
E-mail	seouloffice@hokudai.kr
開館時間	平日9:00～17:00 土・日曜日、韓国における祝日は休館。
ウェブサイト (日本語・韓国語)	http://www.hokudai.kr/



■アフリカルサカオフィス

設立	2012年
所在地	ザンビア共和国ルサカ市 (ザンビア大学内) c/o Department of Disease Control, School of Veterinary Medicine, University of Zambia (Great East Road Campus), P.O. Box 32379, Lusaka 10101, Zambia
Tel	+260-974-038329
E-mail	lusaka_office@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00～12:00、13:00～16:30 土・日曜日、ザンビアにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	http://www.hokkaido-university-lusakaoffice-zm.com/



■中国北京オフィス

設立	2018年
所在地	中華人民共和国北京市(株式会社GES北京事務所内) c/o Room 2004 building 10, Jianwai SOHO west, NO. 39 East Third Ring, Chaoyang District, Beijing, 100062, P. R. China
E-mail	china@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00～18:00 土・日曜日、中国における祝日は休館。



■タイリエゾンオフィス

設立	2017年
所在地	タイ王国ナコーンパトム県カンベンセン (カセサート大学カンベンセンキャンパス内) c/o Faculty of Agriculture at Kamphaeng Saen, Kasetsart University, Kamphaeng Saen, Nakhon Pathom 73140, Thailand
E-mail	shomu@agr.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00～17:00 土・日曜日、タイにおける祝日は休館。



■ASEANハノイオフィス

設立	2019年
所在地	ベトナム社会主义共和国ハノイ市 (ベトナム国家大学ハノイ校科学大学内) Office 423, T1 Building, VNU University of Science, 334 Nguyen Trai St., Thanh Xuan district, Hanoi, Vietnam
E-mail	hu_hanoi@hus.edu.vn



■北米ポートランドオフィス

設立	2019年
所在地	アメリカ合衆国ポートランド市 (ポートランド州立大学内) Office of International Affairs, Portland State University, 615 SW Harrison St. Suite 630, Portland, Oregon 97207, USA
E-mail	hu.psu@pdx.edu



■欧州ヘルシンキオフィス

設立	2012年
所在地	フィンランド共和国ヘルシンキ市 (ヘルシンキ大学内) Fabianinkatu 26, 00100 Helsinki, Finland
Tel	+358-44-2410608
E-mail	helsinki_office@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	平日9:00～11:00、13:00～16:30 土・日曜日、フィンランドにおける祝日は休館。
ウェブサイト (英語)	http://www.hokudai.fi/



■ロシアモスクワオフィス

設立	2019年
所在地	ロシア連邦モスクワ市(モスクワ国立大学内) Office 249, 1-Y Gum. Korpus, 1-51 Leninskie Gory, Moscow, Russian Federation, 119991
Tel	+7-495-939-5747
E-mail	moscow_office@oia.hokudai.ac.jp
開館時間	9:00～17:00 土・日曜日、ロシア連邦における祝日は休館。
ウェブサイト (日本語・ロシア語・英語)	https://www.moscowjointoffice.ru/



■中国北京リエゾンオフィス

設立	2018年
所在地	中華人民共和国北京市 (中国科学院大学内) c/o Sciences, Yuquanlu Campus, 19A Yuquan Rd, Shijingshan District, Beijing, 100049, P. R. China
E-mail	china@oia.hokudai.ac.jp



寄附講座・産業創出講座等

2020年4月1日現在

■寄附講座等

(設置数: 27)

寄附講座等設置部局	設置数
理学研究院	1
保健科学研究院	4
工学研究院	5
医学研究院	11
北海道大学病院	5
数理・データサイエンス教育研究センター	1
合 計	27

■産業創出講座等

(設置数: 24)

産業創出講座等設置部局	設置数
薬学研究院	1
農学研究院	2
先端生命科学研究院	1
医学研究院	3
獣医学研究院	1
電子科学研究所	1
人獣共通感染症リサーチセンター	1
产学・地域協働推進機構	14
合 計	24

公開講座等

2020年4月1日現在

2019年度実績

■公開講座【教養型】(全学企画)

主催	講座名	受講者数
北海道大学	いま感じる、生かす、見つめなおす スポーツの力	486人

■公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
文学研究院	再 一くりかえす世界—	727人
法学研究科	外国人の流入と日本社会の変容	307
水産科学研究院	海をまるごとサイエンス！	109
地球環境科学研究院	生物の「変化」：理由、メカニズム、そして影響	69
理学研究院附属地震火山研究観測センター	北海道の地震と防災	70
	注意の生涯発達心理学	27
教育学研究院	発達臨床セミナー WISC-IVによる心理アセスメントの基礎を学ぶ 発達臨床セミナーⅡ 発達障害の当事者研究と自己理解支援	24 47
メディア・コミュニケーション研究院	ロシアとロシア人のアイデンティティ 観光とメディアの新たな出会い	48 44
保健科学研究院	ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ	62
経済学研究院	経済成長を歴史から問う	48
	家庭でできる救急救命処置 —AEDの使い方—	9
北海道大学病院 看護部	家庭でできる尿漏れ予防体操 家庭でできる小児救急看護	5 7
北海道大学病院 検査・輸血部	第13回北海道大学病院 検査・輸血部 市民フォーラム	137
北海道大学病院臨床研究開発センター	市民公開講座「免疫の力でがんと闘う」	101
低温科学研究所	広がる低温の魅力～低温科学の最前線～	235
農学研究院	時計台サロン 農学部に聞いてみよう 市民公開・農学特別講演会「農と食が創る持続的な社会」	438 87
観光学高等研究センター	軍の記憶と戦後	44
スラブ・ユーラシア研究センター	再読・再発見：スラブ・ユーラシア地域の古典文学と現代	257
医学研究院	第6回心臓移植市民公開講座	113
アイソトープ総合センター	アイソトープ利用研究会	1
人獣共通感染症リサーチセンター	感染症の克服に向けて	65
情報科学研究院	人工知能とビッグデータ	74

■公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主催	講座名	受講者数
薬学研究院	北海道大学薬学部生涯教育特別講座 夏季講演会 北海道大学薬学部生涯教育特別講座 秋季講演会	75人 93
公共政策学連携研究部	地方議員向けサマースクール 地方公務員向けサマースクール	57 27

■大学等地域開放特別事業等

主催	講座名	受講者数
北方生物圏フィールド科学センター	苦小牧研究林森林資料館一般開放講座 親子木工教室 森のたんけん隊 一古座川編一 森のたんけん隊 最北のエゾシカ調査ツアー 冬の植物園 ウオッティング・ツアーアー もっと知ろう！北海道のアズマヒキガエル ~科学で明らかにするその影響~ 国内外来種アズマヒキガエル ~科学と市民活動~	333人 28 18 30 9 0(中止) 0(延期) 0(延期)

産学官連携・研究支援

■北大リサーチ&ビジネスパーク構想に関する地域連携協定 (2020年4月1日現在) 1協定

相手方	協定締結年月日
北海道・札幌市・北海道経済連合会・北海道経済産業局	2004年 7月30日

■北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定 (2020年4月1日現在) 4協定

相手方	協定締結年月日
北見工業大学	2009年 6月4日
酪農学園大学	2009年 6月4日
室蘭工業大学	2009年10月5日
公立はこだて未来大学	2012年 2月1日

■広報活動に関する連携プログラム協定

(2020年4月1日現在) 1協定

相手方	協定締結年月日
北海道テレビ放送株式会社	2017年 3月29日

■地域創生に関する連携協定 (2020年4月1日現在) 1協定

相手方	協定締結年月日
株式会社セコマ	2018年 4月23日

■大学発ベンチャー

北大発ベンチャー 50社
(経済産業省調査「令和元年度産業技術調査(大学発ベンチャー実態等調査)」より)

北大発認定ベンチャー 24社 (2020年3月31日現在)
(北海道大学の認定制度による認定数)

■国際協力に関する協定等 (2020年4月1日) 2協定

相手方	協定締結年月日
泥炭地回復府(インドネシア)	2016年 8月10日
農業・協同組合省(タイ)、 地理情報・宇宙技術開発機関(タイ)	2018年 7月31日

■地域との産学官金連携等に関する協定等

(2020年4月1日現在) 6協定

相手方	協定締結年月日
一般社団法人北海道中小企業家同友会産学官連携研究会HoPE	2010年 6月30日
大地みらい信用金庫	2011年10月 5日
特定非営利活動法人グリーンテクノバンク	2013年10月21日
株式会社道銀地域総合研究所	2013年11月20日
岩見沢市、全国健康保険協会北海道支部、空知信用金庫	2018年 4月 1日



■法人保有特許等 (2020年4月1日現在)

特許

部局名	保有件数	
	国 内	海 外
アイソトープ総合センター	6 (6)	10 (10)
遺伝子病制御研究所	7 (0)	4 (0)
産学・地域協働推進機構	2 (2)	0 (0)
触媒科学研究所	16 (12)	16 (13)
人獣共通感染症リサーチセンター	6 (4)	31 (31)
医学研究院	15 (8)	28 (21)
公共政策学連携研究部	2 (2)	0 (0)
工学研究院	140(105)	46 (40)
歯学研究院	1 (1)	0 (0)
獣医学研究院	5 (5)	19 (10)
情報科学研究院	131 (95)	80 (54)
水産科学研究院	10 (6)	0 (0)
先端生命科学研究院	32 (15)	21 (4)
地球環境科学研究院	8 (4)	0 (0)
農学研究院	17 (13)	21 (21)
保健科学研究院	12 (5)	15 (2)
薬学研究院	16 (8)	35 (24)
理学研究院	9 (4)	7 (4)
電子科学研究所	24 (3)	3 (1)
北海道大学病院	1 (0)	0 (0)
北方生物圏フィールド科学センター	6 (3)	1 (0)
量子集積エレクトロニクス研究センター	10 (3)	6 (0)
該当部局無し	206(144)	136(118)
計	682(448)	479(353)

※()数字は共同出願件数で内数

(海外内訳)

国名等	保有件数
インド共和国	3 (3)
シンガポール共和国	3 (3)
タイ王国	1 (0)
マレーシア	1 (1)
中華人民共和国香港特別行政区	6 (6)
台湾	10 (10)
大韓民国	17 (13)
中華人民共和国	38 (31)
オーストラリア共和国	8 (8)
英國	52 (35)
イタリア共和国	8 (5)
オーストリア共和国	2 (2)
オランダ王国	15 (12)
スイス連邦	10 (10)
スウェーデン王国	3 (3)
スペイン王国	8 (6)
デンマーク王国	4 (4)
ドイツ連邦共和国	59 (39)
トルコ共和国	3 (2)
ノルウェー王国	1 (1)
フィンランド共和国	1 (1)
フランス共和国	54 (35)
ベルギー王国	7 (6)
ポーランド共和国	1 (0)
ボルトガル共和国	1 (1)
アメリカ合衆国	150(104)
カナダ	9 (9)
メキシコ合衆国	1 (0)
ロシア連邦	1 (1)
イスラエル国	2 (2)
計	479 (353)

※()数字は共同出願件数で内数

意匠登録

部局名	保有件数
工学研究院	1
総合博物館	1
計	2

商標登録

部局名	保有件数
サステイナブルキャンバスマネジメント本部	1
学務部	1
観光学高等研究センター	3
経済学研究院	2
高等教育推進機構	2
国際部	3
産学・地域協働推進機構	12
工学研究院	2
法学研究科	1
北海道大学病院	2
計	29

品種登録

部局名	保有件数
産学・地域協働推進機構	4
計	4

■教職員等のJICA(国際協力機構)専門家及び調査団員としての派遣 (2019年度)

派遣形態	派遣期間	派遣人数
専門家	数日～8日間	4名
調査団員	数日～2週間	24名

■JICA(国際協力機構)研修員受入れ (2019年度)

長期研修

コース名	留学生受入期間	受入れ人数
アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)	2年半～3年	12名
アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(AUN/SEED-Net)	3年～3年半	5名
太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS)	2年～3年	2名
資源の絆プログラム ほか	2年～5年半	12名
新留学生プログラム (イノベータ・アジア18名、健康危機プログラム6名、ほか10名)	2年～4年	34名

国別研修

コース名	研修期間	受入れ人数
AUN/SEED-Net 国別短期研修コース	—	—
CIE3	60日	1名
EEE4	180日	1名
イノベータ・アジア 国別短期研修コース	—	—
獣医学	32日	2名
環境科学	14日	7名

課題別研修

コース名	研修期間	受入れ人数
水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	33日	8名

■研究員の採用・受入れ (2019年度)

区分	資 格	採用・受入れ人数(人)	
非常勤研究員	PD	22	
博士研究員	PD	159	
特別研究員 (日本学術振興会)	DC1	33	85
	DC2	44	
	PD	5	
	SPD	0	
	RPD	3	101
外国人特別研究員 (日本学術振興会)	PD	16	
合 計		282	

教育・研究プログラム

2020年10月1日現在

■研究大学強化促進事業（研究大学強化促進費補助金）

年度	事業名	補助事業者
2013～2022年度	研究力強化実現構想～世界の課題解決に貢献する北海道大学へ～	総長 實金 清博

■スーパーローバル大学創成支援事業（国際化拠点整備事業費補助金）

年度	事業名	実施責任者
2014～2023年度	Hokkaidoユニバーサルキャンバス・イニシアチブ～世界に開かれ世界と協働～ タイプA：トップ型	総長 實金 清博

■大学の世界展開力強化事業（国際化拠点整備事業費補助金）

年度	事業名	事業推進責任者
2017～2021年度	持続可能な輸送システムと社会インフラ構築のための国際共同研究力育成プログラム(STSIプログラム)	工学研究院・工学院・工学部国際交流室長 長野 克則
2017～2021年度	日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム(HaRPプログラム)	理事・副学長 横田 篤

■科学技術人材育成費補助事業（科学技術人材育成費補助金）

年度	事業名	代表者
2016～2020年度	卓越研究員事業	総長 實金 清博
2018～2022年度	データ関連人材育成プログラム	総長 實金 清博
2019～2021年度	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)	総長 實金 清博

■先端研究基盤共用促進事業（共用プラットフォーム形成支援プログラム）

年度	事業名	機関代表者
2016～2020年度	原子・分子の顕微イメージングプラットフォーム	総長 實金 清博

■橋渡し研究戦略的推進プログラム（医療研究開発推進事業費補助金）

年度	代表機関	分担機関	補助事業課題名	申請者
2017～2021年度	北海道大学	札幌医科大学、旭川医科大学	新規医療技術の持続的創出を実現する オープンアクセス型拠点形成	総長 實金 清博

■医療技術実用化総合促進事業（医療研究開発推進事業費補助金）

年度	補助事業課題名	申請者
2018～2020年度	安全性確保に立脚した新規医療技術開発推進に関する研究	総長 實金 清博

■ナノテクノロジープラットフォーム（科学技術試験研究委託事業）

年度	事業名	機関代表者
2012～2021年度	微細加工プラットフォーム実施機関	総長 實金 清博
2012～2021年度	微細構造解析プラットフォーム実施機関	総長 實金 清博

■革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)

年度	拠点名	拠点長
2013～2021年度	『食と健康の達人』	プロジェクトリーダー 株式会社日立製作所 吉野 正則 リサーチリーダー 医学研究院 教授 玉腰 晓子

■地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

年度	プログラム名	研究代表者
2016～2021年度	ザンビアにおける鉛汚染のメカニズムの解明と健康・経済リスク評価手法および予防・修復技術の開発	獣医学研究院 教授 石塚 真由美
2017～2022年度	フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発	理学研究院 教授 高橋 幸弘
2019～2024年度	アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の疫学に関する研究	人獣共通感染症リサーチセンター 教授 高田 礼人
2020～2025年度	モンゴル国における結核と鼻疽の制圧	獣医学研究院 教授 木村 享史

■数理及びデータサイエンスに係る教育強化支援事業

年 度	事業名	事業代表者
2017～2021年度	数理的データ活用能力育成特別教育プログラム～数理・データサイエンス教育研究センターの設置～	総長 審金 清博

■Society 5.0に対応した高度技術人材育成事業(大学教育再生戦略推進費)

年 度	事業名	事業代行者
2018～2022年度	未来価値創造人材育成プログラム(a)超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業	総長 審金 清博

■卓越大学院プログラム(大学教育再生戦略推進費)

年 度	プログラム名	プログラムコーディネーター
2018～2024年度	One Health フロンティア卓越大学院	獣医学研究院長 堀内 基広

■世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)

年 度	拠点名	拠点長名
2018～2027年度	化学反応創成研究拠点(iCReDD)	教授 前田 理

■国立大学経営改革促進事業(国立大学改革強化推進補助金)

年 度	事業名	事業推進代表者
2019～2021年度	知のフロンティアを切り拓きイノベーションとその社会実装を先導する研究大学として開花するための経営改革～IRデータをエビデンスとするシェアド・ガバナンスの実現～	総長 審金 清博

■共同利用・共同研究拠点 8拠点

年 度	研究施設名	研究分野	共同利用・共同研究拠点名	備考
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	低温科学研究所	低温科学	低温科学研究拠点	単独型
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	遺伝子病制御研究所	医学	細菌やウイルスの持続性感染により発生する感染癌の先端的研究拠点	単独型
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	触媒科学研究所	触媒科学 サステナブル触媒工学	触媒科学研究拠点	単独型
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	スラブ・ユーラシア 研究センター	地域研究(人文・社会系)	スラブ・ユーラシア地域研究にかかる拠点	単独型
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	人獣共通感染症リ サーチセンター	人獣共通感染症学	人獣共通感染症研究拠点	単独型
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	電子科学研究所	物質・デバイス領域	物質・デバイス領域共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:東北大多元物質科学研究所)
2016～2021年度 (2010～2015年度からの継続認定)	情報基盤センター	計算科学 計算機科学	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関:東京大学情報基盤センター)
2016～2021年度	北極域研究センター	環境学	北極域研究共同推進拠点	(連携施設) ・情報・システム研究機構 国立極地研究所 ・国際北極環境研究センター ・海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター

■教育関係共同利用拠点 5拠点

年 度	施設名	教育関係共同利用拠点名	拠点類型
2016～2020年度	水産学部附属練習船 おしょろ丸	亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点(再認定)	練習船
2017～2021年度	北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション	フィールドを使った森林環境と生態系保全に関する実践的教育共同利用拠点(再認定)	演習林等
2017～2021年度	北方生物圏フィールド科学センター 水圈ステーション (厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所)	寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点(再認定)	臨海・臨湖実験所
2020～2024年度	北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション (臼杵水産実験所、七飯淡水実験所及び忍路臨海実験所)	食糧基地・北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点 一水圏環境・水圏生物・技術・人間活動から未来を考察できる人材育成ー(再認定)	水産実験所
2020～2024年度	高等教育推進機構(高等教育研修センター)	教職員の組織的な研修等の共同利用拠点 一教育の内部質保証を担う大学教職員の能力向上プログラムの開発ー(再認定)	大学の職員の組織的な研修等の実施機関

■共同プロジェクト拠点 4拠点

年 度	拠点名	テーマ	拠点代表者
2017～2021年度	知識メディア・ラボラトリー	高度知識情報基盤技術の研究開発(再認定)	情報科学研究院 有村 博紀
2018～2022年度	情報法政策学研究センター	情報法政策学研究(再認定)	法学研究科 中山 一郎
2019～2021年度	産学融合ライフィノベーションセンター	連続的に医薬品候補を創出する創薬拠点形成(再認定)	薬学研究院 前仲 勝実
2020～2024年度	量子トポロジー理工学教育研究センター	トポロジー理工学(再認定)	工学研究院 丹田 聰

土地・建物・船舶

2020年4月1日現在

区分	土地(m ²)	建物 (延面積m ²)
事務局	307,579	42,424
附属図書館	16,086	24,631
大学文書館	4,677	1,545
文学部		
教育学部		
法学部	25,746	36,624
経済学部		
文学部二風谷研究室	15,087	270
文学部斜里研究室	661	126
理学部		
理学院	44,327	68,094
浦河地震観測所	974	202
えりも地殻変動観測所	(えりも町等から借入)	251
南新川地震観測井施設	392	28
地震予知観測点、坑道		
井戸、検潮所	(根釧西部森林管理署等から借入)	457
有珠火山観測所	3,598	505
松前大島地震観測施設	50	
苦小牧宇宙観測施設	苦小牧研究林敷地共用	
医学部	大学病院敷地共用	54,854
保健科学院		14,009
歯学部		16,939
大学病院		103,132
薬学部	20,014	16,636
工学部	131,831	127,530
農学部	57,791	42,578
獣医学部		17,329
動物医療センター	40,859	3,070
水産学部	88,785	31,523
水産学部七重浜	7,431	334
水産学部洞爺湖	102,494	
国際広報メディア・観光学院	1,187	2,500
環境科学院	17,159	17,483
低温科学研究所	30,335	10,815
母子里融雪観測室	雨龍研究林敷地共用	107
電子科学研究所		2,919
遺伝子病制御研究所	大学病院敷地共用	5,725
情報基盤センター		7,810
アイソトープ総合センター	大学病院敷地共用	4,614
高等教育推進機構		35,828
北方生物圏フィールド科学センター	42,538	7,049
天塩研究林	223,500,856	1,892
中川研究林	180,653,586	3,121
雨龍研究林	214,868,635	1,729
苦小牧研究林	27,146,245	4,592
檜山研究林	1,014,132	569
和歌山研究林	4,484,087	977
名寄林木育種試験地	180,148	1,795
豊平試験地	939,838	37
忍路試験地		13,662
生物生産研究農場	491,855	3,799
余市果樹園	57,939	723
植物園	133,957	5,296

区分	土地(m ²)	建物 (延面積m ²)
静内研究牧場	4,633,846	5,999
洞爺臨湖実験所	15,087	717
臼尻水産実験所	4,609	1,257
七飯淡水実験所	10,915	928
忍路臨海実験所	1,416	428
厚岸臨海実験所	397,181	2,699
室蘭臨海実験所	1,300	812
創成研究機構	35,160	36,710
人獣共通感染症リサーチセンター	12,083	6,136
産学・地域協働推進機構	11,355	9,221
保健センター	福利厚生施設敷地共用	1,061
情報教育館(放送大学を含む)	高等教育推進機構敷地共用	4,029
体育施設	177,959	16,310
馬術部	19,830	474
小樽ヨット艇庫	7,629	848
茨戸艇庫	4,365	140
奥手稻山の家		119
ヘルベチヤヒュッテ		27
空沼小屋		102
無意根小屋		88
バラダイスヒュッテ	(私有地等から借入)	154
クラーク会館		9,610
福利厚生施設(3箇所)		5,772
大滝セミナーハウス		9,971
外国人研究者等宿泊施設		6,723
新外国人研究者等宿泊施設		2,940
インターナショナルハウス北8条		14,177
インターナショナルハウス北23条		6,009
寄宿舎(恵迪寮)		1,861
女子寮(霜星寮)		18,113
寄宿舎(北晨寮)・ ゲストハウスおしょろ		11,199
ファミリーハウス	大学病院敷地共用	1,345
納骨堂		529
宿舎		3,987
札幌キャンバス		23,380
札幌市内(キャンバス外)		3,188
函館市内		160
その他の地方		19,743
看護師宿舎		23
札幌市内(札幌キャンバス)		37,019
札幌市内(その他)		3,768
函館市内		39,878
その他の地方施設		6,457
総計	660,178,885	785,068
	660,178,885	31,297
	660,178,885	105,149
	660,178,885	657,185,168
	660,178,885	36,082
	660,178,885	891,596

※小数点以下四捨五入のため、総計と内訳の計が合わない場合がある

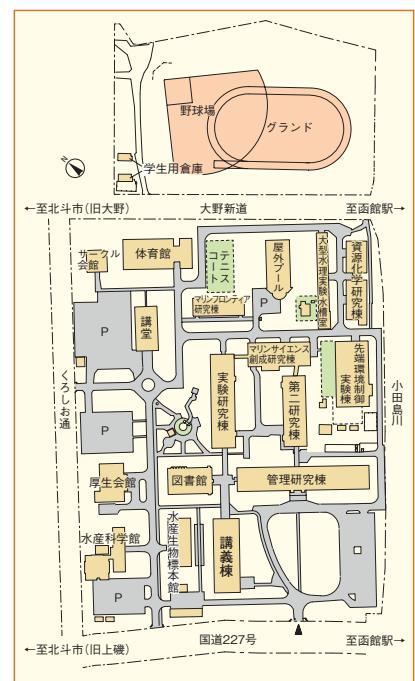
船	船	おしょろ丸	1,598トン
(主要なもの)		うしお丸	179トン

札幌キャンパス・函館キャンパス

札幌キャンパス



函館キャンパス



札幌キャンパス施設配置図



インフォメーションセンター「エルムの森」

環境やバリアフリーに配慮した建物で、下記の業務を実施

- ・大学情報・入試情報の提供
- ・企画展示
- ・北大グッズ販売（エルムの森ショップ）
- ・憩いの場の提供（カフェ・ギャラリー）

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
Tel 011-706-4680
E-mail : k-kohou@jimu.hokudai.ac.jp
開館時間：8:30 ~ 17:00
(年中無休・年末年始及び本学が定めた休日を除く)

【交通案内】

JRご利用の場合

札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着

地下鉄南北線・東豊線ご利用の場合

さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着

地下鉄南北線ご利用の場合

北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着

北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着



◇学部同じ建物の大学院は名称を省略している
◇[]は他機関の建物を示す

施設所在地一覧

2020年10月16日現在



学外オフィス

② 東京オフィス

- 教職員の活動拠点
 - 大学情報・入試情報提供の場
 - 学生の就職活動支援拠点（各種セミナー実施会場）
 - 同窓生の交流の場
- 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12
サピアタワー10階

Tel : Fax 03-3211-2055

E-mail : tokyo@general.hokudai.ac.jp

開館時間：平日10:00～18:00 土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休館。



③ 韓国ソウルオフィス（p.47 参照）

- 韓国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

大韓民国ソウル特別市

● 中国北京オフィス（p.47 参照）

- 中国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

中国北京市（株式会社 GES 北京事務所内）

● ASEAN ハノイオフィス（p.47 参照）

- ASEAN の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

ベトナム社会主義共和国ハノイ市（ペトナム国家大学ハノイ校科学大学内）

● 北米ポートランドオフィス（p.47 参照）

- 北米の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

アメリカ合衆国ポートランド市（ポートランド州立大学内）

● 欧州ヘルシンキオフィス（p.47 参照）

- 欧州の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

フィンランド共和国ヘルシンキ市（ヘルシンキ大学内）

● ロシアモスクワオフィス（p.47 参照）

- ロシアの諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

ロシア連邦モスクワ市（モスクワ国立大学内）

● アフリカルサカオフィス（p.47 参照）

- アフリカの諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等

サンビア共和国ルサカ市（サンビア大学内）

● タイリエゾンオフィス（p.47 参照）

- タイ王国ナコーンパトム県カンベンセン（カセサート大学カンベンセンキャンパス内）

● インドネシアアリエゾンオフィス（p.47 参照）

- インドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市（ボゴール農業大学ダルマガキャンバス内）

● フィリピンリエゾンオフィス（p.47 参照）

- フィリピン共和国ケソン市（フィリピン大学ディリマン校内）

● 中国北京リエゾンオフィス（p.47 参照）

- 中国人民共和国北京市（中国科学院大学内）

④ 関西同窓会館（北大会館）

- 北大関西同窓会の協力により、大学情報・入試情報などの広報誌を配布

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2-2-200

大阪駅前第2ビル2階

Tel : Fax 06-6343-3736

開館時間：10時～17時、年末年始を除く



略図 番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
技術支援本部		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
情報環境推進本部		〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
アドミッションセンター		〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
人材育成本部		〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目	
創成研究機構		〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
高等教育推進機構（キャリアセンターを除く）		〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
高等教育推進機構（キャリアセンター）		〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
安全衛生本部		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
大学力強化推進本部		〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
産学・地域協働推進機構（産学推進本部）		〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
産学・地域協働推進機構（フード＆メディカルイノベーション推進本部）		〒001-0021	札幌市北区北8条西5丁目	
総合IR室		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
高等教育推進機構（国際教育研究部）／事務局（学務部国際交流課）		〒060-0815	札幌市北区北15条西8丁目	
サステナブルキャンパスマネジメント本部		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
事務局（総務企画部・財務部・研究推進部研究振興企画課、施設部・国際部）		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
事務局（総務企画部情報企画課）		〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
事務局（学務部学務企画課、教育推進課、学生支援課、入試課）		〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
事務局（学務部キャリア支援課）		〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
事務局（研究推進部研究支援課）		〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
① 事務局（研究推進部産学連携課）		〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
監査室		〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
文学院・文学研究院・文学部		〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目	
法学研究科・法学部		〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
法学研究科附属高等法政教育研究センター		〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
情報科学院・情報科学研究院		〒060-0814	札幌市北区北14条西9丁目	
環境科学院・地球環境科学研究院		〒060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	
理学院・理学研究院・理学部		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
理学研究院附属地震火山研究観測センター		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
理学研究院附属ゲノムダイナミクス研究センター		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター		〒060-0810	札幌市北区北12条西6丁目	
薬学研究院・薬学部		〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
薬学部附属薬用植物園		〒060-8589	札幌市北区北9条西9丁目	
農学院・農学研究院・農学部		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学院		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
先端生命科学研究院		〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
先端生命科学研究院附属次世代物質生命科学研究センター		〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
教育学院・教育学研究院・教育学部		〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学院・教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター		〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院		〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	

(011) 716-2111 (代表)
別途、ダイヤルイン化
【(011) 706-内線番号】

略番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
保健科学院・保健科学研究院・医学部(保健学科)	〒060-0812	札幌市北区北12条西5丁目		
工学院・工学研究院・工学部	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
総合化学院	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目		
経済学院・経済学研究院・経済学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
医学院・医学研究院・医学部(医学科)	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目		
医学研究院附属動物実験施設	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目		
歯学院・歯学研究院・歯学部	〒060-8586	札幌市北区北13条西7丁目		
獣医学院・獣医学研究院・獣医学部	〒060-0818	札幌市北区北18条西9丁目		
獣医学研究院附属動物病院	〒060-0819	札幌市北区北19条西10丁目		
医理工学院	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目		
国際感染症学院	〒060-0818	札幌市北区北18条西9丁目		
国際食資源学院	〒060-0809	札幌市北区北9条西9丁目		
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
北海道大学病院	〒060-8648	札幌市北区北14条西5丁目	(011) 716-1161(代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
低温科学研究所	〒060-0819	札幌市北区北19条西8丁目		
低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター	〒060-0819	札幌市北区北19条西8丁目		
電子科学研究所	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目		
電子科学研究所附属グリーンナノテクノロジー研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目		
電子科学研究所附属社会創造数学研究センター	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目		
遺伝子病制御研究所	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
遺伝子病制御研究所附属動物実験施設	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
触媒科学研究所	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	(011) 716-2111(代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706-内線番号】	
附属図書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目		
附属図書館北図書館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目		
スラブ・ユーラシア研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目		
情報基盤センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目		
人獣共通感染症リサーチセンター	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目		
アイソトープ総合センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
量子集積エレクトロニクス研究センター	〒060-0813	札幌市北区北13条西8丁目		
北方生物圏フィールド科学センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目		
北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション南管理部札幌研究林	〒060-0809	札幌市北区北9条西9丁目		
北方生物圏フィールド科学センター・耕地圏ステーション生物生産研究農場	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目		
① 北方生物圏フィールド科学センター・耕地圏ステーション植物園	〒060-0003	札幌市中央区北3条西8丁目	(011) 221-0066	
観光学高等研究センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目		
アイヌ・先住民研究センター	〒060-0808	札幌市北区北8条西6丁目		
社会科学実験研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目		
環境健康科学研究教育センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目		
北極域研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目		
広域複合災害研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西9丁目		
脳科学研究教育センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目		
外国語教育センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目		
数理・データサイエンス教育研究センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目		
人間知・脳・AI研究教育センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目		
総合博物館	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目		
大学文書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目		
学生相談総合センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西8丁目		
保健センター	〒060-0816	札幌市北区北16条西7丁目		
埋蔵文化財調査センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目		
インフォメーションセンター「エルムの森」	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	(011) 706-4680	
クラーク会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	(011) 706-7469(予約受付) (011) 706-2989(警務員室)	
百年記念会館	〒060-0809	札幌市北区北9条西6丁目	(011) 706-2042(予約受付) (011) 706-3211(管理人室)	
サークル会館	〒060-0817	札幌市北区北17条西12丁目	(011) 747-3136	
スポーツトレーニングセンター	〒060-0818	札幌市北区北17条西13丁目	(011) 706-5590	
恵迪寮	〒060-0818	札幌市北区北18条西13丁目	(011) 747-7849(事務室)	
霜星寮	〒001-0014	札幌市北区北14条西2丁目	(011) 758-7934(管理人室)	
学術交流会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	(011) 706-2042(予約受付) (011) 706-2141(管理人室)	
ファカルティハウス「エンレイソウ」	〒060-0811	札幌市北区北11条西8丁目	(011) 706-2394(管理人室)	
外国人研究者等宿泊施設	〒001-0024	札幌市北区北24条西12丁目	(011) 707-3711	
インターナショナルハウス北8条	〒060-0808	札幌市北区北8条西11丁目	(011) 736-6211	
インターナショナルハウス北23条	〒001-0023	札幌市北区北23条西13丁目	(011) 700-3455(管理人室)	
情報教育館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	(011) 706-7500(警備員室)	
交友学舎	〒001-0018	札幌市北区北18条西7丁目	(011) 706-7469(予約受付)	
保育所ともに	〒060-0807	札幌市北区北7条西9丁目	(011) 706-2151	
子どもの園保育園	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	(011) 706-4588	
看護師宿舎	〒001-0016	札幌市北区北16条西6丁目	-	
北大病院ファミリーハウス	〒060-8648	札幌市北区北14条西5丁目	(011) 706-7700(管理人室)	
② 文学院・文学研究院・文学部二風谷研究室	〒055-0101	沙流郡平取町字二風谷	(01457) 2-2789	
③ 文学院・文学研究院・文学部斜里研究室	〒099-4113	斜里郡斜里町本町46-13	-	
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	〒041-8611	函館市港町3-1-1	(0138) 40-5505(庶務担当直通) 別途、ダイヤルイン化 【(0138) 40-内線番号】	
④ 総合博物館分館 水産科学館	〒041-8611	函館市港町3-1-1	(0138) 40-5553	
北晨寮・ゲストハウスおしょろ	〒041-0853	函館市中道1-9-1	(0138) 52-1160	
理学研究院附属地震火山研究観測センター有珠火山観測所	〒052-0106	有珠郡支笏町香142	(0142) 66-4011	
⑤ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション北管理部	〒096-0071	名寄市字徳田250	(01654) 2-4264	
⑥ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション北管理部天塙研究林	〒098-2943	天塙郡幌延町字間寒別131	(01632) 6-5211	
⑦ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション北管理部中川研究林	〒098-2501	中川郡音威子府村字音威子府483	(01656) 5-3216	
⑧ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション北管理部雨龍研究林	〒074-0741	雨竜郡幌加内町母字子里	(0165) 38-2125	
⑨ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション北管理部檜山研究林	〒053-0035	苦小牧市字高丘	(0144) 33-2171	
⑩ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション南管理部苦小牧研究林	〒049-0611	檜山郡上ノ国町字大留172-1	(0139) 55-2048	
⑪ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション南管理部歌山研究林	〒649-4563	和歌山県東牟婁郡古座川町平井559	(0735) 77-0321	
⑫ 北方生物圏フィールド科学センター・森林圏ステーション南管理部餘市果樹園	〒046-0012	余市郡余市町山田町	(0135) 22-3287	
⑬ 北方生物圏フィールド科学センター・耕地圏ステーション生物生産研究農場余市果樹園	〒056-0141	日高郡新ひだか町静内御園111	(0146) 46-2021	
⑭ 北方生物圏フィールド科学センター・耕地圏ステーション静内研究牧場	〒088-1113	厚岸郡厚岸町愛冠1	(0153) 52-2056	
⑮ 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション厚岸臨海実験所	〒051-0013	室蘭市舟見町1丁目133-31	(0143) 22-2846	
⑯ 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション室蘭臨海実験所	〒049-5723	虻田郡洞爺湖町月浦122	(0142) 75-2651	
⑰ 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション臼杵美深実験所	〒041-1613	函館市白石152	(0138) 25-3237	
⑱ 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション七飯淡水実験所	〒041-1105	亀田郡七飯町楼町2丁目9-1	(0138) 65-2344	
⑲ 北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション忍路臨海実験所	〒048-2561	小樽市忍路1-460	(0134) 64-2303	
㉑ 北海道地区国立大学大滝セミナーハウス	〒052-0317	伊達市大滝区優徳町32	(011) 706-7467(予約受付) (0142) 68-6155(管理人室)	



北海道大学シンボルマーク

本学構内に自生する「エンレイソウ」(オオバナノエンレイソウ=大花延齡草：ユリ科トリリウム属の多年草)を図案化したもの。

1950年の公募による入選作を、本学創基120周年を機に修正を加え、1996年9月の評議会において正式にシンボルマークとして決定された。

花弁、がく片で構成された六方(東・西・南・北・天・地)への広がりは、日本や世界へ向けた本学からの情報発信を意味している。

発 行 ● 北海道大学総務企画部広報課
所在地 ● 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
電話番号 ● 011-716-2111(代表)
ホームページ ● <https://www.hokudai.ac.jp/>
発行年月 ● 2020年12月



この冊子は、環境に配慮した
植物油インキ(ベジタブルオイルインキ)を使用しています。